

院内がん登録 2011年10年生存率集計

がん診療連携拠点病院等/小児がん拠点/都道府県推薦病院

令和6(2024)年1月
国立研究開発法人 国立がん研究センター
がん対策研究所 がん登録センター

院内がん登録 2011 年 10 年生存率集計の公表について

国立がん研究センターでは、がん対策研究所・がん登録センターを中心に、これまで全国がん登録及び院内がん登録の標準化や体制整備に努めて参りました。院内がん登録は、2007 年診断症例から全国のがん診療連携拠点病院のデータを収集し、院内がん登録全国集計として我が国のがん診療の実態を把握する資料となるよう、毎年、全国集計報告書を公表しています。院内がん情報をもととした生存率集計としては 10 年生存率、5 年生存率、そして科学的根拠に基づく情報をより迅速に提供するためにより早い段階での生存率として、3 年生存率を公表して参りました。

本報告書では、長期予後の報告書として、全国 449 施設から 2011 年診断例の 10 年予後情報付院内がん情報を提供していただき、生存状況把握割合が 90%以上であった 341 施設のデータを用いて集計しました。

2011 年診断症例は、2007～2010 年診断症例と同様に、院内がん登録が開始されてから間もない時期であるため、データの精度に関しては一定の限界があり、全国のがん診療連携拠点病院等を代表する数値としては捉えることはできない点にご留意ください。本集計報告書をご活用いただけますと幸いです。

令和 6 年 1 月
国立研究開発法人国立がん研究センター 理事長

中釜 齊

生存率について

がん医療を評価する重要な一つの指標として、生存率がある。伝統的に、診断後あるいは治療後 5 年経過した時の生存率が治癒の目安とされており、がん(部位)によっては 10 年生存率が治癒の目安とされることもある。この報告書では、がん診療連携拠点病院 2011 年全国集計の結果を踏まえて、2011 年に診断された例の 10 年生存率を集計した。

信頼性の高い生存率を算定するためには、患者の生存確認を行うことが重要であるため、自施設への来院情報だけにたよらずに、患者の生存状況を把握する生存確認調査(いわゆる予後調査)が必須となる。この生存状況の把握が不十分な場合には真の値よりも高い生存率となることが知られている。また、生存率は生存状況把握割合以外にも生存率を算出した対象集団の基礎疾患の頻度や年齢分布などの偏りなどによっても大きな影響が出る。このように生存率の結果の解釈には様々な要因が影響することに留意する必要がある。

1) 生存状況把握割合の意味

生存率の算出において、先行研究における試算では、生存状況把握割合によって院内のデータのみを使って計算した場合、5 年相対生存率が真の値よりも 10~15% 高く推定されてしまうことがあるとの報告がある。そのため、わが国で先行して施設別生存率の公表をしてきた全国がんセンター協議会の集計方法¹⁾を踏まえて、生存状況把握割合が 90%以上であることを基準として、この基準を全がんにおいて達成した施設のデータのみを集計の対象とした。この生存状況把握割合は国際的には 95%以上が望ましいとされており、わが国の院内がん登録でもより高い把握割合をめざすべきであると考えられる。

2) 生存率の種類

生存率には、その算出の仕方によって大きく「実測生存率」、「疾病特異的生存率」、「相対生存率」、「ネット・サバイバル(Net Survival)」に分けられる。

「実測生存率」は、死因に関係なく、全ての死亡を計算に含めた生存率で、診断例に対する～年後の生存患者の割合で示される。計算方法は複数存在するが、Kaplan-Meier 法が頻用され、医療機関の公表する生存率は Kaplan-Meier 法による実測生存率であることが多い。本報告においても、実測生存率については Kaplan-Meier 法を用いて計算している。

一方で、がんによる生存への影響を把握したいときには、「疾病特異的生存率」、「相対生存率」、「ネット・サバイバル(Net Survival)」が用いられる。「疾病特異的生存率」は、実測生存率で計算される対象にはがん以外の死因による死亡も死亡の中に含まれるため、がん以外の死因による死亡を、「打ち切り」として計算している。この疾病特異的生存率を正確に推定するためには、がんが死因でないかどうかを判定できなければならない、そのために原死因を用いて判定するか、それ以外の死因も含めて判定するかで結果が変わってくる。現在の日本の現状において、この死因の把握はかなり困難である。

これに対し、「相対生存率」は、実測生存率を対象と同性・年齢、診断年(歴年)の一般の日本人集団で「がんではなかった場合の生存率」という考えによる期待生存率を算出し、それで、実際の生存率を割って算出する方法である。疾患特異的生存率のように個々の死因を把握する必要がないため、国際的によく用いられている。

この期待生存率の算出方法の違いから、Ederer I 法、Ederer II 法、Hakulinen 法などがこれまでに開発されてきた。

3) ネット・サバイバル(Net Survival)について

相対生存率は一般的な方法の 1 つではあるが、生存率の高いがん種において理論上 100%以上になることが生じるなど課題も多い。そこで、期待生存率を算出することなく純粋に「がんのみが死因となる状況」を仮定して計算する純生存率(Net Survival、Pohar-Perme 法)が開発された。この方法は国際的にも広く採用されている方法であり、本報告書においても相対生存率に代わりネット・サバイバルを採用している。

4) 生存率をどう解釈するか

本集計による生存率は、既存の地域がん登録や全国がんセンター協議会の集計結果に比べても、より広汎な集計データといえるが、それでも拠点病院と一部の都道府県推薦病院に限ってのデータであることに留意する必要がある。なお、本報告書では、生存率に影響を与えることが想定される情報で、かつ院内がん登録としてデータ収集されている情報として、①性、②年齢、③病期(がんの進行状況)、④観血的治療の有無(手術されたか、されなかったか)などを参考資料として併記して示している。

1) 全がん協調査などでは、消息判明率と呼ばれてきたが、本報告書ではこの呼び方で表記する。

参考資料

- がん登録実務者のためのマニュアル 生存率解析 味木和喜子
2001 年 9 月、大阪府立成人病センター調査部
- がん専門施設における生存率計測の標準化 木下洋子他、
癌の臨床 第 46 巻第 10 号、2000 年 9 月、篠原出版新社

目次

目次

院内がん登録 2011 年 10 年生存率集計の公表について	2
生存率について	3
I 2011 年 10 年生存率集計 調査方法	5
1. 収集の対象と方法	5
(1) 収集の対象	5
(2) 収集方法	5
(3) 収集項目と定義	5
2. 集計の対象と集計方法	6
(1) 集計の対象	6
(2) 集計の手順	6
(3) 集計項目の定義	7
(4) 集計方法	8
(5) 公表の対象	8
II 2011 年 10 年生存率集計 結果概要	13
1. 調査参加施設と登録数	13
2. 集計対象	13
3. 生存率集計対象者	13
III 2011 年 10 年生存率集計 結果詳細(全体) :悪性新生物<腫瘍>	25
1. 全がん	25
2. 胃がん(胃癌)	28
3. 大腸がん(大腸癌)・結腸がん(結腸癌)・直腸がん(直腸癌)	30
4. 肝細胞がん(肝細胞癌)・肝内胆管がん(肝内胆管癌)	36
5. 小細胞肺癌(小細胞肺癌)・非小細胞肺癌(非小細胞肺癌)	40
6. 女性乳がん(女性乳癌)	44
7. 食道がん(食道癌)	45
8. 膵臓がん(膵臓癌)	47
9. 子宮頸がん(子宮頸癌)	49
10. 子宮体がん(子宮体癌)	50
11. 前立腺がん(前立腺癌)	51
12. 膀胱がん(膀胱癌)	52
13. 喉頭がん(喉頭癌)	54
14. 胆嚢がん(胆嚢癌)	56
15. 腎がん(腎癌)	58
16. 腎盂尿管がん(腎盂尿管癌)	60
17. 甲状腺がん(甲状腺癌)	62
18. 女性卵巣がん(女性卵巣癌)	66
IV. 特別集計 小児 AYA がんの生存率	エラー! ブックマークが定義されていません。
付表 1 2011 年 10 年生存率集計対象施設一覧	

I 2011 年 10 年生存率集計 調査方法

1. 収集の対象と方法

(1) 収集の対象

本集計では、2023 年 4 月 1 日時点のがん診療連携拠点病院等 456 施設、成人の拠点病院に指定されていない小児がん拠点病院 6 施設と 2011 年診断例について院内がん登録全国集計(0 年集計)にデータ提出した集計当時の都道府県推薦病院 121 施設、及び集計当時の全国集計時のがん診療連携拠点病院 28 施設、合計 611 施設に調査を依頼した。

データ収集に当たっては、院内がん登録 2011 年診断例の通年データを持ち、死亡日、最終生存確認日、生存期間等の生存状況情報を含めたデータ提出が可能と考えられる上記の調査依頼施設に、「予後情報付集計」の名称で、2011 年 10 年予後情報付登録情報の提供を依頼した。調査対象例は、2011 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの 1 年間に、自施設で診断または他施設で既に診断されて自施設に初診した、全悪性新生物(がん)及び頭蓋内の良性及び良悪性不詳の腫瘍の登録患者*である。これら対象例の 10 年予後情報付の登録情報(以下「予後情報付腫瘍データ」という。)の提供を各施設に依頼した。なお、各施設における登録対象患者は、下記の通りである。

* 各施設における登録患者について

各施設における登録対象は、登録を実施する自施設での新規の診断患者または他施設で診断された初診患者であり、初発例、再発例を含む。また、治療を行わない経過観察例も含まれる。セカンドオピニオンのみを目的とした初診に関しては登録対象とするかどうかは各施設の判断に任されている。1 腫瘍 1 登録の原則に基づき、同一患者に別のがん種と判断されるがんが同時または時間をあけて(異時性に)生じた場合には、多重がんとして登録される。なお、多重がんの判断は各施設に任されている。登録済みの同じがんについて当該施設で治療中に再発した患者については登録対象ではないが、同じ患者が同じがんで複数の病院を受診した場合は、異なる施設において同じ患者の同じがんが登録されている可能性がある。(本全国集計では提供されたデータは匿名化後のデータであるため、重複の整理は行わない。)

(2) 収集方法

2023 年 6 月 16 日に、対象施設に、「院内がん登録予後情報付集計 手順書」を送付し、手順書に従って作成されたデータの提供を依頼した。データは、エラーチェックのための品質管理ツールを用いインターネット(ネットワーク型)を通しての提出を依頼した。データ収集期間は、2023 年 7 月 3 日から 8 月 4 日までとした。

提出においては、「がん診療連携拠点病院院内がん登録標準登録様式登録項目とその定義 2006 年度版修正版」において定義された標準項目(以下「標準項目」と略す。)を満たす腫瘍データを収集した。項目の品質管理(定義通りの項目・区分で登録されているか、関連

する項目間の登録内容に矛盾はないか等)については、ネットワーク型ではデータの收受の段階で品質管理を実施し、論理矛盾がない状態でのデータ提供への協力を依頼した。なお、健総発第 0907001 号「がん診療連携拠点病院で実施する院内がん登録における必須項目の標準登録様式に係る改正等」において定義された必須項目のみでのデータ提供についてはデータ精度管理上の問題から集計対象としなかった。

(3) 収集項目と定義

収集項目は、前述の診断から 10 年後の生存状況の情報を含む標準項目である。また、予後情報付腫瘍データの提出にあたり、下記の計算式に従って、追跡期間(日数)を計算し入力するよう依頼した。

* 追跡期間(日数)の計算方法

追跡期間(日数)とは、起算日から生存最終確認日もしくは死亡日までの日数とする。起算日は、後述する集計用診断日決定のルールに従って決定する。追跡終了日とは、予後調査結果が死亡であり死亡日があれば死亡日、生存の場合は生存最終確認日とする。

$$\text{追跡期間(日)} = \text{追跡終了日} - \text{起算日} + 1$$

本集計に関連する項目について以下に記述する。その他の標準項目の定義は、2011 年全国集計報告書を参照いただきたい。

i. 診断区分

診断区分は、わが国の地域がん登録との整合性を図るために用いられている分類で、「1:初発(治療開始前)」、「2:治療開始後」に分けられる。この項目は当該腫瘍について自施設に受診する前に他施設において既に治療が開始されていたか否かを区別するもので、この項目が「1:初発(治療開始前)」であったケースでは、自施設で行われた治療は初回治療とみなす。本来であれば、一連の治療方針の下で施設を問わずに初回治療とされるべきであるが、わが国の現状では、施設が異なると、一連の治療であるかないかが判明しないことが多く、そのため、他施設での治療の情報は、初回治療であっても「初回治療なし」とするルールを定めている。

ii. 症例区分

症例区分は生存率の算定等で対象となる患者範囲を決定する重要な区分である。院内がん登録の機能の一つには、各施設の対がん医療活動の評価のための基礎資料を提供することにある。他施設と比較し自施設のがん診療実態を把握するためには、がん対象例を正しく識別する必要がある。この項目では、初回診断(登録施設での診断の有無)と初回治療(登録施設における初回治療の有無)の組み合わせにより患者を分類するための区分を登録している。本集計では、原則として

「症例区分 2:診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例」及び「症例区分 3:他施設で診断確定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行が行われた症例」を分析対象とする。また、施設によっては前述の診断区分のみを入力している施設もあり、本集計では診断区分の組み合わせから症例区分を算出する対応表を用いて集計を行った。

iii. 臨床病期 治療前ステージ

UICC(Union for International Cancer Control) の定める病期の分類方法に基づき、何らかの治療が行われる以前につけられたステージを指す。わが国の一般的な臨床現場で使用される癌取り扱い規約に基づくステージとは若干異なる部分がある。胃、乳房、肝臓、大腸、肺についてのみ、標準項目とされているが、他のがんについては任意の登録となっている。肝臓については、取り扱い規約のステージも標準項目として登録することになっている。

前医で治療がなされており治療前のステージが不明の場合などは「不明」に分類されるか、空白のままで登録される。わが国の診療情報に関わる施設間の情報交換に関する懸念からこのような方針をとっている。

術後病理学的ステージ

手術が行われた患者に対して、術後に検体が提出され病理学的に算出されたステージを登録する。手術が行われなかった場合には空欄で、術前に化学療法や放射線療法、免疫・内分泌療法などが行われた場合には、手術前の治療の影響が予想されるため、術後病理学的ステージは適応外として登録される。定義上は、原発巣に対する切除術が行われ、断片が陰性であるような治癒的な切除が行われた場合に本ステージが評価できるとされている。術後病理学的ステージは、腫瘍やリンパ節を顕微鏡的に観察して得られるステージであることから、治療前ステージと比較して、治療開始時点でのがんの状態をより正確に表しているといえる。

なお、2011年登録対象はUICC TNM 第6版準拠で登録されている。

iv. 治療の有無

院内がん登録において登録される治療は、登録対象となったがんに対する初回治療である。初回治療とは治療開始時点で計画された一連の治療のことであり、症状・治療の進行に従って後に追加された治療などは含まれない。当初経過観察が計画されていたが、病状が悪化したために治療が行われた場合なども「初回治療なし」となる。また、症状緩和的な目的で行われた手術や放射線治療は、部分的に腫瘍に対する治療であるといえることから登録対象に対する治療の一環に考えるが、腫瘍に影響のない、鎮痛剤や制吐剤などの治療は、「治療あり」としない。

現時点の院内がん登録では、「i 診断区分」で既に述べたとおり、登録施設で行われた治療のみを「初回治療あり」としている。

① 手術・体腔鏡的治療

手術とは一般に外科的治療を指し、体腔鏡とは麻酔下に行われる腹腔鏡、胸腔鏡などの手術を指す。これらには、消化管や気管支内視鏡による治療を含めない。

② 内視鏡治療

上記で除外された、消化管、気管支内視鏡などによる治療を指す。

③ 放射線治療

原発巣に対する放射線治療だけではなく転移巣に対する放射線治療も含まれる。小線源療法も放射線治療として登録される。

④ 化学療法、免疫療法・BRM、内分泌療法

症状緩和のための薬物療法(鎮痛剤、制吐剤)などは含まない。また、通常の静注・経口化学療法だけではなく、肝動脈化学塞栓療法(TACE)に含まれる化学療法や動注療法も化学療法に分類される。内分泌療法には前立腺癌における除睾術等も含まれる。

⑤ 外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果

当該のがんに対する外科・体腔鏡的・内視鏡的治療の根治度を登録する。ここでは、初回治療として行った総合的な結果を記載する。つまり、最初内視鏡的な治療を行ったが、その後外科的な追加切除が行われた場合は、外科的切除の根治度を登録する。

2. 集計の対象と集計方法

(1) 集計の対象

生存率集計における集計対象は、2011年に診断された例で次の i から iii を満たす例を集計対象とした。

i. 自施設診断・自施設治療と他施設診断・自施設治療例

「症例区分 2:診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例」及び「症例区分 3:他施設で診断確定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行が行われた症例」を集計対象とした。

ii. 悪性新生物<腫瘍>(一部良性の脳腫瘍)

本集計では、原則として新生物<腫瘍>の性状コード3の「悪性、原発部位(悪性新生物<腫瘍>)」の例を集計対象とした。但し、脳・中枢神経系に発生した腫瘍性疾患については、良性、良性又は悪性の別不詳の例を含めて集計対象とした。

iii. 年齢

診断時の年齢が0から99歳までの例を集計対象とした。

(2) 集計の手順

① 集計対象例の選定

提出されたデータから上記の i から iii に該当する例を抽出した。

i 自施設診断・自施設治療と他施設診断・自施設治療例

集計対象施設から提供されたデータを、表 1-1 集計用診断日の決定のルール、及び表 1-2 集計用症例区

分の決定のルールに基づいて、「項目:集計用診断日」、「項目:集計用症例区分」を作成した。その後、集計用症例区分が2, 3であった例を集計対象とした。

ii 悪性新生物<腫瘍>(一部良性の脳腫瘍)

原則として、「項目:330 組織診断名コード」の新生物<腫瘍>の性状を表す第5桁コードが「3:悪性、原発部位」であった例を集計対象とした。ただし、一部の脳・中枢神経系に発生した腫瘍性疾患、ICD-O-3 の局在コードが「C70.0, C70.9, C71.0, C71.1, C71.2, C71.3, C71.4, C71.5, C71.6, C71.7, C71.8, C71.9, C72.2, C72.3, C72.4, C72.5, C72.8, C72.9, C75.1, C75.2, C75.3」の場合は、「0:良性」又は「1:良性又は悪性の別不詳」であった場合も集計対象に含めた。

iii 年齢

年齢は、生年月と集計用診断年月を用いて、院内がん登録全国集計と同様に下記の定義で求めた。

診断年月の月 >= 生年月日の月

⇒診断年月の年-生年

診断年月の月 < 生年月日の月

⇒診断年月の年-生年-1

上記で求めた年齢が0~99歳までの例を集計対象とした。

上記で選定した例から、下記の㉠~㉣に該当する場合は集計対象から除外した。

㉠性別不詳の場合

半陰陽や性同一性障害による戸籍性別の変更等のため、性別で特有の臓器に発生した腫瘍と戸籍上の性別が矛盾していないかを確認した上で、性別が不詳(項目:性別が9)であった者を除外した。性別で特有の臓器に発生した腫瘍について矛盾があった場合は、臓器に基づいて性別を修正した上で集計した(例:前立腺と登録があった場合に性別が女性として登録されていたら、男性として集計)。

㉡追跡終了日の年月が不明の場合

追跡終了日は、「項目660:予後調査結果」が死亡であった場合は死亡日、生存であった場合は最終生存確認日となる。ただし、死亡例であっても死亡日の年または月が不明の場合は、打ち切り扱いとし、生存最終確認日を追跡終了日とした。追跡終了日の年あるいは月が不明であった場合は、集計対象から除外した。

㉢UICC TNM 分類総合ステージが0期の場合

病期は、患者の予後を予測する上で重要である。院内がん登録では、UICC TNM 分類に基づく治療の選択と評価に不可欠である臨床分類(治療前ステージ)と、術後アジュバント療法の指針となり、予後推定や遠隔成績の計算のための追加情報を提供する術後病理学的分類ステージについて情報を収集している。本集計では、腫瘍切除例(外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果が、1:治癒切除、2:非治癒切除、3:治癒/非治癒の別不詳)については腫瘍の縮小を目的とした化学療法

や放射線療法あるいは免疫・内分泌療法などを施行後の腫瘍切除例(術後病理学的ステージ適応外例)及び術後病理学的ステージが不詳であった例を除き、UICC TNM 分類術後病理学的ステージをより患者の治療前の病期を表すとして UICC TNM 分類総合ステージとして用いた。腫瘍切除例以外は UICC TNM 分類治療前ステージを UICC TNM 分類総合ステージとして用いた。なお、本集計では総合ステージが0期であった場合は、集計対象から除外した。

㉣ 追跡期間(日数)の確認

追跡期間(日数)は正確な生存率を算出するために必須の項目である。2011年診断例については、品質管理において、登録された追跡期間の確認を行っている。

㉤ 集計対象施設の選定

生存率の推定値は、生存状況把握割合に影響を受ける。10年生存率を計算する場合には、対象者全員の10年後の生存状況を把握することが必要となる。これまで、全国がんセンター協議会は、加盟施設の生存率を公表してきた。その中で、がんの生存率は生存状況把握割合を100%に近づけるほど、真の値に近づくとされ、概ね95%以上の生存状況把握割合を維持する必要があるとされている。しかしながら、現在の院内がん登録における生存確認調査の実施においては、障害も多く、調査を実施しても生存状況が確認できず、生存状況把握割合が低い施設も存在する。また全国がんセンター協議会の生存率公表においても、改善が要するとされつつも生存状況把握割合が90%を超えた場合に施設の生存率が公表されてきた。これらの経緯を踏まえ、本集計では前述の集計対象例の生存状況把握割合が90%以上の施設を集計対象とした。具体的には、予後調査結果が生存であるが追跡期間(日数)が10年未満の打ち切り例が施設の生存率集計対象例の10%未満である施設を集計対象施設とした。

生存状況把握割合 = (1 - 打ち切り例数 / 集計対象例数) × 100

(3) 集計項目の定義

● 部位区分

表 1-3 部位分類コード対応に基づき、作成した。

● 臨床病期

UICC TNM 分類総合ステージ

2011年診断例では、UICC TNM 分類第6版に準拠して UICC TNM 分類の治療前及び術後病理学的ステージが登録されている。

本集計では、がん患者の予後に影響するステージとして、治療開始時点でのがんの状態をより正確に表している術後病理学的ステージがある場合(適応外、不詳、空欄を除く)は術後病理学的ステージを、ない場合は治療前ステージを用いて、UICC TNM 分類総合ステージとして集計に用いた。なお、本集計では、各施設で登録されたステージの値を用いて集計をしており、登録され

ている TNM 情報からみてステージが UICC TNM 分類のステージと一致しない場合であってもデータに修正は加えていない。

局在コードは、原則として別途定める部位分類コードに基づく。肺は C34、肝細胞癌は C22.0、肝内胆管は C22.1 を対象とした。

また、各生存率の集計対象は、表 1-4 の部位・組織形態コードとする。

● 観血的治療

当該がんに対する外科・体腔鏡的・内視鏡的治療の根治度について、「項目 520:外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果」に登録することとなっている。登録の際には、「1:原発巣-治癒切除」、「2:原発巣-非治癒切除」、「3:原発巣-治癒/非治癒の別不詳」、「4:姑息/対象治療、転移巣切除」、「8:その他」、「9:不詳」の中から一つを選択する。本集計では、観血的治療の有無、外科・体腔鏡的・内視鏡的治療の根治度別に生存率を集計した。

(4) 集計方法

前述のとおり選定された集計対象例・集計対象施設において、10年後の生存状況変数を作成し生存率を推定した。追跡期間(日数)が10年未満でかつ予後調査結果が死亡であった場合は、10年後の生存状況＝死亡(1)とした。

生存率は、Kaplan-Meier 法を用いた実測生存率と国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センターにおいて作成されたコホート生存率表(2016年版)を用い、ネット・サバイバルを推定した。なお、本報告書では StataMP 16.0 (Stata Corporation, College Station, TX, USA)を用い、stnsを用いてネット・サバイバルを推定している。

がんごとの集計では、集計対象定義に基づいて集計を行った。なお、上皮内がん(総合ステージ 0 期)については生存状況把握割合の算出の際には対象に含めていない。

(5) 公表の対象

令和 5 年度第 1 回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会での検討に基づき、以下の公表基準に沿って、生存率を公表する。

生存率の推定値は、対象例数、死亡者数等の件数に依存する。一般に対象例数が 30 例未満の場合、推定された生存率の信頼性が低くなるため、本集計では対象例数が 30 例未満の場合は、10 年生存率を公表しないこととする。なお、各集計表において、集計値が 10 未満の場合、個人が特定される可能性が高い反面、患者、家族や国民に対して有用な診療情報を提供するため、第 9 回がん診療提供体制のあり方に関する検討会資料として提出された「資料 2 少数例のがんの情報提供について」の資料の通り、1 件以上 10 件未満の場合は、1~3 件、4~6 件、7~9 件として公表し、10 件以上は原則実数で公表する。

なお、都道府県別生存率については、当該都道府県で集計対象が 1 施設となる場合は表示していない。

参考資料

- 1) 全国がんセンター協議会. 全がん協加盟施設におけるがん患者生存率公表にあたっての指針(案) 2004/11/25版 厚生労働省がん研究助成金「地域がん専門診療施設におけるソフト面の整備拡充に関する研究」班

表1-1 集計用診断日決定のルール

集計用症例区分	集計用診断日	備考
1:診断のみ	診断日2	
2:自施設診断自施設治療	診断日2	
3:他施設診断自施設治療	当該腫瘍初診日	
4:初回治療開始後の症例、 もしくは再発症例	当該腫瘍初診日	*
5:剖検	診断日2	死亡日
8:その他	診断日2、当該腫瘍初診日のいずれか	*

* 優先する集計用診断日となる日付が登録されていない場合、診断日2、当該腫瘍初診日、診断日1、入院日の中で、2009年の日付の項目を用いて作成した。

表1-2 集計用症例区分の決定のルール

診断区分	診断施設	治療方針	集計用症例区分
1:初発	1:自施設診断	1:自施設で治療	2:自施設診断自施設治療
1:初発	1:自施設診断	3:自施設で経過観察	2:自施設診断自施設治療
1:初発	1:自施設診断	4:他施設へ紹介	1:診断のみ
1:初発	1:自施設診断	8:来院中断	1:診断のみ
1:初発	1:自施設診断	9:その他	1:診断のみ
1:初発	2:他施設診断	1:自施設で治療	3:他施設診断自施設治療
1:初発	2:他施設診断	3:自施設で経過観察	3:他施設診断自施設治療
1:初発	2:他施設診断	4:他施設へ紹介	8:その他
1:初発	2:他施設診断	8:来院中断	8:その他
1:初発	2:他施設診断	9:その他	8:その他
2:治療開始後	2:他施設診断	1:自施設で治療	4:初回治療開始後の症例、 もしくは再発症例
2:治療開始後	2:他施設診断	3:自施設で経過観察	4:初回治療開始後の症例、 もしくは再発症例
2:治療開始後	2:他施設診断	4:他施設へ紹介	8:その他
2:治療開始後	2:他施設診断	8:来院中断	8:その他
2:治療開始後	2:他施設診断	9:その他	8:その他

症例区分が登録されているケースでは症例区分を優先、症例区分が登録されていない例では、診断区分・診断施設・治療方針から上記のルールで変換した集計用症例区分を用いて集計用症例区分を作成した。

表 1-3 部位分類コード対応

部位名	第 1 段階 ICD-O-3 形態コード	第 2 段階 ICD-O-3 部位コード
口腔・口唇		C00、C02.0-02.3、C02.8-02.9、C03.0-C05.0、C05.8-C06.9
大唾液腺		C07、C08
上咽頭		C11
中咽頭		C01、C02.4、C05.1-05.2、C09、C10.0、C10.2-10.9、C14
下咽頭		C12-C13
食道		C15
胃		C16
小腸		C17
結腸		C18
直腸		C19-C20
大腸		C18-C20
肛門/肛門管		C21
肝臓		C22
胆嚢・胆管		C23-C24
膵臓		C25
喉頭		C10.1、C32
肺		C33-C34
骨・骨軟部		C40-C41、C47、C49
皮膚(黒色腫を含む)		C44
乳房		C50
膣・外陰		C51、C52
子宮頸部		C53
子宮体部		C54
子宮		C55
卵巣		C56
前立腺		C61
精巣		C62、C63.0、C63.1
腎		C64
膀胱		C67
腎盂・尿管		C65、C66、C68
脳・中枢神経系		C70、C71、C72、C751-C753
甲状腺		C73
悪性リンパ腫	959-972 974-975	
多発性骨髄腫	973、976	
白血病	980-994	
他の造血器腫瘍	995-998 999	C421
その他		第 1 段階、第 2 段階で変換された以外の症例

表 1-4 病期分類対象コード：各部位に発生した主に上皮性のがんが対象

	局在	組織形態
胃癌	C160, 161-166, 168, 169	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, 8051-8084, 8090-8110, 8120-8131, 8140-8149, 8150-8157, 8160-8162, 8170-8180, 8190-8221, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8260-8337, 8340-8347, 8350-8551, 8560-8562, 8570-8576, 8580-8671, 8940-8941
大腸癌	C180, 182-189, 199, 209	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, 8051-8084, 8090-8110, 8120-8131, 8140-8149, 8150-8157, 8160-8162, 8170-8180, 8190-8221, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8260-8337, 8340-8347, 8350-8551, 8560-8562, 8570-8576, 8580-8671, 8940-8941
肝細胞癌	C220	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, 8051-8084, 8090-8110, 8120-8131, 8140-8149, 8150-8157, 8160-8162, 8170-8180, 8190-8221, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8260-8337, 8340-8347, 8350-8551, 8560-8562, 8570-8576, 8580-8671, 8940-8941
肝内胆管癌	C221	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, 8051-8084, 8090-8110, 8120-8131, 8140-8149, 8150-8157, 8160-8162, 8170-8180, 8190-8221, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8260-8337, 8340-8347, 8350-8551, 8560-8562, 8570-8576, 8580-8671, 8940-8941
肺小細胞癌	C340-343, 348, 349	8041-8045
肺非小細胞癌		8000-8157 (8013, 8041-8045 を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8240-8245, 8246-8247, 8249, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8972, 8980
乳癌 (女)	C500-509	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, 8051-8084, 8090-8110, 8120-8131, 8140-8149, 8150-8157, 8160-8162, 8170-8180, 8190-8221, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8260-8337, 8340-8347, 8350-8551, 8560-8562, 8570-8576, 8580-8671, 8940-8941
食道癌	C150-152, 158, 159	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, 8051-8084, 8090-8110, 8120-8131, 8140-8149, 8150-8157, 8160-8162, 8170-8180, 8190-8221, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8260-8337, 8340-8347, 8350-8551, 8560-8562, 8570-8576, 8580-8671, 8940-8941
膵臓癌	C250-252, 259	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, 8051-8084, 8090-8110, 8120-8131, 8140-8149, 8150-8157, 8160-8162, 8170-8180, 8190-8221, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8260-8337, 8340-8347, 8350-8551, 8560-8562, 8570-8576, 8580-8671, 8940-8941
前立腺癌	C619	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, 8051-8084, 8090-8110, 8140-8149, 8150-8157, 8160-8162, 8170-8180, 8190-8221, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8260-8337, 8340-8347, 8350-8551, 8560-8562, 8570-8576, 8580-8671, 8940-8941
子宮頸癌 (女)	C530-531, 538, 539	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, 8051-8084, 8090-8110, 8120-8131, 8140-8149, 8150-8157, 8160-8162, 8170-8180, 8190-8221, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8260-8337, 8340-8347, 8350-8551, 8560-8562, 8570-8576, 8580-8671, 8940-8941
子宮体癌 (女)	C540-543, 548, 549	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, 8051-8084, 8090-8110, 8120-8131, 8140-8149, 8150-8157, 8160-8162, 8170-8180, 8190-8221, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8260-8337, 8340-8347, 8350-8551, 8560-8562, 8570-8576, 8580-8671, 8940-8941
膀胱癌	C670-679	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050, 8051-8084, 8090-8110, 8120-8131, 8140-8149, 8150-8157, 8160-8162, 8170-8180, 8190-8221, 8230-8231, 8246-8247, 8250-8255, 8260-8337, 8340-8347, 8350-8551, 8560-8562, 8570-8576, 8580-8671, 8940-8941
甲状腺乳頭・濾胞癌	C739	8050, 8230, 8260, 8290, 8330-8332, 8335, 8337, 8340-8344, 8350
甲状腺未分化癌	C739	8020, 8021
甲状腺髄様癌	C739	8345
胆嚢癌	C23.9	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8244, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
喉頭癌	C32.0, 32.1, 32.2, 10.1	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
腎癌	C64.9	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
腎盂尿管癌	C65.9, 66.9	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941

	局在	組織形態
卵巢 (女)	C56.9	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8600-8670, 8930-8935, 8940-8941, 8950-8973, 8980, 8982-8983, 8990-8991, 9000-9015, 9020, 9040-9044, 9060-9090, 9100-9105, 9110

II 2011年10年生生存率集計 結果概要

1. 調査参加施設と登録数

調査を依頼した611施設のうち、449施設(このうちがん診療連携拠点病院等は380施設)から10年予後情報付腫瘍データが提供された(協力率73.5%)。なお、表2-1-1に全登録数と集計対象を示す。

2. 集計対象

(1) 集計の対象

① 集計対象例の選定

i 自施設診断自施設初回治療及び他施設診断自施設初回治療

提出されたデータ全体で、「自施設診断・自施設初回治療(症例区分2)」が376,886例(66.5%)、「他施設診断・自施設初回治療(症例区分3)」が121,283例(21.4%)であり、全登録数の87.9%を占めた。

ii 悪性新生物<腫瘍>

症例区分2,3(自施設診断・自施設初回治療又は他施設診断・自施設初回治療)のうち悪性新生物<腫瘍>(新生物<腫瘍>の性状コードが3)は、439,884例(77.6%)であった。脳腫瘍の良性又は良性・悪性の別不詳を合わせると集計対象腫瘍例は、448,479例(79.1%)であった。

iii 年齢

診断時の年齢を見ると、100歳以上が116例あり、生存率集計からは除外した。年齢別にみると、70歳代が25.1%と最も多く、次いで60歳代が22.7%であった。

上記で選定した例から、性別不詳及び追跡終了日不明またはUICC TNM分類総合ステージ0期の合計162例を集計対象から除外した。

② 追跡期間(日数)の確認

予後情報付データ収集では、品質管理において追跡期間の確認を行った。なお、追跡終了日(死亡例の場合は、死亡日の年月、生存例の場合は、生存最終確認日の年月)が不明の場合は集計対象から除外した。但し、死亡例で死亡日の年月が不明であっても、生存最終確認日の年月が判明している場合は、生存最終確認日を追跡終了日とし、打ち切り例として集計した。

(2) 生存状況把握割合

各施設における集計対象例に対する生存状況把握割合について検討した結果、最も低かった施設の生存状況把握割合は、21.4%で、最も高かった施設は99.8%であった。以降の集計結果では、生存状況把握割合が90%以上であった341施設(がん診療連携拠点病院306施設、拠点病院以外35施設)における登録例を集計対象とした。

3. 生存率集計対象者

全がんで生存状況把握割合が90%以上であった341施設において集計対象例は、363,521例であった。

表 2-1-1 2011 年診断例調査参加施設の全登録数と集計対象

	集計対象外施設		集計対象施設		全体	
	108 施設	(%)	341 施設	(%)	449 施設	(%)
全登録数	118,641	100.0	460,265	100.0	578,906	100.0
症例区分別登録数						
1. 診断のみ	7,413	6.2	25,496	5.5	32,909	5.8
2. 自施設診断・自施設初回治療	73,158	61.7	303,728	66.0	376,886	66.5
3. 他施設診断・自施設初回治療	21,171	17.8	100,112	21.8	121,283	21.4
4. 初回治療開始後・再発	12,266	10.3	49,340	10.7	61,606	10.9
5. 剖検	49	0.0	248	0.1	297	0.1
6. 不明・その他	4,584	3.9	16,107	3.5	20,691	3.6
症例区分 (2, 3) (再掲)	94,329	79.5	403,840	87.7	498,169	87.9
症例区分 2, 3 のうち						
良性	1,385	1.2	5,908	1.3	7,293	1.3
良性又は悪性の別不詳	270	0.2	1,075	0.2	1,345	0.2
上皮内癌	9,575	8.1	40,072	8.7	49,647	8.8
悪性新生物<腫瘍>	83,099	70.0	356,785	77.5	439,884	77.6
集計対象腫瘍*	84,734	71.4	363,745	79.0	448,479	79.1
症例区分 2,3、集計対象腫瘍のうち(年齢不詳除く)						
年齢 0～14 歳	281	0.2	1,238	0.3	1,519	0.3
15～39 歳	2,947	2.5	11,985	2.6	14,932	2.6
40 歳代	5,258	4.4	21,588	4.7	26,846	4.7
50 歳代	10,679	9.0	45,370	9.9	56,049	9.9
60 歳代	24,231	20.4	104,218	22.6	128,449	22.7
70 歳代	26,488	22.3	115,979	25.2	142,467	25.1
80-99 歳	14,825	12.5	63,276	13.7	78,101	13.8
100 歳以上	25	0.0	91	0.0	116	0.0
0～99 歳 (再掲)	84,709	71.4	363,654	79.0	448,363	79.1
除外対象(以下重複有)						
性別不詳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
追跡終了日不明	19	0.0	12	0.0	31	0.0
総合ステージ 0 期	10	0.0	121	0.0	131	0.0
集計対象例	84,680	71.4	363,521	79.0	448,201	79.0

*症例区分 2, 3 のうち、悪性新生物<腫瘍>、脳・中枢神経系に発生した良性または良性・悪性の別不詳の腫瘍を含む

表 2-2-1 がん診療連携拠点病院等調査参加施設の全登録数及び症例区分 2, 3 の登録数

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治 療(症例 区分2,3) 登録割合
総数			306 565,868	344,044	115,143	81.1
北海道	北海道がんセンター	集計対象	2,258	1,001	607	71.2
北海道	JA 北海道厚生連 旭川厚生病院	集計対象	1,421	919	225	80.5
北海道	王子総合病院	集計対象	939	732	87	87.2
北海道	砂川市立病院		570	496	34	93.0
北海道	市立釧路総合病院		962	667	130	82.8
北海道	JA 北海道厚生連帯広厚生病院	集計対象	1,482	1,141	179	89.1
北海道	北見赤十字病院	集計対象	1,355	817	254	79.0
北海道	市立函館病院	集計対象	1,227	874	161	84.4
北海道	日鋼記念病院		584	319	37	61.0
北海道	函館厚生院 函館五稜郭病院	集計対象	1,444	1,145	161	90.4
北海道	札幌医科大学附属病院		2,158	1,093	512	74.4
北海道	JA 北海道厚生連 札幌厚生病院	集計対象	1,366	978	235	88.8
北海道	手稲溪仁会病院	集計対象	1,932	1,253	300	80.4
北海道	旭川医科大学病院		1,724	920	457	79.9
北海道	市立旭川病院		891	651	116	86.1
北海道	独立行政法人労働者健康安全機構 釧路労災病院	集計対象	693	557	107	95.8
青森	青森県立中央病院		1,813	1,026	401	78.7
青森	八戸市立市民病院	集計対象	1,336	927	243	87.6
青森	一部事務組合下北医療センター むつ総合病院		555	379	52	77.7
青森	十和田市立中央病院		689	459	65	76.1
岩手	岩手県立中央病院	集計対象	1,774	1,365	275	92.4
岩手	岩手県立二戸病院	集計対象	378	222	60	74.6
岩手	岩手医科大学附属病院	集計対象	2,574	1,225	881	81.8
岩手	岩手県立中部病院	集計対象	1,144	710	223	81.6
岩手	岩手県立磐井病院	集計対象	685	381	168	80.1
岩手	岩手県立宮古病院	集計対象	485	295	69	75.1
岩手	岩手県立胆沢病院	集計対象	746	578	99	90.8
岩手	岩手県立大船渡病院	集計対象	524	338	32	70.6
岩手	岩手県立久慈病院	集計対象	414	310	35	83.3
岩手	岩手県立釜石病院	集計対象	281	119	29	52.7
宮城	東北大学病院	集計対象	3,145	1,304	775	66.1
宮城	宮城県立がんセンター	集計対象	1,815	988	402	76.6
宮城	石巻赤十字病院	集計対象	1,481	773	136	61.4
宮城	仙台医療センター	集計対象	1,422	1,021	253	89.6
宮城	大崎市民病院	集計対象	1,419	1,133	173	92.0
宮城	独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院	集計対象	820	550	146	84.9
宮城	東北医科薬科大学病院	集計対象	582	387	102	84.0
宮城	みやぎ県南中核病院		465	392	51	95.3
秋田	秋田大学医学部附属病院	集計対象	1,702	788	573	80.0
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 由利組合総合病院	集計対象	641	469	84	86.3
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 大曲厚生医療センター	集計対象	682	509	103	89.7
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 平鹿総合病院		814	665	100	94.0
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 能代厚生医療センター	集計対象	586	436	77	87.5
秋田	秋田赤十字病院	集計対象	1,175	905	189	93.1
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 雄勝中央病院	集計対象	318	215	25	75.5
秋田	大館市立総合病院	集計対象	606	432	119	90.9
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 秋田厚生医療センター	集計対象	982	701	157	87.4
山形	山形県立中央病院	集計対象	1,765	1,168	399	88.8
山形	山形大学医学部附属病院	集計対象	1,721	867	442	76.1
山形	山形市立病院済生館	集計対象	996	714	108	82.5
山形	置賜広域病院企業団 公立置賜総合病院	集計対象	882	555	169	82.1

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治 療(症例 区分2,3) 登録割合
山形	山形県立新庄病院		535	377	53	80.4
山形	日本海総合病院	集計対象	1,692	1,267	319	93.7
福島	福島県立医科大学附属病院	集計対象	1,953	852	453	66.8
福島	太田西ノ内病院	集計対象	1,550	1,029	269	83.7
福島	一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院		1,320	802	279	81.9
福島	総合南東北病院	集計対象	1,877	1,068	370	76.6
福島	福島県厚生農業協同組合連合会白河厚生総合病院		753	458	57	68.4
茨城	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター	集計対象	1,580	1,047	278	83.9
茨城	筑波メディカルセンター病院・茨城県地域がんセンター	集計対象	931	698	96	85.3
茨城	茨城県厚生農業協同組合連合会 総合病院土浦協同病院・茨城県地域がんセンター	集計対象	1,707	1,265	227	87.4
茨城	株式会社日立製作所 日立総合病院・茨城県地域がんセンター	集計対象	1,326	1,054	166	92.0
茨城	東京医科大学茨城医療センター	集計対象	891	641	145	88.2
茨城	友愛記念病院	集計対象	848	489	81	67.2
茨城	国立大学法人 筑波大学附属病院	集計対象	2,296	1,221	487	74.4
茨城	国立病院機構水戸医療センター	集計対象	946	640	206	89.4
茨城	株式会社 日立製作所 ひたちなか総合病院	集計対象	601	456	58	85.5
茨城	医療法人社団善仁会 小山記念病院		378	178	12	50.3
栃木	地方独立行政法人栃木県立がんセンター	集計対象	2,079	1,055	586	78.9
栃木	自治医科大学附属病院	集計対象	3,270	1,982	776	84.3
栃木	栃木県済生会宇都宮病院	集計対象	1,706	1,308	193	88.0
栃木	獨協医科大学病院	集計対象	2,544	1,687	513	86.5
栃木	那須赤十字病院	集計対象	680	516	46	82.6
群馬	群馬県立がんセンター	集計対象	2,172	1,030	745	81.7
群馬	群馬大学医学部附属病院	集計対象	3,136	1,499	1,104	83.0
群馬	独立行政法人国立病院機構 高崎医療センター	集計対象	559	333	115	80.1
群馬	独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター	集計対象	1,147	819	156	85.0
群馬	桐生厚生総合病院	集計対象	735	618	56	91.7
群馬	前橋赤十字病院	集計対象	1,230	910	187	89.2
埼玉	さいたま赤十字病院	集計対象	1,309	978	179	88.4
埼玉	埼玉県立がんセンター	集計対象	3,681	1,721	1,116	77.1
埼玉	深谷赤十字病院		548	435	97	97.1
埼玉	春日部市立医療センター	集計対象	812	484	100	71.9
埼玉	さいたま市立病院	集計対象	1,002	743	149	89.0
埼玉	埼玉医科大学総合医療センター		2,407	1,508	326	76.2
埼玉	獨協医科大学埼玉医療センター	集計対象	2,022	1,220	366	78.4
埼玉	川口市立医療センター	集計対象	1,173	761	154	78.0
埼玉	独立行政法人国立病院機構 埼玉病院		916	553	218	84.2
埼玉	埼玉医科大学国際医療センター	集計対象	3,985	1,950	1,384	83.7
埼玉	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会川口総合病院	集計対象	1,143	762	127	77.8
埼玉	医療法人社団東光会 戸田中央総合病院		532	464	13	89.7
千葉	国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院		4,928	1,980	1,504	70.7
千葉	国保旭中央病院	集計対象	2,388	1,900	177	87.0
千葉	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院	集計対象	2,705	1,741	485	82.3
千葉	国保直営総合病院 君津中央病院	集計対象	1,357	976	145	82.6
千葉	成田赤十字病院		1,216	831	181	83.2
千葉	千葉県がんセンター	集計対象	4,309	1,917	1,160	71.4
千葉	独立行政法人労働者健康安全機構 千葉労災病院	集計対象	946	728	147	92.5
千葉	船橋市立医療センター	集計対象	1,408	871	286	82.2
千葉	千葉大学医学部附属病院	集計対象	2,912	1,482	805	78.5
千葉	独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター	集計対象	884	598	144	83.9
千葉	東京歯科大学市川総合病院	集計対象	1,350	903	152	78.1

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治 療(症例 区分2,3) 登録割合
千葉	順天堂大学医学部附属浦安病院	集計対象	1,512	1,087	174	83.4
千葉	東京慈恵会医科大学附属柏病院	集計対象	1,496	1,135	206	89.6
千葉	松戸市立総合医療センター	集計対象	1,276	688	95	61.4
千葉	日本医科大学千葉北総病院	集計対象	1,013	760	109	85.8
東京	国立がん研究センター中央病院		6,537	2,331	2,029	66.7
東京	東京都立駒込病院	集計対象	3,965	2,001	800	70.6
東京	青梅市立総合病院	集計対象	1,046	799	95	85.5
東京	NTT 東日本関東病院	集計対象	2,093	1,297	455	83.7
東京	日本赤十字社医療センター	集計対象	2,003	844	313	57.8
東京	日本大学医学部附属板橋病院	集計対象	2,286	1,399	368	77.3
東京	武蔵野赤十字病院	集計対象	2,007	1,321	312	81.4
東京	がん研有明病院	集計対象	8,322	3,222	2,418	67.8
東京	国立大学法人 東京大学医学部附属病院	集計対象	3,502	1,700	799	71.4
東京	日本医科大学付属病院		2,485	1,514	587	84.5
東京	聖路加国際病院		2,221	1,128	469	71.9
東京	帝京大学医学部附属病院	集計対象	2,069	1,162	384	74.7
東京	東京医科大学八王子医療センター		1,277	908	217	88.1
東京	杏林大学医学部付属病院	集計対象	2,252	1,742	396	94.9
東京	順天堂大学医学部附属 順天堂医院	集計対象	3,567	1,975	940	81.7
東京	昭和大学病院	集計対象	2,277	1,363	461	80.1
東京	慶應義塾大学病院	集計対象	3,804	1,908	753	70.0
東京	東京都立多摩総合医療センター	集計対象	2,541	1,464	670	84.0
東京	公立昭和病院	集計対象	1,461	1,052	220	87.1
東京	虎の門病院	集計対象	3,184	1,554	925	77.9
東京	東邦大学医療センター大森病院		2,042	1,424	291	84.0
東京	東京医科歯科大学病院	集計対象	2,449	1,275	692	80.3
東京	東京都立墨東病院	集計対象	1,420	980	181	81.8
神奈川	神奈川県立がんセンター	集計対象	2,931	1,384	825	75.4
神奈川	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院	集計対象	2,181	1,579	314	86.8
神奈川	横浜州市立市民病院	集計対象	1,793	1,196	305	83.7
神奈川	小田原市立病院		791	498	123	78.5
神奈川	川崎市立井田病院	集計対象	644	360	87	69.4
神奈川	相模原協同病院		1,124	710	95	71.6
神奈川	公立大学法人 横浜市立大学附属病院	集計対象	2,246	1,021	690	76.2
神奈川	聖マリアンナ医科大学病院	集計対象	2,574	1,540	690	86.6
神奈川	東海大学医学部付属病院		3,485	2,054	770	81.0
神奈川	藤沢市民病院		1,325	914	224	85.9
神奈川	北里大学病院	集計対象	1,950	1,244	553	92.2
神奈川	横浜労災病院	集計対象	1,784	1,145	214	76.2
神奈川	昭和大学横浜市北部病院	集計対象	2,146	1,250	500	81.5
神奈川	横浜市立みなと赤十字病院		1,057	660	170	78.5
神奈川	独立行政法人労働者健康安全機構関東労災病院		980	691	104	81.1
新潟	新潟県立がんセンター新潟病院	集計対象	2,981	1,866	943	94.2
新潟	新潟県立中央病院	集計対象	1,365	943	323	92.7
新潟	新潟市民病院		1,645	1,193	341	93.3
新潟	長岡赤十字病院	集計対象	1,576	1,226	231	92.4
新潟	新潟県厚生農業協同組合連合会 長岡中央総合病院	集計対象	1,623	1,221	350	96.8
新潟	新潟大学医歯学総合病院		2,149	1,074	667	81.0
新潟	県立新発田病院	集計対象	1,238	794	289	87.5
富山	富山県立中央病院	集計対象	2,243	1,500	441	86.5
富山	黒部市民病院	集計対象	642	499	83	90.7
富山	国立大学法人 富山大学附属病院	集計対象	1,107	661	253	82.6
富山	厚生連高岡病院	集計対象	1,172	898	137	88.3

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治 療(症例 区分2,3) 登録割合
富山	市立砺波総合病院		648	494	49	83.8
石川	国立大学法人金沢大学附属病院	集計対象	2,024	1,007	471	73.0
石川	独立行政法人国立病院機構 金沢医療センター	集計対象	742	532	87	83.4
石川	石川県立中央病院	集計対象	1,636	1,031	504	93.8
石川	小松市民病院	集計対象	723	499	77	79.7
福井	福井県立病院	集計対象	1,587	1,053	268	83.2
福井	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 福井県済生会病院	集計対象	1,454	1,041	231	87.5
福井	福井赤十字病院	集計対象	1,116	935	97	92.5
福井	福井大学医学部附属病院	集計対象	1,140	710	311	89.6
福井	市立敦賀病院		357	321	14	93.8
山梨	山梨県立中央病院	集計対象	1,818	1,180	315	82.2
山梨	国立大学法人 山梨大学医学部附属病院	集計対象	1,665	999	350	81.0
長野	長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院 佐久医科 センター療センター	集計対象	1,796	1,237	432	92.9
長野	国立大学法人 信州大学医学部附属病院	集計対象	2,051	952	583	74.8
長野	諏訪赤十字病院	集計対象	1,051	739	144	84.0
長野	飯田市立病院	集計対象	943	644	135	82.6
長野	長野市民病院	集計対象	1,451	986	332	90.8
長野	長野赤十字病院	集計対象	1,536	979	275	81.6
長野	社会医療法人財団慈泉会 相澤病院	集計対象	1,355	939	177	82.4
長野	伊那中央病院	集計対象	879	579	170	85.2
長野	北アルプス医療センターあづみ病院		267	171	10	67.8
岐阜	岐阜市民病院		1,213	905	123	84.7
岐阜	岐阜大学医学部附属病院	集計対象	1,966	1,050	597	83.8
岐阜	高山赤十字病院	集計対象	632	468	28	78.5
岐阜	岐阜県総合医療センター	集計対象	1,545	1,115	237	87.5
岐阜	岐阜県立多治見病院	集計対象	1,234	839	206	84.7
岐阜	大垣市民病院	集計対象	1,986	1,714	211	96.9
岐阜	中部国際医療センター	集計対象	1,150	617	196	70.7
静岡	静岡県立静岡がんセンター	集計対象	6,179	2,527	1,752	69.3
静岡	静岡県立総合病院	集計対象	2,488	1,642	581	89.3
静岡	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病 院	集計対象	1,406	857	192	74.6
静岡	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院	集計対象	1,951	1,308	389	87.0
静岡	順天堂大学医学部付属静岡病院	集計対象	1,398	970	195	83.3
静岡	静岡市立静岡病院	集計対象	1,151	940	65	87.3
静岡	藤枝市立総合病院	集計対象	1,105	860	91	86.1
静岡	浜松医科大学医学部附属病院	集計対象	1,632	884	395	78.4
静岡	浜松医療センター	集計対象	1,219	833	153	80.9
静岡	磐田市立総合病院	集計対象	1,327	893	162	79.5
静岡	富士市立中央病院		762	433	66	65.5
愛知	愛知県がんセンター	集計対象	3,040	1,136	1,484	86.2
愛知	海南病院	集計対象	1,188	895	128	86.1
愛知	国立病院機構 名古屋医療センター	集計対象	1,696	1,165	187	79.7
愛知	小牧市民病院	集計対象	1,776	1,398	160	87.7
愛知	豊橋市民病院	集計対象	2,070	1,462	330	86.6
愛知	名古屋大学医学部附属病院	集計対象	2,537	1,371	763	84.1
愛知	独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院	集計対象	1,147	885	159	91.0
愛知	一宮市立市民病院	集計対象	1,320	1,114	184	98.3
愛知	公立陶生病院	集計対象	1,198	944	114	88.3
愛知	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院	集計対象	1,421	1,080	156	87.0
愛知	名古屋市立大学病院	集計対象	1,722	1,064	408	85.5
愛知	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	集計対象	2,151	1,487	325	84.2

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治 療(症例 区分2,3) 登録割合
愛知	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院	集計対象	2,198	1,475	295	80.5
愛知	藤田医科大学病院	集計対象	2,578	1,390	861	87.3
愛知	愛知医科大学病院		1,283	925	250	91.6
愛知	半田市立半田病院		1,125	887	148	92.0
愛知	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター		505	317	84	79.4
三重	伊勢赤十字病院	集計対象	1,550	1,091	250	86.5
三重	松阪中央総合病院		731	565	47	83.7
三重	三重大学医学部附属病院	集計対象	1,799	1,048	405	80.8
三重	鈴鹿中央総合病院		1,163	912	91	86.2
三重	市立四日市病院		1,735	1,231	258	85.8
滋賀	市立長浜病院	集計対象	690	618	31	94.1
滋賀	滋賀県立総合病院		1,414	805	221	72.6
滋賀	大津赤十字病院	集計対象	1,387	1,038	172	87.2
滋賀	彦根市立病院	集計対象	618	416	54	76.1
滋賀	滋賀医科大学医学部附属病院	集計対象	1,405	775	373	81.7
滋賀	高島市民病院		187	115	14	69.0
京都	京都府立医科大学附属病院		2,095	1,061	625	80.5
京都	京都桂病院		1,286	1,156	52	93.9
京都	京都市立病院	集計対象	1,275	779	133	71.5
京都	京都第一赤十字病院	集計対象	1,361	1,022	217	91.0
京都	京都第二赤十字病院	集計対象	1,543	1,217	157	89.0
京都	独立行政法人国立病院機構 京都医療センター	集計対象	1,637	1,082	301	84.5
京都	市立福知山市民病院	集計対象	696	466	87	79.5
京都	京都岡本記念病院		716	235	32	37.3
京都	京都中部総合医療センター	集計対象	588	445	45	83.3
大阪	大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター	集計対象	1,905	1,309	253	82.0
大阪	市立岸和田市民病院	集計対象	1,215	874	141	83.5
大阪	地方独立行政法人市立東大阪医療センター	集計対象	1,042	805	131	89.8
大阪	市立豊中病院	集計対象	1,744	1,446	298	100.0
大阪	大阪国際がんセンター	集計対象	3,216	1,512	1,274	86.6
大阪	地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター	集計対象	2,873	1,624	574	76.5
大阪	大阪赤十字病院	集計対象	2,414	1,794	302	86.8
大阪	独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター	集計対象	855	535	162	81.5
大阪	独立行政法人労働者健康安全機構大阪労災病院	集計対象	1,665	1,135	282	85.1
大阪	大阪大学医学部附属病院		3,451	1,297	905	63.8
大阪	大阪医科薬科大学病院	集計対象	2,247	1,194	747	86.4
大阪	大阪公立大学医学部附属病院	集計対象	3,317	1,650	732	71.8
大阪	関西医科大学附属病院	集計対象	2,809	1,632	687	82.6
大阪	国立病院機構 大阪医療センター	集計対象	1,528	1,064	309	89.9
大阪	八尾市立病院	集計対象	864	650	159	93.6
兵庫	兵庫県立がんセンター	集計対象	3,644	1,613	1,302	80.0
兵庫	神戸大学医学部附属病院	集計対象	3,351	1,457	862	69.2
兵庫	神戸市立医療センター中央市民病院	集計対象	2,118	1,172	465	77.3
兵庫	独立行政法人労働者健康安全機構 関西労災病院	集計対象	1,852	1,049	339	74.9
兵庫	公立学校共済組合近畿中央病院	集計対象	772	592	122	92.5
兵庫	姫路赤十字病院	集計対象	1,570	1,077	302	87.8
兵庫	赤穂市民病院	集計対象	549	458	32	89.3
兵庫	公立豊岡病院組合立豊岡病院	集計対象	934	711	125	89.5
兵庫	兵庫県立淡路医療センター	集計対象	641	459	75	83.3
兵庫	兵庫医科大学病院	集計対象	2,639	1,312	631	73.6
兵庫	兵庫県立丹波医療センター	集計対象	243	102	42	59.3
兵庫	神鋼記念病院		1,235	869	231	89.1

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治 療(症例 区分2,3) 登録割合
奈良	奈良県立医科大学附属病院	集計対象	2,463	1,375	583	79.5
奈良	奈良県総合医療センター	集計対象	894	581	198	87.1
奈良	天理よろづ相談所病院	集計対象	2,063	1,725	262	96.3
奈良	近畿大学奈良病院	集計対象	1,302	807	226	79.3
奈良	市立奈良病院		672	475	70	81.1
奈良	南奈良総合医療センター		182	114	19	73.1
和歌山	紀南病院		632	410	95	79.9
和歌山	南和歌山医療センター		616	362	127	79.4
和歌山	日本赤十字社和歌山医療センター	集計対象	1,720	1,382	223	93.3
和歌山	和歌山県立医科大学附属病院	集計対象	2,420	1,091	831	79.4
和歌山	橋本市民病院		480	293	52	71.9
鳥取	鳥取県立厚生病院	集計対象	572	411	53	81.1
鳥取	鳥取県立中央病院	集計対象	791	702	48	94.8
鳥取	鳥取大学医学部附属病院	集計対象	1,586	1,037	336	86.6
島根	松江市立病院	集計対象	770	531	92	80.9
島根	松江赤十字病院		1,186	992	120	93.8
島根	島根大学医学部附属病院	集計対象	1,210	676	312	81.7
島根	島根県立中央病院	集計対象	1,263	974	134	87.7
島根	独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター	集計対象	656	485	85	86.9
岡山	岡山済生会総合病院	集計対象	1,696	1,028	318	79.4
岡山	岡山赤十字病院	集計対象	916	662	112	84.5
岡山	岡山大学病院	集計対象	2,562	1,075	842	74.8
岡山	公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院	集計対象	3,172	2,278	472	86.7
岡山	津山中央病院	集計対象	1,323	805	136	71.1
岡山	岡山医療センター	集計対象	1,127	789	143	82.7
岡山	川崎医科大学附属病院	集計対象	1,692	1,041	386	84.3
広島	県立広島病院	集計対象	1,566	895	244	72.7
広島	地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院		2,968	1,839	672	84.6
広島	広島赤十字・原爆病院	集計対象	1,386	998	191	85.8
広島	独立行政法人国立病院機構 呉医療センター	集計対象	1,632	956	254	74.1
広島	東広島医療センター	集計対象	776	482	92	74.0
広島	広島県厚生農業協同組合連合会 尾道総合病院	集計対象	976	639	212	87.2
広島	福山市民病院	集計対象	1,576	877	339	77.2
広島	市立三次中央病院		670	499	95	88.7
山口	山口県立総合医療センター	集計対象	731	537	112	88.8
山口	国立病院機構 岩国医療センター	集計対象	992	704	118	82.9
山口	山口県厚生農業協同組合連合会周東総合病院	集計対象	540	476	64	100.0
山口	独立行政法人地域医療機能推進機構徳山中央病院	集計対象	1,374	1,000	187	86.4
山口	山口大学医学部附属病院	集計対象	1,727	860	583	83.6
山口	医療法人医誠会 都志見病院	集計対象	279	151	21	61.6
山口	山口県厚生農業協同組合連合会長門総合病院		328	233	30	80.2
徳島	徳島県立中央病院	集計対象	962	722	119	87.4
徳島	徳島大学病院	集計対象	1,863	909	585	80.2
徳島	徳島赤十字病院	集計対象	1,093	712	205	83.9
徳島	徳島市民病院		770	521	132	84.8
徳島	徳島県立三好病院		250	146	20	66.4
香川	香川県立中央病院	集計対象	1,473	926	363	87.5
香川	独立行政法人労働者健康安全機構香川労災病院	集計対象	1,368	984	208	87.1
香川	三豊総合病院	集計対象	1,005	717	114	82.7
香川	高松赤十字病院	集計対象	1,206	792	223	84.2
香川	国立大学法人 香川大学医学部附属病院	集計対象	1,418	721	378	77.5
愛媛	市立宇和島病院	集計対象	1,233	827	183	81.9

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治 療(症例 区分2,3) 登録割合
愛媛	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	集計対象	2,961	1,552	870	81.8
愛媛	住友別子病院	集計対象	566	398	50	79.2
愛媛	愛媛大学医学部附属病院	集計対象	1,764	846	466	74.4
愛媛	愛媛県立中央病院	集計対象	1,803	1,399	275	92.8
愛媛	松山赤十字病院	集計対象	1,554	1,171	145	84.7
愛媛	社会福祉法人恩賜財団 済生会今治病院	集計対象	539	261	116	69.9
高知	国立大学法人 高知大学医学部附属病院	集計対象	1,580	915	421	84.6
高知	高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター	集計対象	1,369	913	405	96.3
高知	高知県立幡多けんみん病院	集計対象	504	298	73	73.6
福岡	久留米大学病院	集計対象	2,870	1,506	654	75.3
福岡	公立八女総合病院	集計対象	624	460	84	87.2
福岡	地方独立行政法人大牟田市立病院	集計対象	698	434	148	83.4
福岡	社会保険田川病院	集計対象	659	459	64	79.4
福岡	飯塚病院	集計対象	1,950	1,399	295	86.9
福岡	独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター	集計対象	557	405	66	84.6
福岡	北九州市立医療センター	集計対象	2,415	1,271	629	78.7
福岡	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター	集計対象	2,478	1,132	656	72.2
福岡	国立大学法人 九州大学病院	集計対象	3,534	1,593	926	71.3
福岡	独立行政法人国立病院機構九州医療センター	集計対象	1,986	1,280	402	84.7
福岡	福岡県済生会福岡総合病院	集計対象	1,353	760	280	76.9
福岡	福岡大学病院	集計対象	1,832	1,026	455	80.8
福岡	聖マリア病院	集計対象	1,145	796	40	73.0
福岡	独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院	集計対象	1,874	1,216	312	81.5
福岡	産業医科大学病院	集計対象	1,811	1,086	383	81.1
福岡	戸畑共立病院	集計対象	883	366	160	59.6
福岡	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院	集計対象	914	623	149	84.5
福岡	公立学校共済組合九州中央病院	集計対象	753	491	71	74.6
福岡	医療法人原三信病院	集計対象	1,391	873	282	83.0
佐賀	地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館	集計対象	1,111	676	197	78.6
佐賀	国立大学法人佐賀大学医学部附属病院	集計対象	2,017	871	584	72.1
佐賀	唐津赤十字病院	集計対象	704	432	75	72.0
佐賀	独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター	集計対象	823	518	124	78.0
長崎	日本赤十字社長崎原爆病院	集計対象	1,051	780	180	91.3
長崎	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター	集計対象	1,365	975	325	95.2
長崎	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター	集計対象	1,538	971	328	84.5
長崎	長崎みなとメディカルセンター	集計対象	980	639	175	83.1
長崎	国立大学法人 長崎大学病院	集計対象	2,495	1,179	876	82.4
長崎	長崎県島原病院	集計対象	679	437	122	82.3
熊本	熊本大学病院	集計対象	2,900	1,403	824	76.8
熊本	独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院	集計対象	706	463	128	83.7
熊本	人吉医療センター	集計対象	631	378	66	70.4
熊本	熊本赤十字病院	集計対象	1,485	995	218	81.7
熊本	国立病院機構 熊本医療センター	集計対象	1,527	929	232	76.0
熊本	済生会熊本病院	集計対象	1,734	1,010	357	78.8
熊本	荒尾市民病院	集計対象	436	280	62	78.4
大分	大分県立病院	集計対象	1,316	894	263	87.9
大分	大分赤十字病院	集計対象	717	492	105	83.3
大分	大分大学医学部附属病院	集計対象	1,564	768	480	79.8
大分	独立行政法人国立病院機構別府医療センター	集計対象	739	518	112	85.3
大分	大分県済生会日田病院	集計対象	343	181	38	63.8
大分	中津市立中津市民病院	集計対象	529	371	106	90.2
宮崎	宮崎県立宮崎病院	集計対象	1,084	845	168	93.5
宮崎	国立病院機構 都城医療センター	集計対象	654	398	150	83.8

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治療(症例 区分2,3) 登録割合
宮崎	国立大学法人 宮崎大学医学部附属病院	集計対象	1,361	724	332	77.6
鹿児島	鹿児島大学病院	集計対象	2,133	740	787	71.6
鹿児島	国立病院機構 鹿児島医療センター	集計対象	781	364	206	73.0
鹿児島	鹿児島県立薩南病院	集計対象	173	105	36	81.5
鹿児島	鹿児島県立大島病院		328	248	42	88.4
鹿児島	済生会川内病院		653	267	125	60.0
鹿児島	独立行政法人国立病院機構 南九州病院	集計対象	256	169	49	85.2
鹿児島	県民健康プラザ鹿屋医療センター	集計対象	386	160	124	73.6
鹿児島	鹿児島市立病院	集計対象	878	476	154	71.8
鹿児島	公益社団法人 昭和会 いまきいれ総合病院	集計対象	864	404	191	68.9
鹿児島	出水郡医師会広域医療センター	集計対象	382	230	42	71.2
鹿児島	社会医療法人 博愛会 相良病院		789	565	123	87.2
沖縄	地方独立行政法人那覇市立病院	集計対象	866	489	140	72.6
沖縄	北部地区医師会病院		216	139	13	70.4
沖縄	沖縄県立中部病院	集計対象	1,031	583	163	72.4
沖縄	琉球大学病院	集計対象	1,199	544	307	71.0
沖縄	沖縄県立宮古病院		185	106	16	65.9

表 2-2-2 都道府県推薦病院調査参加施設の全登録数及び症例区分 2, 3 の登録数

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治療 (症例 区分 2, 3) 登録割合	
総数			35	47,804	32,842	6,140	81.5
青森	三沢市立三沢病院			447	272	59	74.0
秋田	中通総合病院	集計対象		590	394	105	84.6
秋田	市立秋田総合病院	集計対象		802	614	96	88.5
山形	鶴岡市立荘内病院			918	688	165	92.9
福島	労働者健康安全機構福島労災病院	集計対象		914	572	184	82.7
福島	一般財団法人慈山会医学研究所付属坪井病院	集計対象		635	370	126	78.1
福島	会津中央病院	集計対象		672	504	81	87.1
茨城	茨城西南医療センター病院	集計対象		430	276	32	71.6
茨城	水戸赤十字病院			1,176	851	200	89.4
群馬	独立行政法人地域医療機能推進機構 群馬中央病院	集計対象		406	374	1	92.4
群馬	群馬県済生会前橋病院	集計対象		570	297	144	77.4
群馬	原町赤十字病院	集計対象		206	140	3	69.4
埼玉	秀和総合病院			447	376	30	90.8
千葉	医療法人徳洲会千葉徳洲会病院			360	244	29	75.8
東京	東京女子医科大学病院			4002	1857	898	68.8
東京	日本医科大学多摩永山病院	集計対象		746	511	108	83.0
東京	国家公務員共済組合連合会 立川病院			1,249	708	156	69.2
東京	順天堂大学医学部附属練馬病院			1,288	905	170	83.5
	地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立大塚病 院	集計対象					75.0
東京				661	455	41	
東京	国際医療福祉大学三田病院			1,061	514	289	75.7
東京	J R 東京総合病院			707	493	68	79.3
東京	東京都済生会中央病院			1,012	728	95	81.3
東京	社会福祉法人 三井記念病院			1,501	966	205	78.0
東京	社会医療法人河北医療財団 河北総合病院			624	468	32	80.1
神奈川	国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院	集計対象		1,050	830	73	86.0
新潟	独立行政法人労働者健康安全機構 新潟労災病院	集計対象		427	356	48	94.6
富山	独立行政法人労働者健康安全機構富山労災病院	集計対象		201	159	10	84.1
富山	高岡市民病院			666	510	66	86.5
富山	富山赤十字病院			717	577	49	87.3
富山	富山県済生会高岡病院			231	167	26	83.5
石川	社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院	集計対象		358	265	22	80.2
石川	芳珠記念病院			247	191	17	84.2
石川	公立松任石川中央病院			523	477	18	94.6
福井	独立行政法人国立病院機構敦賀医療センター			181	121	26	81.2
山梨	市立甲府病院	集計対象		401	307	53	89.8
静岡	沼津市立病院	集計対象		954	662	72	76.9
静岡	焼津市立総合病院	集計対象		742	536	84	83.6
静岡	国立病院機構 静岡医療センター			571	354	57	72.0
静岡	静岡済生会総合病院			568	468	65	93.8
静岡	島田市立総合医療センター			750	651	33	91.2
愛知	トヨタ記念病院			800	723	71	99.3
愛知	医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院			1,491	1142	133	85.5
愛知	独立行政法人労働者健康安全機構 中部労災病院			645	521	61	90.2
三重	済生会松阪総合病院	集計対象		631	522	54	91.3
三重	松阪市民病院	集計対象		425	337	52	91.5

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治療 (症例 区分2,3) 登録割合
滋賀	社会医療法人 誠光会 淡海医療センター		523	372	34	77.6
滋賀	済生会滋賀県病院		504	405	56	91.5
兵庫	国立病院機構 神戸医療センター		604	450	43	81.6
奈良	国保中央病院		503	110	14	24.7
奈良	大和高田市立病院	集計対象	505	442	42	95.8
鳥取	独立行政法人国立病院機構米子医療センター	集計対象	514	350	63	80.4
鳥取	鳥取市立病院	集計対象	542	415	78	91.0
島根	独立行政法人国立病院機構松江医療センター		106	93	5	92.5
岡山	川崎医科大学総合医療センター	集計対象	586	283	67	59.7
広島	国家公務員共済組合連合会 呉共済病院	集計対象	814	630	78	87.0
広島	公立学校共済組合中国中央病院	集計対象	571	484	80	98.8
山口	総合病院山口赤十字病院		692	465	76	78.2
高知	高知赤十字病院	集計対象	811	494	119	75.6
長崎	独立行政法人地域医療機能推進機構 諫早総合病院	集計対象	854	588	120	82.9
長崎	社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院	集計対象	719	447	113	77.9
熊本	国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院	集計対象	998	720	134	85.6
熊本	大腸肛門病センター高野病院	集計対象	225	152	43	86.7
熊本	天草地域医療センター	集計対象	270	197	41	88.1
熊本	熊本地域医療センター	集計対象	465	340	52	84.3
宮崎	宮崎県立日南病院		437	255	73	75.1
鹿児島	公益財団法人 自愛会 いづろ今村病院		483	203	182	79.7
沖縄	社会医療法人敬愛会 中頭病院		1,105	877	69	85.6
沖縄	社会医療法人仁愛会 浦添総合病院	集計対象	514	299	103	78.2
沖縄	社会医療法人 かりゆし会 ハートライフ病院	集計対象	456	318	48	80.3

Ⅲ 2011年10年生存率集計 結果詳細(全体) :悪性新生物<腫瘍>

1. 全がん

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2011	341	363,521	194,314	97.3	67.6

(0) 全がんの生存率集計値

全がんでの生存率集計値の算定に当たり、特性が異なるがんの生存率算定の意義について疑問を呈する声もあったが、先行する地域がん登録、全国がんセンター協議会加盟施設における既存生存率集計と比較するため、ここでは院内がん登録10年生存率集計においても全がんでの生存率集計結果について提示する。

(1) 生存状況把握割合

対象者は363,521例で、その内10年以内に死亡していた者は194,314例、打ち切りが9,699例であった。全体として、生存状況把握割合は97.3%であった。

(2) 対象者の属性

本集計対象者の属性を表3-1-1に示す。男性が58.5%、女性が41.5%とやや男性が多かった。診断時の年齢は、男女とも70歳代が最も多く、次いで60歳代となっており、60歳代、70歳代で全体の約60.0%を占めた。59.3%の対象者に観血的治療が実施されており、52.4%が原発巣・治癒切除であった。発見経緯別にみると、がん検診または健康診断等が15.5%であった。部位別にみると、男性では胃、前立腺、肺、大腸の順に、女性では乳房、大腸、胃の順に多かった。

表 3-1-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	212,546	100.0	150,975	100.0	363,521	100.0
拠点病院等	203,450	95.7	144,718	95.9	348,168	95.8
都道府県推薦病院	9,096	4.3	6,257	4.1	15,353	4.2
年齢						
平均年齢(SD)	69.0(11.7)		65.6(15.0)		67.6(13.3)	
0-14歳	680	0.3	557	0.4	1,237	0.3
15-39歳	4,045	1.9	7,920	5.2	11,965	3.3
40歳代	6,838	3.2	14,726	9.8	21,564	5.9
50歳代	22,607	10.6	22,744	15.1	45,351	12.5
60歳代	65,977	31.0	38,215	25.3	104,192	28.7
70歳代	76,685	36.1	39,262	26.0	115,947	31.9
80歳以上	35,714	16.8	27,551	18.2	63,265	17.4
観血的治療						
有	113,704	53.5	101,969	67.5	215,673	59.3
原発巣・治癒切除	100,209	47.1	90,164	59.7	190,373	52.4
原発巣・非治癒切除	9,392	4.4	7,762	5.1	17,154	4.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	4,103	1.9	4,043	2.7	8,146	2.2
無	98,842	46.5	49,006	32.5	147,848	40.7
発見経緯						
がん検診	15,464	7.3	13,975	9.3	29,439	8.1
健康診断・人間ドック	18,107	8.5	8,608	5.7	26,715	7.3
他疾患経過観察中	66,952	31.5	35,719	23.7	102,671	28.2
その他・不明	112,023	52.7	92,673	61.4	204,696	56.3
部位						
口腔・口唇	2,967	1.4	1,999	1.3	4,966	1.4
大唾液腺	498	0.2	328	0.2	826	0.2
中咽頭	1,583	0.7	337	0.2	1,920	0.5
上咽頭	331	0.2	111	0.1	442	0.1
下咽頭	2,230	1.0	205	0.1	2,435	0.7
食道	9,811	4.6	1,624	1.1	11,435	3.1
胃	36,399	17.1	15,301	10.1	51,700	14.2
小腸	763	0.4	426	0.3	1,189	0.3
結腸	15,587	7.3	12,874	8.5	28,461	7.8
直腸	10,323	4.9	5,694	3.8	16,017	4.4
大腸(再掲)	25,910	12.2	18,568	12.3	44,478	12.2
肛門・肛門管	201	0.1	233	0.2	434	0.1
肝臓	11,332	5.3	5,191	3.4	16,523	4.5
胆嚢胆管	4,391	2.1	3,491	2.3	7,882	2.2
膵臓	6,580	3.1	5,398	3.6	11,978	3.3
喉頭	2,875	1.4	219	0.1	3,094	0.9
肺	31,271	14.7	13,943	9.2	45,214	12.4
骨軟部	1,080	0.5	813	0.5	1,893	0.5
皮膚	4,526	2.1	4,379	2.9	8,905	2.4
乳房	173	0.1	30,525	20.2	30,698	8.4
膣・外陰	0	-	602	0.4	602	0.2
子宮頸部	0	-	6,412	4.2	6,412	1.8
子宮体部	0	-	7,372	4.9	7,372	2.0
子宮	0	-	25	0.0	25	0.0
卵巣	0	-	4,809	3.2	4,809	1.3
前立腺	31,570	14.9	1	-	31,571	8.7
精巣	908	0.4	0	-	908	0.2
腎	5,311	2.5	2,174	1.4	7,485	2.1
膀胱	5,777	2.7	1,718	1.1	7,495	2.1
腎盂・尿管	2,076	1.0	1,027	0.7	3,103	0.9
脳・中枢神経系	3,815	1.8	5,206	3.4	9,021	2.5
甲状腺	1,711	0.8	4,568	3.0	6,279	1.7
悪性リンパ腫	7,246	3.4	6,108	4.0	13,354	3.7
多発性骨髄腫	1,533	0.7	1,297	0.9	2,830	0.8
白血病	3,113	1.5	2,196	1.5	5,309	1.5

その他の血液	2,549	1.2	1,576	1.0	4,125	1.1
その他	4,016	1.9	2,793	1.8	6,809	1.9

(3)10年生存率

表 3-1-2 に、実測生存率及びネット・サバイバルを示す。年齢が高いほど実測生存率とネット・サバイバルとの乖離が大きくなっているが、これは若年者と比較して高齢者ではがん以外の要因で死亡する例が多くなることが影響していると考えられる。観血的治療の実施別にみると、男女ともに観血的治療有、特に原発巣・治癒切除例において生存率が高くなっていた。

表 3-1-2 属性別 10 年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	39.9	49.3	49.0	49.5	54.5	59.6	59.3	59.9	46.0	53.5	53.3	53.8
拠点病院等	40.0	49.3	49.0	49.6	54.8	59.8	59.5	60.1	46.1	53.7	53.5	53.9
都道府県推薦病院	37.4	47.5	46.1	49.0	48.4	54.1	52.5	55.6	41.9	50.2	49.1	51.3
年齢												
0-14 歳	82.8	83.1	80.2	86.0	81.2	81.5	78.2	84.8	82.0	82.4	80.2	84.5
15-39 歳	74.0	74.6	73.2	76.0	82.3	82.7	81.9	83.6	79.5	80.0	79.2	80.7
40 歳代	63.7	65.0	63.8	66.2	80.3	81.2	80.6	81.9	75.0	76.1	75.5	76.7
50 歳代	56.2	59.4	58.7	60.1	71.5	73.4	72.7	74.0	63.9	66.4	65.9	66.9
60 歳代	49.6	56.3	55.8	56.7	62.1	65.4	64.8	65.9	54.2	59.6	59.3	59.9
70 歳代	35.4	47.6	47.1	48.1	45.9	52.6	52.1	53.2	38.9	49.3	48.9	49.7
80 歳以上	12.3	26.9	26.1	27.8	19.6	31.1	30.2	31.9	15.4	28.7	28.1	29.3
観血的治療												
有	53.0	64.9	64.5	65.3	68.9	75.3	74.9	75.6	60.5	69.8	69.5	70.1
原発巣・治癒切除	55.6	68.2	67.7	68.6	72.1	78.8	78.5	79.2	63.4	73.2	72.9	73.5
原発巣・非治癒切除	30.0	35.5	34.3	36.7	36.8	39.7	38.4	40.9	33.0	37.4	36.5	38.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	43.6	52.3	50.2	54.3	60.0	64.5	62.7	66.3	51.7	58.3	57.0	59.7
無	24.7	31.2	30.8	31.6	24.3	26.7	26.2	27.1	24.6	29.7	29.4	30.0

2. 胃がん(胃癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2011	341	51,096	27,056	97.5	70.4
I 期	341	32,653	11,843	96.9	70.5
II 期	338	3,816	2,211	97.6	70.2
III 期	338	3,482	2,510	98.0	70.2
IV 期	340	10,415	9,817	99.0	69.5

(1) 生存状況把握割合

集計対象者は、51,096 例で、10 年以内に死亡していた者は 27,056 例、打ち切りが 1,295 例で、生存状況把握割合は、全体で 97.5 %であった。

歳代が最も多く、次いで 60 歳代となっており、60 歳代・70 歳代で全体の 6 割以上を占めた。UICC TNM 分類総合ステージを見ると、I 期が約 6 割、次いで IV 期が約 2 割であった。約 8 割において観血的治療が実施されており、74.0%が原発巣・治癒切除例であった。発見経緯としては、他疾患経過観察中が 30.2%であった。

(2) 対象者の属性

胃の集計対象者の属性を表 3-2-1 に示す。性別にみると、男性が 7 割以上を占めた。診断時の年齢は、70

表 3-2-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	36,063	100.0	15,033	100.0	51,096	100.0
拠点病院等	34,320	95.2	14,249	94.8	48,569	95.1
都道府県推薦病院	1,743	4.8	784	5.2	2,527	4.9
年齢						
平均年齢 (SD)	70.2 (10.1)		70.6 (12.2)		70.4 (10.7)	
0-14 歳	-	-	-	-	-	-
15-39 歳	268	0.7	319	2.1	587	1.1
40 歳代	824	2.3	618	4.1	1,442	2.8
50 歳代	3,653	10.1	1,541	10.3	5,194	10.2
60 歳代	11,027	30.6	3,637	24.2	14,664	28.7
70 歳代	13,787	38.2	5,118	34.0	18,905	37.0
80 歳以上	6,504	18.0	3,800	25.3	10,304	20.2
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	23,358	64.8	9,295	61.8	32,653	63.9
II 期	2,662	7.4	1,154	7.7	3,816	7.5
III 期	2,385	6.6	1,097	7.3	3,482	6.8
IV 期	7,198	20.0	3,217	21.4	10,415	20.4
不詳	460	1.3	270	1.8	730	1.4
観血的治療						
有	28,868	80.0	11,837	78.7	40,705	79.7
原発巣・治癒切除	26,824	74.4	10,976	73.0	37,800	74.0
原発巣・非治癒切除	1,598	4.4	671	4.5	2,269	4.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	446	1.2	190	1.3	636	1.2
無	7,195	20.0	3,196	21.3	10,391	20.3
発見経緯						
がん検診	3,824	10.6	1,504	10.0	5,328	10.4
健康診断・人間ドック	4,360	12.1	1,330	8.8	5,690	11.1
他疾患経過観察中	11,327	31.4	4,103	27.3	15,430	30.2
その他・不明	16,552	45.9	8,096	53.9	24,648	48.2

(3)10年生存率

男女別にみた10年ネット・サバイバルはほぼ同様であった。年代別にみると、70歳以上では実測生存率とネット・サバイバルの乖離が大きく、がん以外による死亡も無視できないと考えられる。また、観血的治療を受けた者では、ネット・サバイバルは全体で69.6%であった。

表 3-2-2 属性別 10年生存率

	男性			女性			全体		
	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間
全体	44.5	56.1	55.4 56.9	51.3	58.4	57.4 59.4	46.5	56.8	56.2 57.4
拠点病院等	44.6	56.2	55.4 56.9	51.4	58.4	57.4 59.4	46.6	56.8	56.2 57.4
都道府県推薦病院	42.5	54.9	51.3 58.4	49.3	57.8	53.1 62.4	44.5	55.7	52.9 58.6
年齢									
0-39歳	63.8	64.4	58.5 70.3	54.1	54.4	48.9 60.0	58.5	58.9	54.9 63.0
40歳代	67.4	68.9	65.6 72.2	68.2	69.1	65.3 72.8	67.8	69.0	66.5 71.4
50歳代	65.5	69.2	67.6 70.9	66.6	68.4	66.0 70.8	65.8	69.0	67.6 70.3
60歳代	58.2	65.9	64.9 67.0	65.1	68.7	67.0 70.3	59.9	66.6	65.7 67.5
70歳代	39.7	53.5	52.4 54.7	54.3	62.6	61.0 64.2	43.6	56.0	55.0 56.9
80歳以上	16.1	35.4	33.3 37.6	24.2	36.8	34.4 39.2	19.0	35.9	34.3 37.5
UICC TNM 分類総合ステージ									
I期	60.1	76.1	75.2 77.1	71.2	81.3	80.0 82.5	63.2	77.6	76.8 78.3
II期	39.1	47.3	44.8 49.8	47.2	52.5	48.9 56.0	41.6	48.9	46.8 50.9
III期	25.0	30.5	28.2 32.8	31.8	35.3	32.0 38.6	27.1	32.0	30.1 33.9
IV期	4.8	5.8	5.2 6.4	5.4	6.0	5.1 6.9	5.0	5.9	5.3 6.4
不詳	4.5	5.0	2.3 7.7	6.5	7.2	3.2 11.2	5.2	5.7	3.5 8.0
観血的治療									
有	54.3	68.4	67.6 69.3	63.6	72.3	71.2 73.4	57.0	69.6	68.9 70.2
原発巣・治癒切除	56.8	71.6	70.7 72.5	66.9	76.1	74.9 77.2	59.7	72.9	72.2 73.6
原発巣・非治癒切除	16.3	21.2	18.5 23.8	14.4	16.5	13.1 19.9	15.7	19.8	17.7 22.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	35.7	44.3	38.2 50.4	42.2	47.6	38.7 56.6	37.5	45.3	40.2 50.3
無	5.0	6.1	5.4 6.9	5.2	6.0	4.9 7.1	5.1	6.1	5.5 6.7

3. 大腸がん(大腸癌)・結腸がん(結腸癌)・直腸がん(直腸癌)

大腸がん(大腸癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2011	341	43,618	22,198	97.3	69.5
I 期	341	11,223	3,580	96.8	69.0
II 期	341	11,770	4,941	96.8	71.0
III 期	341	11,353	5,402	97.1	68.8
IV 期	341	8,635	7,707	98.7	68.6

(1) 生存状況把握割合

集計対象 43,618 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 22,198 例、打ち切りが 1,199 例で、全体として生存状況把握割合は 97.3%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-3①-1 に示す。性別にみると、女性より男性がやや多く男性が 58.2%を占めた。診断時

の年齢は、男女ともに 70 歳代が最も多く、次いで 60 歳代が多くなっていた。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、全体では I、II、III 期ともに 25%前後にばらついていた。86.6%の対象者がなんらかの観血的治療を受けており、77.4%が原発巣・治癒切除例であった。発見経緯としては、他疾患経過観察中が 23.2%、がん検診が 10.0%、健康診断・人間ドックが 7.6%であった。

表 3-3①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	25,368	100.0	18,250	100.0	43,618	100.0
拠点病院等	23,837	94.0	17,153	94.0	40,990	94.0
都道府県推薦病院	1,531	6.0	1,097	6.0	2,628	6.0
年齢						
平均年齢 (SD)	69.0(10.9)		70.3(12.3)		69.5(11.5)	
0-14 歳	0	0.0	(1-3)	0.0	(1-3)	0.0
15-39 歳	330	1.3	263	1.4	593	1.4
40 歳代	904	3.6	828	4.5	1,732	4.0
50 歳代	3,072	12.1	2,264	12.4	5,336	12.2
60 歳代	8,169	32.2	4,731	25.9	12,900	29.6
70 歳代	8,596	33.9	5,577	30.6	14,173	32.5
80 歳以上	4,297	16.9	4,586	25.1	8,883	20.4
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	6,862	27.0	4,361	23.9	11,223	25.7
II 期	6,839	27.0	4,931	27.0	11,770	27.0
III 期	6,387	25.2	4,966	27.2	11,353	26.0
IV 期	4,926	19.4	3,709	20.3	8,635	19.8
不詳	354	1.4	283	1.6	637	1.5
観血的治療						
有	21,961	86.6	15,810	86.6	37,771	86.6
原発巣・治癒切除	19,671	77.5	14,070	77.1	33,741	77.4
原発巣・非治癒切除	1,866	7.4	1,385	7.6	3,251	7.5
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	424	1.7	355	1.9	779	1.8
無	3,407	13.4	2,440	13.4	5,847	13.4
発見経緯						
がん検診	2,489	9.8	1,892	10.4	4,381	10.0
健康診断・人間ドック	2,132	8.4	1,193	6.5	3,325	7.6
他疾患経過観察中	6,164	24.3	3,970	21.8	10,134	23.2
その他・不明	14,583	57.5	11,195	61.3	25,778	59.1

(3)10 年生存率

10 年生存率を表 3-3①-2 に示す。10 年ネット・サバイバルは、男女ともほぼ同様であり全体では 57.9%であった。他の部位と同様、年代が高くなるほど、実測生存率とネット・サバイバルの差が大きくなるが、これは高齢者ほど他疾患で亡くなる例が少ないためと考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別にネット・サバイバルをみると、I 期では 80.4%、II 期では 69.8%であった。観血的治療を受けたものは、ネット・サバイバルは 65.5%であり、原発巣・治癒切除例においては 70.2%であった。

表 3-3①-2 属性別 10 年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	45.8	56.7	55.9	57.6	52.1	59.4	58.5	60.4	48.4	57.9	57.2	58.5
拠点病院等	45.7	56.6	55.7	57.5	52.5	59.7	58.7	60.7	48.5	57.9	57.2	58.6
都道府県推薦病院	46.8	58.6	55.1	62.1	46.8	55.3	51.2	59.3	46.8	57.2	54.6	59.9
年齢												
0-39 歳	65.6	66.2	61.0	71.5	65.8	66.2	60.3	72.0	65.7	66.2	62.3	70.1
40 歳代	66.3	67.8	64.6	71.0	70.4	71.2	68.0	74.4	68.3	69.4	67.2	71.7
50 歳代	62.8	66.4	64.6	68.3	66.8	68.6	66.6	70.6	64.6	67.4	66.0	68.7
60 歳代	56.6	64.1	62.8	65.3	66.5	70.1	68.6	71.5	60.2	66.3	65.3	67.2
70 歳代	41.9	56.5	55.1	58.0	52.9	60.8	59.3	62.4	46.2	58.2	57.1	59.3
80 歳以上	15.0	33.3	30.7	35.9	24.6	39.2	36.9	41.5	19.9	36.3	34.6	38.0
UICC TNM 分類総合ステージ												
I 期	63.1	78.0	76.3	79.6	74.6	84.3	82.5	86.1	67.6	80.4	79.2	81.7
II 期	54.3	68.6	66.8	70.4	61.5	71.6	69.7	73.5	57.3	69.8	68.5	71.2
III 期	48.3	59.3	57.6	61.0	56.3	63.6	61.8	65.4	51.8	61.2	60.0	62.4
IV 期	9.1	10.7	9.7	11.7	10.7	11.7	10.6	12.9	9.8	11.1	10.4	11.9
不詳	9.1	10.8	6.4	15.2	10.3	11.8	7.1	16.4	9.7	11.2	7.9	14.4
観血的治療												
有	51.6	64.1	63.1	65.0	59.1	67.4	66.3	68.4	54.7	65.5	64.8	66.1
原発巣・治癒切除	55.1	68.6	67.5	69.6	63.5	72.5	71.4	73.5	58.6	70.2	69.4	70.9
原発巣・非治癒切除	17.1	20.2	18.1	22.4	16.3	18.1	15.7	20.6	16.7	19.3	17.7	21.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	39.6	48.6	42.3	55.0	49.1	55.5	49.0	61.9	44.0	51.9	47.3	56.4
無	7.9	9.3	8.1	10.5	7.1	7.8	6.5	9.1	7.6	8.7	7.8	9.5

結腸がん(結腸癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2011	341	28,406	14,684	97.2	70.7
I 期	340	7,222	2,428	96.9	69.9
II 期	341	8,226	3,503	96.6	72.0
III 期	339	6,850	3,274	97.1	70.3
IV 期	340	5,690	5,112	98.7	69.5

(1) 生存状況把握割合

対象数は、28,406 例、うち死亡数が 14,684 例、打ち切り数が 791 例で生存状況把握割合は 97.2%であった。

(2) 対象者の属性

男性が約 55%、女性が約 45%を占め、平均年齢は、70.7 歳であった。UICC TNM 分類総合ステージ別に見ると、I～III期が約 25%前後であった。約 87%になんらかの観血的治療が実施されていた。

表 3-3②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	15,555	100.0	12,851	100.0	28,406	100.0
拠点病院等	14,598	93.8	12,062	93.9	26,660	93.9
都道府県推薦病院	957	6.2	789	6.1	1,746	6.1
年齢						
平均年齢 (SD)	70.2 (10.7)		71.2 (12.1)		70.7 (11.4)	
0-14 歳	0	0.0	(1-3)	0.0	(1-3)	0.0
15-39 歳	179	1.2	165	1.3	344	1.2
40 歳代	462	3.0	506	3.9	968	3.4
50 歳代	1,541	9.9	1,407	10.9	2,948	10.4
60 歳代	4,659	30.0	3,168	24.7	7,827	27.6
70 歳代	5,599	36.0	4,090	31.8	9,689	34.1
80 歳以上	3,115	20.0	3,514	27.3	6,629	23.3
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	4,351	28.0	2,871	22.3	7,222	25.4
II 期	4,463	28.7	3,763	29.3	8,226	29.0
III 期	3,508	22.6	3,342	26.0	6,850	24.1
IV 期	3,004	19.3	2,686	20.9	5,690	20.0
不詳	229	1.5	189	1.5	418	1.5
観血的治療						
有	13,618	87.5	11,203	87.2	24,821	87.4
原発巣・治癒切除	12,234	78.6	9,942	77.4	22,176	78.1
原発巣・非治癒切除	1,127	7.2	1,018	7.9	2,145	7.6
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	257	1.7	243	1.9	500	1.8
無	1,937	12.5	1,648	12.8	3,585	12.6
発見経緯						
がん検診	1,583	10.2	1,376	10.7	2,959	10.4
健康診断・人間ドック	1,329	8.5	881	6.9	2,210	7.8
他疾患経過観察中	4,457	28.7	3,159	24.6	7,616	26.8
その他・不明	8,186	52.6	7,435	57.9	15,621	55.0

(3)10年生存率

表 3-3②-2 結腸に、属性別 10 年実測生存率とネット・サバイバルを示す。年齢が高くなるほど実測生存率とネット・サバイバルの差に乖離が大きくなる傾向にあった。これは年齢が高いほどがん以外の死因で亡くなる確率が高くなるものが影響していると考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、I 期ではネット・サバイバルは 79.5%であった。

表 3-3②-2 属性別 10 年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	44.7	56.8	55.6	57.9	51.0	58.7	57.6	59.9	47.5	57.7	56.8	58.5
拠点病院等	44.6	56.5	55.3	57.7	51.3	58.9	57.7	60.1	47.6	57.6	56.8	58.4
都道府県推薦病院	47.0	60.9	56.1	65.8	46.4	55.5	50.5	60.6	46.7	58.5	55.0	62.0
年齢												
0-39 歳	64.2	64.8	57.7	72.0	66.2	66.5	59.2	73.9	65.1	65.6	60.5	70.8
40 歳代	67.2	68.6	64.1	73.1	69.2	70.0	65.9	74.2	68.2	69.3	66.3	72.4
50 歳代	63.1	66.7	64.1	69.3	65.4	67.1	64.5	69.7	64.2	66.9	65.1	68.8
60 歳代	56.8	64.4	62.7	66.0	66.5	70.1	68.4	71.9	60.7	66.7	65.5	67.9
70 歳代	43.4	58.8	57.0	60.6	53.4	61.5	59.7	63.3	47.6	59.9	58.6	61.2
80 歳以上	15.6	34.7	31.5	37.9	24.6	39.5	36.9	42.1	20.4	37.3	35.2	39.3
UICC TNM 分類総合ステージ												
I 期	61.0	76.9	74.7	79.1	73.3	83.4	81.2	85.6	65.9	79.5	77.9	81.1
II 期	52.3	67.7	65.3	70.0	61.5	72.4	70.2	74.6	56.5	69.8	68.2	71.5
III 期	47.8	60.6	58.2	63.0	55.2	63.0	60.8	65.3	51.4	61.8	60.1	63.4
IV 期	8.5	10.2	9.0	11.5	9.9	10.9	9.6	12.2	9.2	10.6	9.6	11.5
不詳	9.6	11.5	5.9	17.1	11.5	13.3	7.6	19.0	10.4	12.1	8.0	16.3
観血的治療												
有	50.2	63.8	62.6	65.1	57.7	66.5	65.2	67.7	53.6	65.0	64.1	65.9
原発巣・治癒切除	53.7	68.4	67.0	69.7	62.3	71.8	70.5	73.1	57.6	69.9	69.0	70.9
原発巣・非治癒切除	15.0	18.0	15.2	20.8	15.3	17.1	14.2	20.0	15.1	17.6	15.6	19.6
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	36.9	47.1	38.6	55.5	45.4	52.2	44.3	60.1	41.2	49.7	43.9	55.6
無	6.0	7.3	5.8	8.7	5.4	6.1	4.7	7.4	5.7	6.7	5.7	7.7

直腸がん(直腸癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2011	340	15,212	7,514	97.3	67.4
I 期	340	4,001	1,152	96.7	67.2
II 期	336	3,544	1,438	97.2	68.5
III 期	340	4,503	2,128	97.0	66.5
IV 期	339	2,945	2,595	98.7	66.9

(1) 生存状況把握割合

対象数は、15,212 例、うち死亡数が 7,514 例、打ち切り数が 408 例で生存状況把握割合は 97.3%であった。

(2) 対象者の属性

男性が約 65%、女性が約 35%であり、平均年齢は 67.4 歳であった。UICC TNM 分類総合ステージ別に見ると、III 期が約 30%であった。85.1%になんらかの観血的治療が実施されていた。

表 3-3③-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	9,813	100.0	5,399	100.0	15,212	100.0
拠点病院等	9,239	94.2	5,091	94.3	14,330	94.2
都道府県推薦病院	574	5.8	308	5.7	882	5.8
年齢						
平均年齢 (SD)	67.0 (10.8)		68.1 (12.5)		67.4 (11.4)	
0-14 歳	-	-	-	-	-	-
15-39 歳	151	1.5	98	1.8	249	1.6
40 歳代	442	4.5	322	6.0	764	5.0
50 歳代	1,531	15.6	857	15.9	2,388	15.7
60 歳代	3,510	35.8	1,563	28.9	5,073	33.3
70 歳代	2,997	30.5	1,487	27.5	4,484	29.5
80 歳以上	1,182	12.0	1,072	19.9	2,254	14.8
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	2,511	25.6	1,490	27.6	4,001	26.3
II 期	2,376	24.2	1,168	21.6	3,544	23.3
III 期	2,879	29.3	1,624	30.1	4,503	29.6
IV 期	1,922	19.6	1,023	18.9	2,945	19.4
不詳	125	1.3	94	1.7	219	1.4
観血的治療						
有	8,343	85.0	4,607	85.3	12,950	85.1
原発巣・治癒切除	7,437	75.8	4,128	76.5	11,565	76.0
原発巣・非治癒切除	739	7.5	367	6.8	1,106	7.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	167	1.7	112	2.1	279	1.8
無	1,470	15.0	792	14.7	2,262	14.9
発見経緯						
がん検診	906	9.2	516	9.6	1,422	9.3
健康診断・人間ドック	803	8.2	312	5.8	1,115	7.3
他疾患経過観察中	1,707	17.4	811	15.0	2,518	16.6
その他・不明	6,397	65.2	3,760	69.6	10,157	66.8

(3)10年生存率

表 3-3③-2 直腸に、属性別 10 年実測生存率とネット・サバイバルを示す。70 歳以上では実測生存率とネット・サバイバルの差が大きくなる傾向にあった。これは年齢が高いほどがん以外の死因で亡くなる確率が高くなることが影響していると考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、全体では I 期のネット・サバイバルは 82.1%であった。

表 3-3③-2 属性別 10 年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	47.4	56.6	55.3	57.9	54.7	60.8	59.1	62.5	50.0	58.1	57.1	59.1
拠点病院等	47.5	56.7	55.4	58.1	55.3	61.3	59.6	63.0	50.3	58.4	57.3	59.4
都道府県推薦病院	46.2	54.6	49.4	59.9	45.6	52.3	44.9	59.6	46.0	53.8	49.5	58.1
年齢												
0-39 歳	67.7	68.3	60.7	76.0	64.9	65.2	55.5	74.8	66.6	67.1	61.1	73.1
40 歳代	65.7	67.1	62.5	71.8	72.0	72.9	67.8	78.0	68.4	69.6	66.1	73.0
50 歳代	62.5	66.0	63.4	68.6	68.9	70.7	67.5	73.9	64.8	67.7	65.7	69.8
60 歳代	56.2	63.6	61.7	65.5	66.3	69.7	67.2	72.2	59.3	65.5	64.0	67.0
70 歳代	39.2	52.5	50.1	54.9	51.5	59.0	56.0	62.0	43.3	54.6	52.7	56.5
80 歳以上	13.2	28.4	23.9	33.0	24.0	37.5	32.9	42.1	18.3	32.7	29.5	36.0
UICC TNM 分類総合ステージ												
I 期	66.8	79.9	77.2	82.5	77.2	85.9	83.0	88.8	70.7	82.1	80.1	84.1
II 期	57.8	69.8	67.0	72.5	61.0	68.5	64.8	72.1	58.9	69.3	67.1	71.6
III 期	48.8	57.7	55.3	60.1	58.3	64.5	61.6	67.4	52.2	60.1	58.3	62.0
IV 期	9.9	11.4	9.8	13.1	12.9	13.9	11.5	16.3	11.0	12.3	11.0	13.6
不詳	7.7	8.9	2.5	15.3	6.6	7.3	0.7	14.0	7.3	8.1	3.4	12.9
観血的治療												
有	53.9	64.4	62.9	65.8	62.2	69.2	67.5	71.0	56.9	66.1	65.0	67.2
原発巣・治癒切除	57.5	68.7	67.2	70.3	66.2	73.7	71.8	75.5	60.6	70.5	69.3	71.7
原発巣・非治癒切除	20.3	23.8	20.2	27.3	19.1	21.0	16.2	25.7	19.9	22.8	20.0	25.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	43.2	50.3	40.7	59.8	57.5	62.7	52.0	73.5	48.9	55.3	48.0	62.6
無	10.5	11.9	10.0	13.9	10.7	11.4	8.7	14.1	10.6	11.7	10.2	13.3

4. 肝細胞がん(肝細胞癌)・肝内胆管がん(肝内胆管癌)

肝細胞がん(肝細胞癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2011	331	14,398	11,496	98.2	70.5
I期	329	6,203	4,355	97.8	71.0
II期	331	4,439	3,614	98.3	70.4
III期	327	2,692	2,498	98.6	70.2
IV期	287	819	800	98.7	68.7

(1) 生存状況把握割合

対象者は、14,398例で、そのうち10年以内に死亡していたのは11,496例、打ち切りが262例であった。全体として、生存状況把握割合は98.2%であった。

男性が約70%を占めた。年代をみると、70歳代が最も多く男性で約38%、女性は約45%を占めた。UICC TNM総合ステージ別にみると、全体でI期が約43%、II期が約31%、III期が約19%となっていた。26.9%に観血的治療が実施されていた。発見経緯としては、他疾患経過観察中が67.5%を占めた。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-4①-1に示す。性別にみると、

表3-4①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	10,037	100.0	4,361	100.0	14,398	100.0
拠点病院等	9,566	95.3	4,155	95.3	13,721	95.3
都道府県推薦病院	471	4.7	206	4.7	677	4.7
年齢						
平均年齢 (SD)	69.3 (10.3)		73.3 (9.3)		70.5 (10.2)	
0-14歳	(1-3)	0.0	(1-3)	0.0	(1-3)	0.0
15-39歳	88	0.9	26	0.6	114	0.8
40歳代	290	2.9	46	1.1	336	2.3
50歳代	1,241	12.4	235	5.4	1,476	10.3
60歳代	3,055	30.4	958	22.0	4,013	27.9
70歳代	3,830	38.2	1,966	45.1	5,796	40.3
80歳以上	1,531	15.3	1,129	25.9	2,660	18.5
UICC TNM 分類総合ステージ						
I期	4,041	40.3	2,162	49.6	6,203	43.1
II期	3,084	30.7	1,355	31.1	4,439	30.8
III期	2,087	20.8	605	13.9	2,692	18.7
IV期	657	6.5	162	3.7	819	5.7
不詳	168	1.7	77	1.8	245	1.7
取扱い規約治療前ステージ						
I期	2,037	20.3	1,308	30.0	3,345	23.2
II期	3,649	36.4	1,649	37.8	5,298	36.8
III期	2,361	23.5	853	19.6	3,214	22.3
IV期	1,685	16.8	431	9.9	2,116	14.7
不詳	212	2.1	88	2.0	300	2.1
空欄他	92	0.9	32	0.7	124	0.9
観血的治療						
有	2,985	29.7	893	20.5	3,878	26.9
原発巣・治癒切除	2,704	26.9	834	19.1	3,538	24.6
原発巣・非治癒切除	158	1.6	32	0.7	190	1.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	123	1.2	27	0.6	150	1.0
無	7,052	70.3	3,468	79.5	10,520	73.1
発見経緯						
がん検診	69	0.7	14	0.3	83	0.6
健康診断・人間ドック	413	4.1	71	1.6	484	3.4
他疾患経過観察中	6,512	64.9	3,207	73.5	9,719	67.5
その他・不明	3,043	30.3	1,069	24.5	4,112	28.6

取扱い規約治療前ステージが0期の者を若干名含む

(3)10年生存率

10年生存率を表3-4①-2に示す。全体として、ネット・サバイバルは男性22.5%、女性22.7%であった。他の部位と比較して、80歳以上を除き年代による実測生存率とネット・サバイバルの差はやや小さくなっており、予後があまり良くないことを示唆している。UICC TNM 分類別にみると、I期ではネット・サバイバルは全体で34.0%である。観血的治療を受けた者の割合は約27%であるが、観血的治療を受けたもののネット・サバイバルは44.1%であった。

表3-4①-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	18.7	22.5	21.5	23.5	20.1	22.7	21.3	24.2	19.1	22.6	21.8	23.4
拠点病院等	18.9	22.8	21.7	23.8	20.1	22.8	21.3	24.2	19.2	22.8	21.9	23.6
都道府県推薦病院	14.6	17.7	13.4	22.0	19.4	21.9	15.3	28.4	16.1	18.9	15.3	22.6
年齢												
0-39歳	41.8	42.2	31.7	52.6	—	—			44.4	44.7	35.5	54.0
40歳代	35.5	36.3	30.6	42.0	57.7	58.3	43.9	72.7	38.6	39.4	34.0	44.8
50歳代	32.2	34.0	31.2	36.8	42.0	43.2	36.5	49.8	33.7	35.4	32.9	38.0
60歳代	24.4	27.6	25.9	29.4	31.9	33.7	30.5	36.9	26.2	29.1	27.5	30.6
70歳代	13.8	18.5	17.0	20.1	17.8	20.4	18.4	22.4	15.1	19.2	18.0	20.4
80歳以上	4.2	9.3	7.0	11.6	7.2	11.1	8.6	13.5	5.4	10.0	8.3	11.7
UICC TNM 分類総合ステージ												
I期	29.3	35.7	33.8	37.5	27.1	30.9	28.6	33.2	28.6	34.0	32.5	35.5
II期	17.3	20.5	18.8	22.3	18.4	20.6	18.1	23.0	17.7	20.5	19.1	22.0
III期	6.4	7.7	6.4	9.1	5.4	6.0	3.8	8.2	6.2	7.4	6.2	8.5
IV期	1.1	1.3	0.3	2.2	—	—			0.9	1.0	0.3	1.8
不詳	6.5	7.7	3.0	12.5	5.3	5.7	0.1	11.4	6.1	7.1	3.3	10.9
取扱い規約治療前ステージ												
I期	32.4	38.4	35.8	41.1	32.0	36.0	33.0	39.0	32.3	37.5	35.5	39.5
II期	23.5	28.5	26.7	30.4	20.5	23.5	21.1	25.9	22.6	27.0	25.5	28.4
III期	11.0	13.5	11.8	15.2	10.6	11.7	9.2	14.2	10.9	13.0	11.6	14.4
IV期	2.9	3.5	2.5	4.5	2.4	2.7	0.9	4.4	2.8	3.4	2.5	4.3
不詳	12.7	15.7	9.7	21.6	7.6	8.2	1.9	14.4	11.2	13.4	8.8	18.0
観血的治療												
有	36.3	43.6	41.3	45.8	41.1	46.0	42.1	49.8	37.4	44.1	42.2	46.1
原発巣・治癒切除	38.0	45.6	43.2	48.0	42.3	47.4	43.3	51.4	39.0	46.0	43.9	48.1
原発巣・非治癒切除	17.4	20.7	13.3	28.1	25.0	27.2	11.2	43.1	18.5	21.6	14.8	28.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	22.8	28.5	19.0	38.1	—	—			23.3	28.3	19.8	36.8
無	11.2	13.5	12.5	14.5	14.7	16.8	15.3	18.2	12.3	14.6	13.8	15.4

肝内胆管がん(肝内胆管癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2011	260	2,070	1,855	98.8	70.8
I 期	165	333	230	98.2	71.3
II 期	161	315	256	99.4	70.7
III 期	260	736	695	98.6	70.7
IV 期	245	588	578	99.0	69.8

(1) 生存状況把握割合

対象者は、2,070 例で、そのうち 10 年以内に死亡していたのは 1,855 例、打ち切りが 25 例であった。全体として、生存状況把握割合は 98.8%であった。

男性が約 61%を占めた。年代をみると、70 歳代が最も多く男性で約 40%、女性は約 36%を占めた。UICC TNM 総合ステージ別にみると、全体で I 期が約 16%、II 期が約 15%、III 期が約 36%、IV 期が約 28%であった。35.4%に観血的治療が実施されていた。発見経緯としては、他疾患経過観察中が約 40%を占めた。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-4②-1 に示す。性別にみると、

表 3-4②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	1,265	100.0	805	100.0	2,070	100.0
拠点病院等	1,215	96.0	759	94.3	1,974	95.4
都道府県推薦病院	50	4.0	46	5.7	96	4.6
年齢						
平均年齢 (SD)	70.1 (10.3)		71.9 (11.1)		70.8 (10.6)	
0-14 歳	-	-	-	-	-	-
15-39 歳	18	1.4	10	1.2	28	1.4
40 歳代	26	2.1	15	1.9	41	2.0
50 歳代	116	9.2	73	9.1	189	9.1
60 歳代	387	30.6	206	25.6	593	28.6
70 歳代	511	40.4	290	36.0	801	38.7
80 歳以上	207	16.4	211	26.2	418	20.2
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	206	16.3	127	15.8	333	16.1
II 期	195	15.4	120	14.9	315	15.2
III 期	463	36.6	273	33.9	736	35.6
IV 期	352	27.8	236	29.3	588	28.4
不詳	49	3.9	49	6.1	98	4.7
取扱い規約治療前ステージ						
I 期	83	6.6	57	7.1	140	6.8
II 期	232	18.3	130	16.1	362	17.5
III 期	210	16.6	126	15.7	336	16.2
IV 期	598	47.3	392	48.7	990	47.8
不詳	91	7.2	67	8.3	158	7.6
空欄	51	4.0	33	4.1	84	4.1
観血的治療						
有	461	36.4	272	33.8	733	35.4
原発巣・治癒切除	380	30.0	225	28.0	605	29.2
原発巣・非治癒切除	62	4.9	30	3.7	92	4.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	19	1.5	17	2.1	36	1.7
無	804	63.6	533	66.2	1,337	64.6
発見経緯						
がん検診	15	1.2	(4-6)	0.0	21	1.0
健康診断・人間ドック	83	6.6	41	5.1	124	6.0
他疾患経過観察中	521	41.2	305	37.9	826	39.9
その他・不明	646	51.1	453	56.3	1,099	53.1

(3)10年生存率

10年生存率を表3-4②-2に示す。全体として、ネット・サバイバルは全体で約11%であった。UICC TNM分類別にみると、I期ではネット・サバイバルは全体で約34%である。観血的治療を受けた者の割合は約35%であるが、観血的治療を受けたもののネット・サバイバルは約28%であった。

表3-4②-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	8.6	10.4	8.4	12.4	10.7	11.7	9.3	14.2	9.4	11.0	9.4	12.5
拠点病院等	8.7	10.5	8.4	12.5	11.0	12.1	9.6	14.7	9.6	11.1	9.5	12.7
都道府県推薦病院	6.3	7.8	0.1	15.5	4.7	5.0	0.0	11.0	5.5	6.4	1.3	11.6
年齢												
0-39歳	—	—			—	—			—	—		
40歳代	—	—			—	—			25.2	25.4	12.2	38.7
50歳代	16.2	17.0	9.8	24.3	20.0	20.5	11.1	29.8	17.8	18.4	12.6	24.2
60歳代	11.5	13.1	9.4	16.8	13.9	14.6	9.6	19.5	12.3	13.6	10.7	16.6
70歳代	7.3	9.9	6.8	13.0	11.6	13.4	9.1	17.6	8.9	11.2	8.7	13.7
80歳以上	1.0	1.9	0.0	4.3	2.0	2.9	0.1	5.6	1.5	2.3	0.4	4.3
UICC TNM分類総合ステージ												
I期	26.0	30.8	23.0	38.5	35.7	39.9	30.1	49.6	29.8	34.3	28.3	40.4
II期	19.6	24.4	17.1	31.7	16.0	17.1	9.9	24.3	18.2	21.6	16.3	26.9
III期	3.3	3.9	1.9	5.9	6.3	6.8	3.6	10.0	4.4	5.0	3.2	6.7
IV期	0.6	0.7	0.0	1.5	0.9	1.0	0.0	2.1	0.7	0.8	0.1	1.5
不詳	—	—			2.1	2.3	0.0	5.9	1.1	1.3	0.0	3.3
取扱い規約治療前ステージ												
I期	22.2	26.3	15.0	37.6	35.1	39.6	25.6	53.6	27.6	31.9	22.9	40.8
II期	20.2	25.0	18.3	31.8	31.0	33.5	24.4	42.5	24.2	28.1	22.7	33.6
III期	9.2	10.8	6.0	15.7	5.9	6.4	1.9	10.8	8.0	9.2	5.7	12.6
IV期	1.2	1.5	0.4	2.5	2.2	2.3	0.8	3.8	1.6	1.8	0.9	2.7
不詳	11.6	13.4	5.4	21.4	7.6	8.5	1.6	15.5	9.9	11.3	5.7	16.9
観血的治療												
有	21.5	26.1	21.3	31.0	27.8	30.5	24.5	36.5	23.9	27.8	24.0	31.6
原発巣・治癒切除	24.4	29.6	24.0	35.2	30.2	33.3	26.6	40.1	26.6	31.0	26.7	35.3
原発巣・非治癒切除	3.4	4.3	0.0	9.4	—	—			7.0	7.9	1.9	13.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	—	—			—	—			18.8	20.5	6.5	34.5
無	1.3	1.5	0.6	2.4	1.8	1.9	0.7	3.2	1.5	1.7	0.9	2.5

5. 小細胞肺がん(小細胞肺癌)・非小細胞肺がん(非小細胞肺癌)

小細胞肺がん(小細胞肺癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2011	311	3,965	3,682	98.9	70.1
I期	175	326	238	98.2	73.1
II期	149	229	191	97.8	70.3
III期	302	1,347	1,234	98.9	69.7
IV期	311	2,014	1,978	99.3	69.7

(1) 生存状況把握割合

対象者は、3,965例で、そのうち10年以内に死亡していた者は、3,682例、打ち切りが44例で、全体として生存状況把握割合は98.9%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-5①-1に示す。対象者は、男性が83.9%を占め、70歳代が最も多かった。UICC

TNM分類総合ステージ別にみると、全体としてIV期が約51%、次いでIII期が約34%であった。病期分布は男女別にみてもほぼ同様であった。観血的治療実施を受けた者の割合は、非小細胞肺癌と比較して低く、約9%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が約27%であった。

表3-5①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	3,326	100.0	639	100.0	3,965	100.0
拠点病院等	3,169	95.3	615	96.2	3,784	95.4
都道府県推薦病院	157	4.7	24	3.8	181	4.6
年齢						
平均年齢 (SD)	70.2 (8.7)		69.5 (9.0)		70.1 (8.8)	
0-14歳	-	-	-	-	-	-
15-39歳	(7-9)	0.0	(4-6)	0.0	13	0.3
40歳代	43	1.3	(7-9)	0.0	50	1.3
50歳代	294	8.8	64	10.0	358	9.0
60歳代	1,186	35.7	228	35.7	1,414	35.7
70歳代	1,300	39.1	256	40.1	1,556	39.2
80歳以上	496	14.9	78	12.2	574	14.5
UICC TNM 分類総合ステージ						
I期	287	8.6	39	6.1	326	8.2
II期	197	5.9	32	5.0	229	5.8
III期	1,117	33.6	230	36.0	1,347	34.0
IV期	1,687	50.7	327	51.2	2,014	50.8
不詳	38	1.1	11	1.7	49	1.2
観血的治療						
有	299	9.0	42	6.6	341	8.6
原発巣・治癒切除	258	7.8	39	6.1	297	7.5
原発巣・非治癒切除	27	0.8	(1-3)	0.0	28	0.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	14	0.4	(1-3)	0.0	16	0.4
無	3,027	91.0	597	93.4	3,624	91.4
発見経緯						
がん検診	181	5.4	22	3.4	203	5.1
健康診断・人間ドック	252	7.6	31	4.9	283	7.1
他疾患経過観察中	909	27.3	167	26.1	1,076	27.1
その他・不明	1,984	59.7	419	65.6	2,403	60.6

(3)10年生存率

10年生存率を表3-5①-2に示す。全体での10年ネット・サバイバルは、IV期が半数近くを占めることから低く約7%であった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、I期ではネット・サバイバルが32.5%であった。観血的治療を受けた者の割合は少ないが、ネット・サバイバルは33.8%であった。

表3-5①-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	5.9	7.0	6.0	8.0	8.5	9.3	6.8	11.7	6.3	7.4	6.4	8.3
拠点病院等	5.9	7.0	6.0	8.0	8.5	9.2	6.8	11.6	6.3	7.3	6.4	8.3
都道府県推薦病院	6.1	7.8	2.8	12.8	—	—			6.5	8.1	3.4	12.8
年齢												
0-39歳	—	—			—	—			—	—		
40歳代	21.4	21.7	9.6	33.8	—	—			22.5	22.8	11.3	34.3
50歳代	15.6	16.4	12.0	20.8	9.7	10.0	2.7	17.2	14.6	15.3	11.4	19.2
60歳代	7.0	7.9	6.2	9.5	10.4	10.9	6.7	15.2	7.5	8.4	6.8	9.9
70歳代	3.9	5.2	3.7	6.6	7.5	8.4	4.7	12.1	4.5	5.7	4.3	7.1
80歳以上	1.2	2.4	0.5	4.3	2.7	3.4	0.0	7.6	1.4	2.6	0.8	4.4
UICC TNM分類総合ステージ												
I期	25.2	31.0	24.2	37.9	39.8	45.1	27.1	63.2	26.8	32.5	26.1	39.0
II期	12.8	14.9	9.2	20.7	28.1	29.4	13.3	45.6	15.0	17.1	11.5	22.7
III期	7.0	7.9	6.1	9.7	10.5	11.3	6.9	15.6	7.5	8.5	6.8	10.1
IV期	0.9	1.1	0.6	1.7	1.6	1.7	0.3	3.1	1.0	1.2	0.7	1.7
不詳	11.1	14.0	1.8	26.1	—	—			11.4	13.7	2.9	24.5
観血的治療												
有	27.8	33.4	26.7	40.1	33.8	36.6	20.9	52.3	28.5	33.8	27.6	40.0
原発巣・治癒切除	31.1	37.4	30.0	44.8	31.2	33.8	17.9	49.7	31.1	36.9	30.1	43.7
原発巣・非治癒切除	—	—			—	—			—	—		
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	—	—			—	—			—	—		
無	3.7	4.4	3.6	5.3	6.7	7.3	5.1	9.5	4.2	4.9	4.1	5.7

非小細胞肺がん(非小細胞肺癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2011	337	40,717	29,497	98.2	70.4
I期	333	16,648	7,696	97.6	70.5
II期	313	2,764	2,060	98.3	70.9
III期	336	8,845	7,772	98.5	70.4
IV期	337	11,733	11,364	98.8	69.8

(1) 生存状況把握割合

対象者は、40,717例で、そのうち10年以内に死亡していた者は、29,497例、打ち切りが726例で、全体として生存状況把握割合は98.2%であった。

TNM分類総合ステージ別にみると、全体としてI期が約41%、次いでIV期が約29%であった。病期分布は女性でI期の割合が男性より多かった。観血的治療を受けた者の割合は、46.3%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が約37%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-5②-1に示す。対象者は、男性が67.6%を占め、70歳代が最も多かった。UICC

表3-5②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	27,518	100.0	13,199	100.0	40,717	100.0
拠点病院等	26,325	95.7	12,622	95.6	38,947	95.7
都道府県推薦病院	1,193	4.3	577	4.4	1,770	4.3
年齢						
平均年齢 (SD)	70.6 (9.9)		69.9 (10.7)		70.4 (10.2)	
0-14歳	-	-	-	-	-	-
15-39歳	145	0.5	125	0.9	270	0.7
40歳代	650	2.4	425	3.2	1,075	2.6
50歳代	2,504	9.1	1,399	10.6	3,903	9.6
60歳代	8,576	31.2	4,081	30.9	12,657	31.1
70歳代	10,322	37.5	4,635	35.1	14,957	36.7
80歳以上	5,321	19.3	2,534	19.2	7,855	19.3
UICC TNM 分類総合ステージ						
I期	10,090	36.7	6,558	49.7	16,648	40.9
II期	2,108	7.7	656	5.0	2,764	6.8
III期	6,709	24.4	2,136	16.2	8,845	21.7
IV期	8,097	29.4	3,636	27.5	11,733	28.8
不詳	514	1.9	213	1.6	727	1.8
観血的治療						
有	11,527	41.9	7,306	55.4	18,833	46.3
原発巣・治癒切除	10,672	38.8	6,904	52.3	17,576	43.2
原発巣・非治癒切除	520	1.9	229	1.7	749	1.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	335	1.2	173	1.3	508	1.2
無	15,991	58.1	5,893	44.6	21,884	53.7
発見経緯						
がん検診	1,906	6.9	1,355	10.3	3,261	8.0
健康診断・人間ドック	3,176	11.5	1,770	13.4	4,946	12.1
他疾患経過観察中	10,155	36.9	4,848	36.7	15,003	36.8
その他・不明	12,281	44.6	5,226	39.6	17,507	43.0

(3)10年生存率

10年生存率を表3-5②-2に示す。全体での10年ネット・サバイバルは、男性が24.8%、女性が45.6%と女性でやや高かった。UICC TNM分類総合ステージ別にみても、男性より女性でネット・サバイバルがやや高い傾向にあった。観血的治療を受けた者(原発巣・治癒切除)ではネット・サバイバルは男性で54.6%、女性で77.9%となっていた。

表3-5②-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	20.2	24.8	24.1	25.4	40.9	45.6	44.7	46.6	26.9	31.5	31.0	32.1
拠点病院等	20.3	24.9	24.3	25.6	41.1	45.9	44.9	46.9	27.1	31.7	31.2	32.3
都道府県推薦病院	16.6	20.5	17.6	23.3	35.4	39.5	34.8	44.2	22.7	26.7	24.2	29.2
年齢												
0-39歳	37.3	37.6	29.6	45.6	44.1	44.4	35.5	53.3	40.4	40.7	34.6	46.7
40歳代	41.4	42.3	38.4	46.2	51.0	51.6	46.8	56.4	45.2	46.0	42.9	49.0
50歳代	35.2	37.3	35.2	39.3	54.8	56.3	53.6	59.0	42.3	44.1	42.5	45.8
60歳代	27.9	31.7	30.6	32.8	50.3	53.0	51.4	54.6	35.2	38.6	37.6	39.5
70歳代	16.5	22.2	21.2	23.1	40.5	46.6	44.9	48.2	23.9	29.7	28.8	30.6
80歳以上	4.8	10.3	9.0	11.6	16.5	25.0	22.6	27.3	8.6	15.0	13.8	16.2
UICC TNM分類総合ステージ												
I期	42.0	52.2	50.8	53.5	70.8	79.3	77.9	80.7	53.3	62.9	61.8	63.9
II期	21.4	25.6	23.4	27.9	35.1	38.6	34.4	42.9	24.7	28.7	26.7	30.7
III期	9.8	11.5	10.6	12.4	15.3	16.8	15.1	18.6	11.2	12.8	12.0	13.6
IV期	1.5	1.7	1.4	2.0	3.3	3.5	2.9	4.2	2.0	2.3	2.0	2.6
不詳	12.0	13.8	10.0	17.6	25.4	27.2	20.1	34.2	16.0	17.7	14.3	21.1
観血的治療												
有	42.9	52.5	51.2	53.7	68.3	75.8	74.6	77.1	52.8	61.5	60.6	62.5
原発巣・治癒切除	44.6	54.6	53.3	55.9	70.1	77.9	76.6	79.1	54.6	63.7	62.8	64.7
原発巣・非治癒切除	15.4	18.2	14.4	22.1	26.3	28.9	22.5	35.4	18.7	21.5	18.2	24.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	30.7	37.7	31.2	44.1	51.5	57.0	48.3	65.7	37.7	44.3	39.0	49.6
無	3.6	4.5	4.1	4.9	6.4	7.6	6.8	8.4	4.3	5.4	5.0	5.7

6. 女性乳がん(女性乳癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2011	337	30,436	6,694	96.8	59.6
I 期	335	13,386	1,578	96.5	59.8
II 期	337	11,520	2,122	96.8	58.9
III 期	331	3,653	1,481	97.1	60.1
IV 期	313	1,698	1,411	98.4	60.1

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、30,436 例で、10 年以内に亡くなっていたのが 6,694 例、打ち切りが 975 例であった。集計対象全体での生存状況把握割合は 96.8 %であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-6-1 に示す。診断時の年齢をみると、60 歳代が最も多く、次いで 50、40 歳代であった。また、35 歳未満は、573 例であった(1.9%)。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、I 期が最も多く約 44%、次いで II 期が約 38%であった。観血的治療の実施割合は、約 88%であった。発見経緯を見ると、大腸や肺と比較してがん検診がやや多かった。

(3) 10 年生存率

10 年生存率を表 3-6-2 に示す。全体として、ネット・サバイバルは 82.9%であった。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、I 期ではネット・サバイバルは 90%以上であるが、IV 期では約 17%にとどまった。なお、観血的治療を受けた者(原発巣・治癒切除)では、ネット・サバイバルは 89.5%であった。

表 3-6-1 対象者の属性

	対象数	(%)
全体	30,436	100.0
拠点病院等	29,202	95.9
都道府県推薦病院	1,234	4.1
年齢		
平均年齢 (SD)	59.6 (13.7)	
0-14 歳	-	-
15-39 歳	1,962	6.4
40 歳代	6,294	20.7
50 歳代	6,568	21.6
60 歳代	7,969	26.2
70 歳代	5,118	16.8
80 歳以上	2,525	8.3
35 歳未満 (再掲)	573	1.9
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	13,386	44.0
II 期	11,520	37.8
III 期	3,653	12.0
IV 期	1,698	5.6
不詳	179	0.6
観血的治療		
有	26,871	88.3
原発巣・治癒切除	24,737	81.3
原発巣・非治癒切除	1,245	4.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	889	2.9
無	3,565	11.7
発見経緯		
がん検診	6,656	21.9
健康診断・人間ドック	1,437	4.7
他疾患経過観察中	3,772	12.4
その他・不明	18,571	61.0

表 3-6-2 属性別 10 年生存率

	女性			
	実測	Net	95%信頼区間	
全体	77.8	82.9	82.3	83.5
拠点病院等	77.9	83.1	82.5	83.6
都道府県推薦病院	73.6	78.9	75.8	82.0
年齢				
0-39 歳	83.2	83.7	82.0	85.4
40 歳代	89.0	90.0	89.2	90.8
50 歳代	83.6	85.7	84.7	86.6
60 歳代	81.6	85.8	84.9	86.7
70 歳代	69.5	79.2	77.7	80.6
80 歳以上	34.5	55.0	51.5	58.4
35 歳未満 (再掲)	80.3	80.7	77.4	84.0
UICC TNM 総合ステージ				
I 期	88.0	94.1	93.4	94.8
II 期	81.4	86.6	85.7	87.5
III 期	59.0	62.7	60.8	64.5
IV 期	16.0	16.9	15.0	18.8
不詳	42.3	45.5	34.5	56.5
観血的治療				
有	83.2	88.6	88.1	89.2
原発巣・治癒切除	84.0	89.5	88.9	90.1
原発巣・非治癒切除	70.0	74.7	71.7	77.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	77.4	82.5	79.0	86.0
無	37.0	39.9	38.0	41.8

7. 食道がん(食道癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2011	324	11,358	8,219	98.0	68.6
I期	312	3,615	1,783	97.3	68.5
II期	306	2,209	1,543	98.2	69.3
III期	319	2,934	2,482	98.2	68.6
IV期	324	2,352	2,179	98.4	67.9

(1) 生存状況把握割合

集計対象 11,358 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 8,219 例、打ち切りが 228 例で、全体として生存状況把握割合は 98.0%であった。

性が 85.9%を占めた。年齢をみると、60 歳代が 37.5%、次いで 70 歳代が 34.0%と多かった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、III期が 25.8%、IV期が 20.7%であった。観血的治療は 47.8%に実施されていた。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-7-1 に示す。性別をみると、男

表 3-7-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	9,757	100.0	1,601	100.0	11,358	100.0
拠点病院等	9,472	97.1	1,549	96.8	11,021	97.0
都道府県推薦病院	285	2.9	52	3.2	337	3.0
年齢						
平均年齢 (SD)	68.6 (9.1)		68.9 (11.2)		68.7 (9.4)	
0-14 歳	(1-3)	0.0	-	-	(1-3)	0.0
15-39 歳	14	0.1	(7-9)	0.0	22	0.2
40 歳代	178	1.8	74	4.6	252	2.2
50 歳代	1,273	13.0	218	13.6	1,491	13.1
60 歳代	3,739	38.3	523	32.7	4,262	37.5
70 歳代	3,383	34.7	475	29.7	3,858	34.0
80 歳以上	1,169	12.0	303	18.9	1,472	13.0
UICC TNM 分類総合ステージ						
I期	3,157	32.4	458	28.6	3,615	31.8
II期	1,845	18.9	364	22.7	2,209	19.4
III期	2,500	25.6	434	27.1	2,934	25.8
IV期	2,056	21.1	296	18.5	2,352	20.7
不詳	199	2.0	49	3.1	248	2.2
観血的治療						
有	4,652	47.7	780	48.7	5,432	47.8
原発巣・治癒切除	4,118	42.2	712	44.5	4,830	42.5
原発巣・非治癒切除	376	3.9	43	2.7	419	3.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	158	1.6	25	1.6	183	1.6
無	5,105	52.3	821	51.3	5,926	52.2
発見経緯						
がん検診	370	3.8	60	3.7	430	3.8
健康診断・人間ドック	798	8.2	83	5.2	881	7.8
他疾患経過観察中	2,519	25.8	317	19.8	2,836	25.0
その他・不明	6,070	62.2	1,141	71.3	7,211	63.5

(3)10年生存率

10年生存率を表3-7-2に示す。ネット・サバイバルは、男性が30.5%、女性が39.9%であった。I期では、59.9%であるが、II期では34.7%であった。観血的治療を受けたもののネット・サバイバルは、53.5%であった。

表3-7-2 属性別10年生存率

	男性			女性			全体		
	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間
全体	25.4	30.5	29.4 31.6	36.2	39.9	37.1 42.6	26.9	31.8	30.8 32.9
拠点病院等	25.5	30.6	29.5 31.7	36.4	39.9	37.1 42.7	27.0	31.9	30.9 33.0
都道府県推薦病院	21.7	27.6	20.6 34.6	29.6	36.2	20.1 52.3	22.9	29.1	22.6 35.6
年齢									
0-39歳	—	—		—	—		—	—	
40歳代	31.1	31.8	24.9 38.8	34.3	34.8	23.8 45.7	32.1	32.7	26.8 38.6
50歳代	37.8	39.9	37.1 42.8	43.0	44.2	37.3 51.0	38.5	40.6	37.9 43.2
60歳代	31.2	35.3	33.6 37.0	45.1	47.6	43.0 52.1	32.9	36.8	35.2 38.4
70歳代	20.4	27.1	25.2 29.0	39.3	44.9	39.8 50.0	22.7	29.3	27.5 31.1
80歳以上	6.8	14.3	11.1 17.5	10.5	15.9	10.1 21.7	7.6	14.6	11.8 17.4
UICC TNM分類総合ステージ									
I期	48.0	58.2	55.9 60.6	65.0	71.7	66.3 77.1	50.1	59.9	57.8 62.1
II期	27.3	32.4	29.8 35.0	41.9	46.6	40.5 52.6	29.7	34.7	32.3 37.1
III期	13.0	15.2	13.6 16.8	23.2	25.1	20.6 29.7	14.5	16.7	15.1 18.2
IV期	5.8	6.7	5.5 7.9	9.0	9.6	6.1 13.1	6.2	7.1	5.9 8.2
不詳	6.3	8.0	3.6 12.5	6.1	7.2	0.0 14.8	6.2	7.8	3.9 11.7
観血的治療									
有	43.3	51.8	49.9 53.6	58.3	63.6	59.7 67.5	45.5	53.5	51.8 55.1
原発巣・治癒切除	45.8	54.6	52.7 56.6	61.1	66.7	62.7 70.7	48.0	56.4	54.6 58.2
原発巣・非治癒切除	22.1	26.5	21.1 31.9	27.9	29.9	14.9 44.9	22.7	27.1	21.9 32.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	30.3	36.0	27.0 44.9	—	—		30.7	35.9	27.7 44.1
無	8.9	11.0	9.9 12.0	15.0	17.1	14.0 20.2	9.8	11.8	10.8 12.8

8. 膵臓がん(膵臓癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2011	338	11,935	11,206	98.7	70.4
I 期	259	735	523	97.0	71.6
II 期	322	3,035	2,733	98.7	70.7
III 期	313	2,110	2,032	99.1	70.0
IV 期	338	5,658	5,569	98.9	69.9

(1) 生存状況把握割合

集計対象 11,935 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 11,206 例、打ち切りが 150 例で、全体として生存状況把握割合は 98.7%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-8-1 に示す。男性が 55.0%、女性が 45.0%であった。年代は、70 歳以上が最も多く 35.5%であった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、IV 期が最も多く約半数を占めた。

表 3-8-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	6,559	100.0	5,376	100.0	11,935	100.0
拠点病院等	6,220	94.8	5,091	94.7	11,311	94.8
都道府県推薦病院	339	5.2	285	5.3	624	5.2
年齢						
平均年齢 (SD)	69.2 (10.3)		71.8 (10.9)		70.4 (10.7)	
0-14 歳	-	-	(1-3)	0.0	(1-3)	0.0
15-39 歳	55	0.8	40	0.7	95	0.8
40 歳代	222	3.4	132	2.5	354	3.0
50 歳代	793	12.1	501	9.3	1,294	10.8
60 歳代	2,084	31.8	1,459	27.1	3,543	29.7
70 歳代	2,384	36.3	1,847	34.4	4,231	35.5
80 歳以上	1,021	15.6	1,396	26.0	2,417	20.3
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	390	5.9	345	6.4	735	6.2
II 期	1,692	25.8	1,343	25.0	3,035	25.4
III 期	1,134	17.3	976	18.2	2,110	17.7
IV 期	3,137	47.8	2,521	46.9	5,658	47.4
不詳	206	3.1	191	3.6	397	3.3
観血的治療						
有	1,905	29.0	1,467	27.3	3,372	28.3
原発巣・治癒切除	1,493	22.8	1,171	21.8	2,664	22.3
原発巣・非治癒切除	320	4.9	232	4.3	552	4.6
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	92	1.4	64	1.2	156	1.3
無	4,654	71.0	3,909	72.7	8,563	71.7
発見経緯						
がん検診	36	0.5	39	0.7	75	0.6
健康診断・人間ドック	260	4.0	156	2.9	416	3.5
他疾患経過観察中	1,984	30.2	1,461	27.2	3,445	28.9
その他・不明	4,279	65.2	3,720	69.2	7,999	67.0

(3)10年生存率

10年生存率を表3-8-2に示す。全体で見ると、IV期が約半数を占めることからネット・サバイバルは5.8%と低かった。UICC TNM分類総合ステージI期では、ネット・サバイバルは31.4%であった。

表3-8-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	4.7	5.5	4.9	6.2	5.7	6.2	5.5	6.9	5.2	5.8	5.4	6.3
拠点病院等	4.8	5.6	4.9	6.3	5.9	6.4	5.7	7.1	5.3	6.0	5.5	6.5
都道府県推薦病院	3.9	4.5	2.0	7.0	1.6	2.1	0.2	3.9	2.8	3.4	1.8	5.0
年齢												
0-39歳	18.5	18.6	8.3	28.9	39.0	39.2	24.6	53.9	27.2	27.4	18.4	36.4
40歳代	11.1	11.3	7.1	15.6	15.8	15.9	9.7	22.2	12.9	13.1	9.5	16.6
50歳代	7.9	8.4	6.4	10.4	9.1	9.4	6.7	12.0	8.4	8.8	7.2	10.3
60歳代	6.0	6.7	5.6	7.9	8.3	8.8	7.3	10.3	6.9	7.6	6.7	8.5
70歳代	3.5	4.7	3.7	5.7	4.1	4.7	3.7	5.8	3.8	4.7	4.0	5.4
80歳以上	0.5	0.9	0.1	1.8	1.6	2.3	1.3	3.3	1.1	1.7	1.0	2.4
UICC TNM分類総合ステージ												
I期	25.3	29.9	24.4	35.5	30.2	33.1	27.4	38.8	27.6	31.4	27.4	35.4
II期	8.4	9.9	8.2	11.5	10.0	10.9	9.1	12.7	9.1	10.3	9.1	11.6
III期	2.7	3.1	2.0	4.2	3.1	3.4	2.2	4.6	2.9	3.2	2.4	4.1
IV期	0.6	0.6	0.3	0.9	0.6	0.7	0.3	1.0	0.6	0.6	0.4	0.9
不詳	10.4	12.0	6.9	17.2	10.9	11.2	6.1	16.3	10.6	11.7	8.0	15.4
観血的治療												
有	14.2	16.7	14.7	18.7	19.0	20.7	18.5	23.0	16.3	18.5	17.0	19.9
原発巣・治癒切除	16.4	19.3	17.0	21.6	21.5	23.4	20.8	26.1	18.7	21.1	19.4	22.9
原発巣・非治癒切除	4.8	5.6	2.5	8.6	5.9	6.9	3.3	10.6	5.3	6.2	3.8	8.6
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	10.0	12.2	4.5	20.0	20.3	21.7	10.8	32.6	14.3	16.3	9.7	23.0
無	0.8	0.9	0.6	1.2	0.6	0.6	0.4	0.9	0.7	0.8	0.6	1.0

9. 子宮頸がん(子宮頸癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2011	283	6,380	2,143	94.9	54.2
I 期	283	2,877	321	92.7	48.2
II 期	213	1,045	339	96.0	59.7
III 期	237	1,463	712	96.2	57.4
IV 期	224	895	726	98.3	61.2

(1) 生存状況把握割合

集計対象は 6,380 例で、10 年以内に亡くなっていたのが 2,143 例、打ち切りが 326 例であった。集計対象全体での生存状況把握割合は 94.9%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-9-1 に示す。年例を見ると、40 歳未満の若い世代が多い傾向にあった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、I 期が最も多く 45.1%で最も多く、次いでⅢ期が 22.9%、Ⅱ期が 16.4%であった。観血的治療の実施割合は 56.5%であった。発見経緯を見ると、がん検診が 17.6%であった。

(3) 10 年生存率

10 年生存率を表 3-9-2 に示す。実測生存率が約 65.5%、ネット・サバイバルが 68.1%であった。UICC TNM 分類総合ステージ別にネット・サバイバルをみると、I 期が 91.6%、Ⅱ期が 71.8%、Ⅲ期が 52.5%、Ⅳ期が 19.0%であった。観血的治療を受けた者のネット・サバイバルは 87.0%であり、そのうち原発巣・治癒切除例では 89.1%であった。

表 3-9-1 対象者の属性

	全体	
	症例数	(%)
全体	6,380	100.0
拠点病院等	6,252	98.0
都道府県推薦病院	128	2.0
年齢		
平均年齢 (SD)	54.2 (16.2)	
0-14 歳	-	-
15-39 歳	1,368	21.4
40 歳代	1,482	23.2
50 歳代	1,077	16.9
60 歳代	1,165	18.3
70 歳代	802	12.6
80 歳以上	486	7.6
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	2,877	45.1
Ⅱ期	1,045	16.4
Ⅲ期	1,463	22.9
Ⅳ期	895	14.0
不詳	100	1.6
観血的治療		
有	3,605	56.5
原発巣・治癒切除	3,189	50.0
原発巣・非治癒切除	255	4.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	161	2.5
無	2,775	43.5
発見経緯		
がん検診	1,122	17.6
健康診断・人間ドック	193	3.0
他疾患経過観察中	621	9.7
その他・不明	4,444	69.7

表 3-9-2 属性別 10 年生存率

	女性			
	実測	Net	95%信頼区間	
全体	65.5	68.1	66.7	69.5
拠点病院等	65.3	68.0	66.5	69.4
都道府県推薦病院	72.5	77.5	66.7	88.3
年齢				
0-39 歳	85.7	86.2	84.1	88.2
40 歳代	76.6	77.5	75.1	79.9
50 歳代	68.6	70.3	67.2	73.4
60 歳代	60.9	64.0	60.8	67.2
70 歳代	44.9	51.2	46.9	55.5
80 歳以上	13.7	22.5	16.5	28.6
UICC TNM 分類総合ステージ				
I 期	88.9	91.6	90.1	93.0
Ⅱ期	67.3	71.8	68.3	75.3
Ⅲ期	50.2	52.5	49.4	55.6
Ⅳ期	18.1	19.0	16.1	21.9
不詳	51.2	54.4	41.4	67.4
観血的治療				
有	85.0	87.0	85.7	88.4
原発巣・治癒切除	87.2	89.1	87.8	90.5
原発巣・非治癒切除	66.7	68.8	62.2	75.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	72.5	74.1	66.0	82.2
無	41.2	44.8	42.4	47.1

10. 子宮体がん(子宮体癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2011	298	6,707	1,630	97.2	59.7
I 期	298	4,353	559	96.6	59.1
II 期	197	562	121	98.4	60.5
III 期	253	1,112	417	98.1	59.9
IV 期	215	574	475	98.6	62.0

(1) 生存状況把握割合

集計対象は 6,707 例で、10 年以内に亡くなっていたのが 1,630 例、打ち切りが 188 例であった。集計対象全体での生存状況把握割合は 97.2%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-10-1 に示す。年代を見ると、50 歳代が最も多く 30.8%であった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、I 期が最も多く 64.9%を占めた。

(3) 10 年生存率

10 年生存率を表 3-10-2 に示す。ネット・サバイバルは、79.6%であり、UICC TNM 分類総合ステージ I 期では 91.9%であった。観血的治療を受けた者のネット・サバイバルは 85.0%であり、原発巣・治癒切除例では 88.1%であった。

表 3-10-1 対象者の属性

	全体	
	対象数	(%)
全体	6,707	100.0
拠点病院等	6,501	96.9
都道府県推薦病院	206	3.1
年齢		
平均年齢 (SD)	59.7 (12.2)	
0-14 歳	-	-
15-39 歳	361	5.4
40 歳代	948	14.1
50 歳代	2,069	30.8
60 歳代	1,876	28.0
70 歳代	1,056	15.7
80 歳以上	397	5.9
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	4,353	64.9
II 期	562	8.4
III 期	1,112	16.6
IV 期	574	8.6
不詳	106	1.6
観血的治療		
有	6,048	90.2
原発巣・治癒切除	5,461	81.4
原発巣・非治癒切除	267	4.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	320	4.8
無	659	9.8
発見経緯		
がん検診	500	7.5
健康診断・人間ドック	101	1.5
他疾患経過観察中	955	14.2
その他・不明	5,151	76.8

表 3-10-2 属性別 10 年生存率

	全体			
	実測	Net	95%信頼区間	
全体	75.5	79.6	78.4	80.7
拠点病院等	75.4	79.5	78.3	80.7
都道府県推薦病院	76.5	81.6	75.1	88.2
年齢				
0-39 歳	91.7	92.2	89.3	95.2
40 歳代	86.6	87.7	85.4	89.9
50 歳代	84.2	86.3	84.7	88.0
60 歳代	75.3	79.1	77.0	81.2
70 歳代	61.9	70.6	67.2	74.1
80 歳以上	26.8	39.8	32.5	47.1
UICC TNM 総合ステージ				
I 期	87.0	91.9	90.7	93.1
II 期	78.1	82.6	78.5	86.7
III 期	62.5	65.2	62.1	68.3
IV 期	16.8	17.4	14.2	20.7
不詳	45.4	48.3	37.6	59.0
観血的治療				
有	80.7	85.0	83.9	86.2
原発巣・治癒切除	83.5	88.1	86.9	89.2
原発巣・非治癒切除	33.4	35.0	28.9	41.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	71.4	75.6	70.1	81.1
無	28.0	29.5	25.5	33.4

11. 前立腺がん(前立腺癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2011	327	31,553	10,276	97.5	71.3
I 期	161	733	202	96.5	71.2
II 期	325	21,435	5,266	97.4	70.7
III 期	316	4,420	1,340	97.4	71.1
IV 期	327	4,429	3,141	98.2	73.7

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、31,553 例で、10 年以内に亡くなっていたのが 10,276 例、打ち切りが 793 例であった。集計対象全体での生存状況把握割合は 97.5%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-11-1 に示す。年代を見ると、70 歳代が最も多く 44.9%、80 歳以上が 14.8%で、70 歳以上が約 6 割を占めた。UICC TNM 分類総合ステージをみると、II 期が最も多く 67.9%を占めた。観血的治療の実施割合は、29.6%であった。発見経緯を見ると、がん検診が約 19%、健康診断・人間ドックが約 11%であった。

表 3-11-1 対象者の属性

	全体	
	症例数	(%)
全体	31,553	100.0
拠点病院等	30,067	95.3
都道府県推薦病院	1,486	4.7
年齢		
平均年齢 (SD)	71.3 (7.9)	
0-14 歳	-	-
15-39 歳	(1-3)	-
40 歳代	109	0.3
50 歳代	1,904	6.0
60 歳代	10,678	33.8
70 歳代	14,183	44.9
80 歳以上	4,678	14.8
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	733	2.3
II 期	21,435	67.9
III 期	4,420	14.0
IV 期	4,429	14.0
不詳	536	1.7
観血的治療		
有	9,333	29.6
原発巣・治癒切除	7,852	24.9
原発巣・非治癒切除	1,039	3.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	442	1.4
無	22,220	70.4
発見経緯		
がん検診	5,861	18.6
健康診断・人間ドック	3,449	10.9
他疾患経過観察中	10,919	34.6
その他・不明	11,324	35.9

※対象は男性のみ

(3) 10 年生存率

10 年生存率を表 3-11-2 に示す。全体のネット・サバイバルは、85.4%であった。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、I 期からIII 期では、ネット・サバイバルは I 期 93.7%、II 期 95.4%、III 期 87.3%であった。観血的治療を受けた者のネット・サバイバルは、治癒切除、非治癒切除例に関わらずほぼ 100%であった。

表 3-11-2 属性別 10 年生存率

	全体			
	実測	Net	95%信頼区間	
全体	67.1	85.4	84.6	86.2
拠点病院等	67.3	85.7	84.9	86.5
都道府県推薦病院	61.4	80.8	76.8	84.8
年齢				
0-39 歳	-	-		
40 歳代	79.6	81.7	73.9	89.4
50 歳代	88.8	94.2	92.7	95.8
60 歳代	84.0	95.6	94.8	96.4
70 歳代	65.2	87.3	86.3	88.4
80 歳以上	24.5	52.4	49.4	55.3
UICC TNM 総合ステージ				
I 期	71.9	93.7	88.5	98.8
II 期	75.1	95.4	94.5	96.3
III 期	69.4	87.3	85.3	89.4
IV 期	28.3	37.4	35.4	39.4
不詳	38.2	53.5	45.7	61.2
観血的治療				
有				
原発巣・治癒切除	87.1	100.0	100.0	100.0
原発巣・非治癒切除	88.0	100.0	100.0	100.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	82.9	98.0	95.2	100.0
無	81.4	96.5	91.5	100.0
無	58.5	77.9	76.9	78.9

12. 膀胱がん(膀胱癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2011	318	7,480	4,486	98.0	73.1
I 期	318	4,190	2,000	97.5	72.7
II 期	295	1,386	951	98.3	74.4
III 期	262	704	512	99.0	73.6
IV 期	282	940	827	99.1	71.5

(1) 生存状況把握割合

集計対象 7,480 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 4,486 例、打ち切りが 152 例で、全体として生存状況把握割合は 98.0%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-12-1 に示す。性別をみると、男性が 77.1%を占めた。年齢をみると、70 歳代が最も多く 34.5%、次いで 80 歳以上が 30.7%であった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、I 期が最も多く 56.0%を占めた。観血的治療は 86.4%で実施されていた。

表 3-12-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	5,768	100.0	1,712	100.0	7,480	100.0
拠点病院等	5,446	94.4	1,620	94.6	7,066	94.5
都道府県推薦病院	322	5.6	92	5.4	414	5.5
年齢						
平均年齢 (SD)	72.4 (10.5)		75.5 (11.2)		73.1 (10.7)	
0-14 歳	-	-	-	-	-	-
15-39 歳	29	0.5	15	0.9	44	0.6
40 歳代	105	1.8	27	1.6	132	1.8
50 歳代	454	7.9	105	6.1	559	7.5
60 歳代	1,563	27.1	300	17.5	1,863	24.9
70 歳代	2,027	35.1	555	32.4	2,582	34.5
80 歳以上	1,590	27.6	710	41.5	2,300	30.7
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	3,378	58.6	812	47.4	4,190	56.0
II 期	1,029	17.8	357	20.9	1,386	18.5
III 期	508	8.8	196	11.4	704	9.4
IV 期	677	11.7	263	15.4	940	12.6
不詳	176	3.1	84	4.9	260	3.5
観血的治療						
有	5,054	87.6	1,408	82.2	6,462	86.4
原発巣・治癒切除	3,972	68.9	1,041	60.8	5,013	67.0
原発巣・非治癒切除	597	10.4	232	13.6	829	11.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	485	8.4	135	7.9	620	8.3
無	714	12.4	304	17.8	1,018	13.6
発見経緯						
がん検診	49	0.8	(4-6)	-	54	0.7
健康診断・人間ドック	161	2.8	37	2.2	198	2.6
他疾患経過観察中	1,416	24.5	392	22.9	1,808	24.2
その他・不明	4,142	71.8	1,278	74.6	5,420	72.5

(3)10年生存率

10年生存率を表3-12-2に示す。ネット・サバイバルは、全体で49.8%であった。70歳以上では、実測生存率とネット・サバイバルの乖離が大きく、他疾患での亡くなられる場合も多いと考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別に見ると、I期が65.4%、II期が39.1%であった。観血的治療有の者のネット・サバイバルは55.3%であった。

表3-12-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	40.1	51.6	49.6	53.5	36.7	43.7	40.5	47.0	39.3	49.8	48.1	51.5
拠点病院等	40.3	51.9	49.9	53.9	36.6	43.6	40.3	46.9	39.5	50.0	48.3	51.7
都道府県推薦病院	36.7	46.1	37.4	54.9	38.4	45.7	30.8	60.6	37.1	46.1	38.4	53.7
年齢												
0-39歳	—	—			—	—			73.8	74.3	61.1	87.6
40歳代	73.0	74.5	65.7	83.3	—	—			75.6	77.0	69.4	84.5
50歳代	68.2	72.0	67.5	76.6	59.9	61.5	51.7	71.3	66.7	70.2	66.0	74.3
60歳代	60.3	68.2	65.5	71.0	59.2	62.4	56.5	68.3	60.1	67.3	64.8	69.8
70歳代	37.8	51.3	48.3	54.2	43.2	49.6	44.8	54.5	38.9	50.9	48.4	53.5
80歳以上	12.7	27.8	23.7	31.9	16.1	26.4	21.1	31.8	13.7	27.4	24.1	30.7
UICC TNM 分類総合ステージ												
I期	51.3	66.1	63.3	68.8	52.5	62.7	57.4	67.9	51.5	65.4	63.0	67.9
II期	31.9	40.8	36.6	45.1	28.0	34.1	27.8	40.4	30.9	39.1	35.6	42.7
III期	26.7	34.3	28.9	39.8	26.6	31.8	23.6	40.0	26.6	33.6	29.1	38.2
IV期	11.5	14.4	11.1	17.7	11.8	12.8	8.2	17.3	11.6	13.9	11.3	16.6
不詳	23.1	28.8	19.7	37.9	22.0	26.6	14.8	38.5	22.8	28.3	20.9	35.6
観血的治療												
有	44.0	56.5	54.4	58.7	42.6	50.6	46.9	54.3	43.7	55.3	53.4	57.1
原発巣・治癒切除	47.3	60.7	58.3	63.2	49.0	58.1	53.7	62.6	47.7	60.2	58.1	62.3
原発巣・非治癒切除	25.3	32.1	26.9	37.3	17.9	22.6	15.5	29.7	23.2	29.5	25.2	33.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	40.5	52.7	45.5	59.8	36.2	41.3	30.8	51.9	39.6	50.2	44.1	56.3
無	12.4	16.3	12.6	20.0	8.6	11.3	6.9	15.8	11.3	14.9	11.9	17.8

13. 喉頭がん(喉頭癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2011	251	2,950	1,479	97.2	69.8
I 期	251	1,203	470	97.5	69.9
II 期	219	760	337	97.2	69.7
III 期	169	390	244	95.9	70.5
IV 期	198	574	416	97.6	69.4

(1) 生存状況把握割合

集計対象 2,950 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 1,479 例、打ち切りが 83 例で、全体として生存状況把握割合は 97.2%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-13-1 に示す。性別で見ると、男性が約 93%を占めた。診断時の年齢分布を見ると、70 歳代・60 歳代で約 7 割を占めた。UICC TNM 分類総合ステージの分布を見ると、I 期が約 41%を占めた。観血的治療の実施割合は、約 28%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約 13%であった。

表 3-13-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	2,739	100.0	211	100.0	2,950	100.0
拠点病院等	2,700	98.6	207	98.1	2,907	98.5
都道府県推薦病院	39	1.4	(4-6)	-	43	1.5
年齢						
平均年齢 (SD)	69.9(9.6)		69.2(10.2)		69.8(9.6)	
0-14 歳	-	-	-	-	-	-
15-39 歳	(7-9)	-	0	0.0	(7-9)	-
40 歳代	43	1.6	(4-6)	-	48	1.6
50 歳代	296	10.8	29	13.7	325	11.0
60 歳代	1,012	36.9	76	36.0	1,088	36.9
70 歳代	906	33.1	72	34.1	978	33.2
80 歳以上	474	17.3	29	13.7	503	17.1
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	1,121	40.9	82	38.9	1,203	40.8
II 期	709	25.9	51	24.2	760	25.8
III 期	356	13.0	34	16.1	390	13.2
IV 期	536	19.6	38	18.0	574	19.5
不詳	17	0.6	(4-6)	-	23	0.8
観血的治療						
有	758	27.7	63	29.9	821	27.8
原発巣・治癒切除	611	22.3	57	27.0	668	22.6
原発巣・非治癒切除	80	2.9	(1-3)	-	83	2.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	67	2.4	(1-3)	-	70	2.4
無	1,981	72.3	148	70.1	2,129	72.2
発見経緯						
がん検診	19	0.7	0	0.0	19	0.6
健康診断・人間ドック	16	0.6	(1-3)	-	18	0.6
他疾患経過観察中	360	13.1	26	12.3	386	13.1
その他・不明	2,344	85.6	183	86.7	2,527	85.7

(3)10年生存率

10年生存率を表3-13-2に示す。実測生存率は48.8%、ネット・サバイバルは、全体で60.2%であった。70歳以上では、実測生存率とネット・サバイバルの乖離が大きく、他疾患での亡くなられる場合も多いと考えられる。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、Ⅰ期が74.2%、Ⅱ期が68.7%であった。観血的治療を受けた者のネット・サバイバルは60.1%で、そのうち原発巣・治癒切除例では59.4%であった。

表3-13-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	48.0	59.8	56.8	62.8	58.9	65.9	57.3	74.4	48.8	60.2	57.4	63.1
拠点病院等	47.9	59.6	56.6	62.6	58.8	65.7	57.1	74.2	48.7	60.1	57.2	62.9
都道府県推薦病院	55.9	70.5	46.7	94.2	—	—			56.8	71.0	48.0	94.0
年齢												
0-39歳	—	—			—	—			—	—		
40歳代	70.0	71.2	56.3	86.1	—	—			73.6	74.7	61.3	88.2
50歳代	72.0	76.0	70.3	81.7	—	—			72.3	76.2	70.7	81.6
60歳代	60.9	69.1	65.5	72.7	63.4	66.2	54.6	77.8	61.1	68.9	65.5	72.4
70歳代	42.3	56.8	52.1	61.4	58.1	66.9	52.7	81.1	43.5	57.6	53.2	62.1
80歳以上	14.7	34.4	25.1	43.7	—	—			15.5	35.0	26.0	44.0
UICC TNM 分類総合ステージ												
Ⅰ期	59.0	73.4	68.8	77.9	75.3	83.1	72.1	94.1	60.2	74.2	69.9	78.5
Ⅱ期	53.9	68.4	62.5	74.3	63.0	72.6	53.0	92.2	54.5	68.7	63.0	74.4
Ⅲ期	33.5	41.6	34.6	48.6	40.0	42.8	23.8	61.7	34.1	41.8	35.1	48.4
Ⅳ期	27.5	32.5	25.9	39.2	28.6	29.9	14.4	45.5	27.6	32.4	26.1	38.7
不詳	—	—			—	—			—	—		
観血的治療												
有	48.0	59.9	54.5	65.2	56.1	61.8	47.4	76.2	48.6	60.1	55.0	65.2
原発巣・治癒切除	47.3	59.1	53.2	65.0	55.8	61.7	46.5	76.8	48.0	59.4	53.8	64.9
原発巣・非治癒切除	55.1	67.6	51.8	83.5	—	—			54.9	67.2	51.6	82.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	46.4	57.5	39.1	76.0	—	—			47.3	58.2	40.3	76.2
無	48.1	59.7	56.1	63.3	60.0	67.2	56.7	77.6	48.9	60.2	56.8	63.7

14. 胆嚢がん(胆嚢癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2011	304	2,728	2,230	98.5	73.5
I 期	277	736	360	97.4	72.5
II 期	237	560	481	98.9	74.8
III 期	162	244	228	97.1	73.6
IV 期	304	1,091	1,072	99.1	73.0

(1) 生存状況把握割合

集計対象 2,728 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 2,230 例、打ち切りが 42 例で、全体として生存状況把握割合は 98.5%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-14-1 に示す。性別をみると、女性が 56.3%を占めた。年齢をみると、70 歳代が最も多く 36.2%、次いで 80 歳以上が 31.4%であった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、IV 期が最も多く 40.0%を占めた。観血的治療は 44.8%で実施されていた。

表 3-14-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	1,192	100.0	1,536	100.0	2,728	100.0
拠点病院等	1,123	94.2	1,434	93.4	2,557	93.7
都道府県推薦病院	69	5.8	102	6.6	171	6.3
年齢						
平均年齢 (SD)	72.7(10.1)		74.1(11.1)		73.5(10.7)	
0-14 歳	-	-	-	-	-	-
15-39 歳	(4-6)	-	(4-6)	-	12	0.4
40 歳代	20	1.7	32	2.1	52	1.9
50 歳代	99	8.3	117	7.6	216	7.9
60 歳代	275	23.1	329	21.4	604	22.1
70 歳代	467	39.2	521	33.9	988	36.2
80 歳以上	325	27.3	531	34.6	856	31.4
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	362	30.4	374	24.3	736	27.0
II 期	243	20.4	317	20.6	560	20.5
III 期	97	8.1	147	9.6	244	8.9
IV 期	448	37.6	643	41.9	1,091	40.0
不詳	42	3.5	55	3.6	97	3.6
観血的治療						
有	583	48.9	638	41.5	1,221	44.8
原発巣・治癒切除	490	41.1	526	34.2	1,016	37.2
原発巣・非治癒切除	68	5.7	86	5.6	154	5.6
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	25	2.1	26	1.7	51	1.9
無	609	51.1	898	58.5	1,507	55.2
発見経緯						
がん検診	11	0.9	12	0.8	23	0.8
健康診断・人間ドック	61	5.1	57	3.7	118	4.3
他疾患経過観察中	458	38.4	526	34.2	984	36.1
その他・不明	662	55.5	941	61.3	1,603	58.8

(3)10年生存率

10年生存率を表3-14-2に示す。ネット・サバイバルは、全体で21.7%であった。80歳以上では、実測生存率とネット・サバイバルの乖離が大きく、他疾患での亡くなられる場合も多いと考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別に見ると、I期が63.8%、II期が16.2%であった。観血的治療有の者のネット・サバイバルは46.8%であった。

表3-14-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	17.6	23.4	20.1	26.7	17.2	20.5	18.1	22.9	17.4	21.7	19.8	23.7
拠点病院等	17.6	23.3	19.9	26.7	17.2	20.4	17.9	22.9	17.4	21.7	19.6	23.7
都道府県推薦病院	17.5	23.3	9.9	36.7	17.8	21.5	12.0	31.1	17.6	22.5	14.4	30.6
年齢												
0-39歳	—	—			—	—			—	—		
40歳代	—	—			33.3	33.5	17.1	49.8	41.7	42.3	28.4	56.2
50歳代	26.7	27.9	18.3	37.6	29.4	30.1	21.4	38.7	28.2	29.2	22.7	35.7
60歳代	22.2	25.3	19.6	31.0	20.2	21.4	16.7	26.0	21.1	23.2	19.5	26.8
70歳代	18.2	25.1	20.1	30.0	19.2	22.2	18.1	26.2	18.7	23.5	20.3	26.7
80歳以上	6.7	14.9	8.1	21.7	9.4	15.0	10.8	19.2	8.4	14.9	11.2	18.6
UICC TNM 分類総合ステージ												
I期	47.4	63.4	55.0	71.8	53.2	64.1	57.3	70.9	50.3	63.8	58.4	69.3
II期	10.6	13.2	7.8	18.7	15.9	18.5	13.4	23.5	13.6	16.2	12.5	20.0
III期	5.5	6.5	1.3	11.7	2.2	2.6	0.0	5.2	3.5	4.2	1.4	6.9
IV期	1.0	1.1	0.1	2.2	1.0	1.0	0.2	1.8	1.0	1.1	0.4	1.7
不詳	4.8	7.0	0.0	15.3	11.3	11.8	2.4	21.2	8.4	9.5	2.9	16.1
観血的治療												
有	34.5	45.9	39.9	52.0	40.0	47.6	42.6	52.5	37.3	46.8	42.9	50.7
原発巣・治癒切除	39.4	52.4	45.5	59.3	47.1	55.9	50.4	61.5	43.4	54.2	49.8	58.6
原発巣・非治癒切除	3.2	3.5	0.0	7.8	6.3	7.0	1.0	13.0	4.9	5.5	1.4	9.6
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	—	—			—	—			12.5	19.8	5.5	34.2
無	1.6	1.9	0.6	3.3	1.2	1.5	0.6	2.3	1.4	1.6	0.9	2.4

15. 腎がん(腎癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2011	316	7,438	3,076	97.5	65.3
I 期	316	4,952	1,344	97.4	64.2
II 期	199	387	149	96.9	64.2
III 期	253	821	422	97.6	67.8
IV 期	291	1,177	1,088	98.6	68.0

(1) 生存状況把握割合

集計対象 7,438 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 3,076 例、打ち切りが 184 例で、全体として生存状況把握割合は 97.5%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-15-1 に示す。性別をみると、男性が 71.1%を占めた。診断時の年齢分布をみると、60 歳代が約 31%、70 歳代が約 30%であった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、I 期が約 67%を占めた。観血的治療の実施割合は、約 83%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が約 49%であった。

表 3-15-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	5,289	100.0	2,149	100.0	7,438	100.0
拠点病院等	5,134	97.1	2,083	96.9	7,217	97.0
都道府県推薦病院	155	2.9	66	3.1	221	3.0
年齢						
平均年齢 (SD)	64.7(11.9)		66.7(12.4)		65.3(12.1)	
0-14 歳	-	-	-	-	-	-
15-39 歳	146	2.8	58	2.7	204	2.7
40 歳代	462	8.7	135	6.3	597	8.0
50 歳代	999	18.9	370	17.2	1,369	18.4
60 歳代	1,669	31.6	604	28.1	2,273	30.6
70 歳代	1,505	28.5	660	30.7	2,165	29.1
80 歳以上	508	9.6	322	15.0	830	11.2
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	3,578	67.6	1,374	63.9	4,952	66.6
II 期	223	4.2	164	7.6	387	5.2
III 期	588	11.1	233	10.8	821	11.0
IV 期	833	15.7	344	16.0	1,177	15.8
不詳	67	1.3	34	1.6	101	1.4
観血的治療						
有	4,416	83.5	1,786	83.1	6,202	83.4
原発巣・治癒切除	4,105	77.6	1,688	78.5	5,793	77.9
原発巣・非治癒切除	172	3.3	56	2.6	228	3.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	139	2.6	42	2.0	181	2.4
無	873	16.5	363	16.9	1,236	16.6
発見経緯						
がん検診	111	2.1	36	1.7	147	2.0
健康診断・人間ドック	776	14.7	236	11.0	1,012	13.6
他疾患経過観察中	2,580	48.8	1,038	48.3	3,618	48.6
その他・不明	1,822	34.4	839	39.0	2,661	35.8

(3)10 年生存率

10 年生存率を表 3-15-2 に示す。ネット・サバイバルは、全体で 66.4%であった。70 歳以上では、実測生存率とネット・サバイバルの乖離が大きく、他疾患での亡くなられる場合も多いと考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別に見ると、I 期が 82.8%、II 期が 68.7%であった。観血的治療有の者のネット・サバイバルは 76.8%でそのうち原発巣・治癒切除例では 79.4%であった。

表 3-15-2 属性別 10 年生存率

	男性			女性			全体					
	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間			
全体	56.4	65.6	63.9	67.4	61.9	68.1	65.6	70.6	58.0	66.4	64.9	67.8
拠点病院等	56.4	65.5	63.7	67.3	62.1	68.3	65.7	70.8	58.0	66.3	64.8	67.8
都道府県推薦病院	58.6	70.1	58.8	81.5	56.3	63.8	49.3	78.3	57.9	68.2	59.1	77.3
年齢												
0-39 歳	89.2	90.0	84.8	95.2	79.7	80.1	69.5	90.7	86.5	87.2	82.4	92.1
40 歳代	82.6	84.3	80.6	88.0	81.9	82.8	75.9	89.7	82.5	84.0	80.8	87.2
50 歳代	74.6	78.7	75.8	81.6	77.3	79.3	74.8	83.8	75.3	78.9	76.4	81.3
60 歳代	60.7	68.4	65.7	71.2	71.5	75.2	71.3	79.0	63.6	70.2	68.0	72.5
70 歳代	42.5	56.9	53.4	60.4	54.8	63.1	58.6	67.6	46.2	58.8	56.0	61.6
80 歳以上	15.6	33.1	25.9	40.3	29.6	44.4	35.9	52.9	21.0	37.5	31.9	43.2
UICC TNM 分類総合ステージ												
I 期	71.1	82.6	80.6	84.6	76.0	83.4	80.6	86.3	72.4	82.8	81.2	84.5
II 期	54.2	61.8	53.0	70.5	70.6	78.3	69.9	86.6	61.1	68.7	62.5	75.0
III 期	43.6	51.6	46.2	56.9	58.9	66.2	58.7	73.7	47.9	55.7	51.2	60.2
IV 期	6.3	7.4	5.4	9.4	6.6	7.0	4.1	9.9	6.4	7.3	5.6	8.9
不詳	24.8	29.5	13.1	46.0	25.4	28.0	10.9	45.2	25.1	28.9	16.4	41.4
観血的治療												
有	65.5	76.0	74.1	77.8	71.9	78.9	76.4	81.4	67.3	76.8	75.3	78.3
原発巣・治癒切除	67.7	78.6	76.7	80.5	74.0	81.2	78.7	83.7	69.5	79.4	77.8	80.9
原発巣・非治癒切除	23.9	27.0	19.5	34.5	23.8	25.5	13.3	37.6	23.8	26.7	20.2	33.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	53.4	60.7	50.9	70.6	54.8	59.6	42.9	76.4	53.7	60.5	51.9	69.0
無	10.2	13.1	10.0	16.2	12.8	15.3	10.7	19.9	11.0	13.8	11.2	16.4

16. 腎盂尿管がん(腎盂尿管癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2011	284	3,014	2,138	98.0	73.1
I 期	248	606	288	97.0	72.8
II 期	209	398	237	97.0	73.5
III 期	284	923	610	98.3	72.6
IV 期	280	927	862	98.7	72.9

(1) 生存状況把握割合

集計対象 3,014 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 2,138 例、打ち切りが 60 例で、全体として生存状況把握割合は 98.0%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-16-1 に示す。性別で見ると、男性が約 67%、女性が約 33%であった。診断時の年齢分布を見ると、70 歳代が最も多く約 40%、80 歳以上が約 27%であった。UICC TNM 分類総合ステージの分布を見ると、IV 期が約 31%を占めた。観血的治療の実施割合は、約 70%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約 32%であった。

表 3-16-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	2,031	100.0	983	100.0	3,014	100.0
拠点病院等	1,942	95.6	934	95.0	2,876	95.4
都道府県推薦病院	89	4.4	49	5.0	138	4.6
年齢						
平均年齢 (SD)	72.1 (9.3)		75.0 (9.4)		73.1 (9.4)	
0-14 歳	-	-	-	-	-	-
15-39 歳	(1-3)	-	(1-3)	-	(4-6)	-
40 歳代	24	1.2	12	1.2	36	1.2
50 歳代	157	7.7	56	5.7	213	7.1
60 歳代	560	27.6	184	18.7	744	24.7
70 歳代	813	40.0	385	39.2	1,198	39.7
80 歳以上	474	23.3	345	35.1	819	27.2
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	418	20.6	188	19.1	606	20.1
II 期	261	12.9	137	13.9	398	13.2
III 期	641	31.6	282	28.7	923	30.6
IV 期	608	29.9	319	32.5	927	30.8
不詳	103	5.1	57	5.8	160	5.3
観血的治療						
有	1,451	71.4	670	68.2	2,121	70.4
原発巣・治癒切除	1,265	62.3	570	58.0	1,835	60.9
原発巣・非治癒切除	124	6.1	71	7.2	195	6.5
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	62	3.1	29	3.0	91	3.0
無	580	28.6	313	31.8	893	29.6
発見経緯						
がん検診	(7-9)	-	(4-6)	-	14	0.5
健康診断・人間ドック	71	3.5	17	1.7	88	2.9
他疾患経過観察中	681	33.5	290	29.5	971	32.2
その他・不明	1,270	62.5	671	68.3	1,941	64.4

(3)10 年生存率

10 年生存率を表 3-16-2 に示す。ネット・サバイバルは、全体で 34.6%であった。70 歳以上では、実測生存率とネット・サバイバルの乖離が大きく、他疾患での亡くなられる場合も多いと考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別に全体のネット・サバイバルをみると、Ⅰ期が 63.0%、Ⅱ期が 49.5%、Ⅲ期が 40.2%、Ⅳ期が 7.4%であった。観血的治療を受けた者のネット・サバイバルは 47.0%で、そのうち原発巣・治癒切除例では約 51%であった。

表 3-16-2 属性別 10 年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	27.4	35.4	32.5	38.3	28.2	32.8	29.3	36.4	27.7	34.6	32.3	36.8
拠点病院等	27.6	35.7	32.7	38.7	28.2	32.8	29.1	36.4	27.8	34.7	32.4	37.1
都道府県推薦病院	24.4	28.0	16.7	39.4	29.6	33.6	16.6	50.7	26.2	30.3	20.5	40.0
年齢												
0-39 歳	—	—			—	—			—	—		
40 歳代	—	—			—	—			62.6	63.8	46.3	81.2
50 歳代	52.4	55.3	46.8	63.9	50.0	51.5	37.4	65.5	51.8	54.4	47.0	61.7
60 歳代	40.2	45.2	40.5	50.0	45.1	47.8	40.0	55.6	41.4	46.0	41.9	50.1
70 歳代	23.0	31.1	27.0	35.2	30.7	35.3	29.8	40.9	25.5	32.4	29.1	35.8
80 歳以上	9.7	22.8	15.9	29.6	11.9	18.2	12.6	23.8	10.6	20.9	16.2	25.5
UICC TNM 分類総合ステージ												
Ⅰ期	50.6	64.8	57.1	72.6	50.8	58.9	49.7	68.0	50.7	63.0	56.9	69.0
Ⅱ期	36.7	48.2	39.2	57.1	42.7	52.0	41.3	62.7	38.8	49.5	42.5	56.5
Ⅲ期	32.7	41.5	36.3	46.8	32.9	37.2	30.2	44.2	32.8	40.2	36.0	44.5
Ⅳ期	5.1	6.0	3.8	8.3	8.3	9.9	6.0	13.7	6.2	7.4	5.3	9.4
不詳	10.6	17.9	7.9	27.9	10.7	12.1	2.8	21.3	10.7	15.7	8.4	23.1
観血的治療												
有	36.8	46.7	43.1	50.4	40.8	47.5	42.7	52.3	38.0	47.0	44.0	49.9
原発巣・治癒切除	39.4	50.1	46.1	54.1	44.9	52.4	47.1	57.7	41.1	50.8	47.5	54.0
原発巣・非治癒切除	16.4	22.6	12.4	32.7	14.9	16.3	7.1	25.6	15.9	20.5	13.1	27.9
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	22.8	27.1	14.1	40.0	—	—			23.8	27.7	17.0	38.5
無	3.9	6.7	3.9	9.6	2.4	2.8	0.6	4.9	3.4	5.3	3.3	7.3

17. 甲状腺がん(甲状腺癌)

甲状腺乳頭濾胞がん(甲状腺乳頭濾胞癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2011	294	5,846	936	95.9	58.1
I期	294	2,373	186	94.2	50.6
II期	161	321	59	96.0	60.8
III期	288	1,692	216	97.1	62.3
IV期	267	1,389	444	97.0	64.8

(1) 生存状況把握割合

集計対象 5,846 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 936 例、打ち切りが 241 例で、全体として生存状況把握割合は 95.9%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-17①-1 に示す。性別をみると、女性が 73.7%を占めた。年齢をみると、60 歳代が最も多く 27.5%、次いで 50 歳代が 19.7%であった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、I 期が最も多く 40.6%を占めた。観血的治療は 91.2%で実施されていた。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が 40.9%であった。

表 3-17①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	1,536	100.0	4,310	100.0	5,846	100.0
拠点病院等	1,480	96.4	4,131	95.8	5,611	96.0
都道府県推薦病院	56	3.6	179	4.2	235	4.0
年齢						
平均年齢 (SD)	59.6 (14.1)		57.6 (15.8)		58.1 (15.4)	
0-14 歳	(4-6)	-	10	0.2	14	0.2
15-39 歳	152	9.9	639	14.8	791	13.5
40 歳代	207	13.5	604	14.0	811	13.9
50 歳代	306	19.9	848	19.7	1,154	19.7
60 歳代	453	29.5	1,154	26.8	1,607	27.5
70 歳代	341	22.2	781	18.1	1,122	19.2
80 歳以上	73	4.8	274	6.4	347	5.9
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	513	33.4	1,860	43.2	2,373	40.6
II 期	83	5.4	238	5.5	321	5.5
III 期	439	28.6	1,253	29.1	1,692	28.9
IV 期	475	30.9	914	21.2	1,389	23.8
不詳	26	1.7	45	1.0	71	1.2
観血的治療						
有	1,382	90.0	3,947	91.6	5,329	91.2
原発巣・治癒切除	1,198	78.0	3,540	82.1	4,738	81.0
原発巣・非治癒切除	105	6.8	223	5.2	328	5.6
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	79	5.1	184	4.3	263	4.5
無	154	10.0	363	8.4	517	8.8
発見経緯						
がん検診	54	3.5	184	4.3	238	4.1
健康診断・人間ドック	262	17.1	600	13.9	862	14.7
他疾患経過観察中	644	41.9	1,749	40.6	2,393	40.9
その他・不明	576	37.5	1,777	41.2	2,353	40.2

(3)10年生存率

10年生存率を表3-17①-2に示す。ネット・サバイバルは、全体で90.2%であった。年代別にみたネット・サバイバルは、70歳以上を除き約90%以上であった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、I期が97.1%、II期が89.2%、III期が95.0%、IV期が74.8%であった。観血的治療有の者のネット・サバイバルは93.5%であった。

表3-17①-2 属性別10年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間		実測	Net	95%信頼区間	
全体	76.1	86.0	83.1	88.9	86.8	91.7	90.4	93.1	84.0	90.2	89.0	91.5
拠点病院等	75.6	85.4	82.4	88.4	86.8	91.7	90.4	93.1	83.8	90.1	88.8	91.3
都道府県推薦病院	89.6	100.0	92.1	100.0	87.0	92.1	85.9	98.4	87.6	94.3	89.0	99.7
年齢												
0-39歳	97.6	98.5	95.8	100.0	99.5	99.9	99.3	100.0	99.1	99.7	98.9	100.0
40歳代	92.3	94.1	90.2	98.1	97.9	99.1	97.9	100.0	96.5	97.8	96.5	99.2
50歳代	86.1	90.8	86.4	95.2	96.7	99.1	97.8	100.0	94.0	97.0	95.4	98.5
60歳代	81.9	92.2	87.9	96.4	87.6	92.1	90.0	94.3	86.0	92.1	90.2	94.1
70歳代	52.2	70.3	62.6	77.9	74.4	84.7	80.9	88.5	67.5	80.2	76.6	83.8
80歳以上	25.8	54.4	30.0	78.8	35.6	52.8	42.7	62.9	33.5	53.4	43.9	62.9
UICC TNM分類総合ステージ												
I期	88.1	96.6	92.7	100.0	93.3	97.2	95.8	98.6	92.2	97.1	95.7	98.5
II期	76.0	88.9	76.5	100.0	82.8	88.6	82.2	95.1	81.0	89.2	83.4	95.0
III期	81.4	93.3	88.3	98.2	89.6	95.6	93.2	98.0	87.5	95.0	92.8	97.2
IV期	60.3	69.2	63.2	75.2	72.1	77.6	73.9	81.2	68.1	74.8	71.6	78.0
不詳	—	—			56.8	61.8	42.7	80.9	50.9	55.7	40.4	71.0
観血的治療												
有	80.5	90.3	87.5	93.0	89.7	94.7	93.5	95.9	87.3	93.5	92.4	94.7
原発巣・治癒切除	82.2	92.4	89.6	95.3	90.9	95.8	94.6	97.0	88.7	95.0	93.8	96.1
原発巣・非治癒切除	64.3	71.3	59.5	83.2	74.6	80.4	73.0	87.7	71.4	77.5	71.2	83.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	75.2	81.8	69.4	94.2	85.5	89.9	83.6	96.3	82.5	87.6	81.7	93.4
無	39.6	49.7	37.5	61.9	55.6	60.9	53.7	68.2	50.7	57.6	51.2	63.9

甲状腺未分化がん(甲状腺未分化癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2011	80	127	119	98.4	73.5
Ⅲ期	-	(1-3)	(1-3)	100.0	68.5
Ⅳ期	80	120	113	99.2	73.2

(1) 生存状況把握割合

集計対象 127 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 119 例で、全体として生存状況把握割合は 98.4%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-17②-1 に示す。性別をみると、男性が 44.9%、女性が 55.1%であった。年齢をみると、80 歳以上が最も多く 33.9%、次いで 70 歳代が 33.1%であった。観血的治療は甲状腺乳頭濾胞癌と比較して低く、35.4%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が約 13%であった。

表 3-17②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	57	100.0	70	100.0	127	100.0
拠点病院等	57	100.0	69	98.6	126	99.2
都道府県推薦病院	0	0.0	(1-3)	-	(1-3)	-
年齢						
平均年齢 (SD)	70.6 (11.7)		75.8 (9.7)		73.5 (10.9)	
0-14 歳	-	-	-	-	-	-
15-39 歳	(1-3)	-	0	0.0	(1-3)	-
40 歳代	(1-3)	-	0	0.0	(1-3)	-
50 歳代	(4-6)	-	(1-3)	-	(7-9)	-
60 歳代	18	31.6	14	20.0	32	25.2
70 歳代	17	29.8	25	35.7	42	33.1
80 歳以上	15	26.3	28	40.0	43	33.9
UICC TNM 分類総合ステージ						
Ⅲ期	(1-3)	-	0	0.0	(1-3)	-
Ⅳ期	51	89.5	69	98.6	120	94.5
不詳	(4-6)	-	(1-3)	-	(4-6)	-
観血的治療						
有	19	33.3	26	37.1	45	35.4
原発巣・治癒切除	11	19.3	16	22.9	27	21.3
原発巣・非治癒切除	(4-6)	-	(7-9)	-	15	11.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	(1-3)	-	(1-3)	-	(1-3)	-
無	38	66.7	44	62.9	82	64.6
発見経緯						
がん検診	-	-	-	-	-	-
健康診断・人間ドック	-	-	-	-	-	-
他疾患経過観察中	(7-9)	-	(7-9)	-	16	12.6
その他・不明	49	86.0	62	88.6	111	87.4

(3) 10年生存率

10年生存率を表3-17②-2に示す。実測生存率、ネット・サバイバルともに10%未満であった。対象数が限られるため生存率値の解釈には留意が必要である。

表3-17②-2 属性別10年生存率

	男性			女性			全体			
	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間	実測	Net	95%信頼区間	
全体	-	-		7.4	7.7	1.4 14.0	4.1	4.5	0.7	8.4
拠点病院等	-	-		7.5	7.8	1.4 14.2	4.1	4.6	0.7	8.5
年齢										
60歳代	-	-		-	-		3.1	3.2	0.0	8.2
70歳代	-	-		-	-		5.0	6.4	0.0	14.2
UICC TNM分類総合ステージ										
IV期	-	-		7.4	7.7	1.4 14.0	4.3	4.8	0.7	8.9
観血的治療										
有	-	-		-	-		9.3	10.5	1.0	20.0

甲状腺髄様がん(甲状腺髄様癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2011	15	40	(7-9)	97.5	55.1
I 期	15	20	(1-3)	95.0	49.0
II 期	5	(4-6)	(1-3)	100.0	62.4
III 期	5	(4-6)	(1-3)	100.0	69.6
IV 期	9	(7-9)	(1-3)	100.0	58.6

(1) 生存状況把握割合

集計対象 40 例であった。
集計対象全体で生存状況把握割合は、97.5%であった。

(3) 10 年生存率

10 年生存率を表 3-17③-2 に示す。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-17③-1 に示す。対象数が限られるため全体の未で示す。男性が 45%、女性が 55%であった。観血的治療を受けたものが 40 名であった。発見経緯を見ると、多疾患経過観察中が 18 名であった。

表 3-17③-1 対象者の属性

	全体	
	症例数	(%)
全体	40	100.0
拠点病院等	40	100.0
都道府県推薦病院	-	-
年齢		
平均年齢 (SD)	55.1 (18.7)	
0-14 歳	-	-
15-39 歳	11	27.5
40 歳代	(1-3)	-
50 歳代	(7-9)	-
60 歳代	(7-9)	-
70 歳代	10	25.0
80 歳以上	(1-3)	-
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	20	50.0
II 期	(4-6)	-
III 期	(4-6)	-
IV 期	(7-9)	-
不詳	(1-3)	-
観血的治療		
有	40	100.0
原発巣・治癒切除	34	85.0
原発巣・非治癒切除	(1-3)	-
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	-	-
無	(4-6)	-
発見経緯		
がん検診	(1-3)	-
健康診断・人間ドック	(1-3)	-
他疾患経過観察中	18	45.0
その他・不明	18	45.0

表 3-17③-2 属性別 10 年生存率

	全体			
	実測	Net	95%信頼区間	
全体	76.9	82.4	67.8	97.1
拠点病院等	76.9	82.4	67.8	97.1
観血的治療				
有	80.0	85.1	70.4	99.8
原発巣・治癒切除	81.8	87.0	72.2	100.0

18. 女性卵巣がん(女性卵巣癌)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2011	283	4,782	2,277	96.4	57.0
I 期	283	2,021	348	95.5	53.2
II 期	201	427	172	97.2	57.3
III 期	270	1,382	985	97.7	59.7
IV 期	244	776	660	98.8	61.7

(1) 生存状況把握割合

集計対象 4,782 例のうち、10 年以内に死亡していた者は 2,277 例、打ち切りが 150 例で、全体として生存状況把握割合は 96.4%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-18-1 に示す。診断時の年齢分布をみると、60 歳代が約 26%であった。UICC TNM 分類総合ステージをみると、I 期が最も多く 42.3%を占めた。観血的治療は 84.5%で実施されていた

表 3-18-1 対象者の属性

	全体	
	対象数	(%)
全体	4,782	100.0
拠点病院等	4,601	96.2
都道府県推薦病院	181	3.8
年齢		
平均年齢 (SD)	57.0(14.6)	
0-14 歳	24	0.5
15-39 歳	511	10.7
40 歳代	872	18.2
50 歳代	1,208	25.3
60 歳代	1,246	26.1
70 歳代	643	13.4
80 歳以上	278	5.8
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	2,021	42.3
II 期	427	8.9
III 期	1,382	28.9
IV 期	776	16.2
不詳	176	3.7
観血的治療		
有	4,042	84.5
原発巣・治癒切除	2,941	61.5
原発巣・非治癒切除	708	14.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	393	8.2
無	740	15.5
発見経緯		
がん検診	194	4.1
健康診断・人間ドック	169	3.5
他疾患経過観察中	863	18.0
その他・不明	3,556	74.4

(3)10 年生存率

10 年生存率を表 3-18-2 に示す。ネット・サバイバルは、全体で 53.6%であった。実測生存率とネット・サバイバルの差は他のがんと比較して大きくはなかった。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、全体で I 期が 85.5%、II 期が 61.8%、III 期が 29.2%、IV 期が 14.6%であった。観血的治療を受けた者のネット・サバイバルは 61.0%で、そのうち原発巣・治癒切除例では 70.7%であった。

表 3-18-2 属性別 10 年生存率

	実測	全体		
		Net	95%信頼区間	
全体	51.6	53.6	52.1	55.2
拠点病院等	51.8	53.8	52.2	55.4
都道府県推薦病院	47.8	49.3	40.9	57.8
年齢				
0-39 歳	80.3	80.6	77.1	84.2
40 歳代	61.5	62.2	58.8	65.6
50 歳代	57.6	59.0	56.1	62.0
60 歳代	46.9	49.3	46.3	52.3
70 歳代	30.2	34.2	30.0	38.4
80 歳以上	11.1	16.5	10.7	22.3
UICC TNM 分類総合ステージ				
I 期	82.4	85.5	83.6	87.4
II 期	59.0	61.8	56.7	66.9
III 期	28.0	29.2	26.6	31.8
IV 期	14.0	14.6	11.9	17.2
不詳	35.4	36.6	29.1	44.0
観血的治療				
有	58.8	61.0	59.3	62.7
原発巣・治癒切除	68.0	70.7	68.8	72.5
原発巣・非治癒切除	23.8	25.0	21.5	28.4
原発巣・治癒/非治癒 の別不詳	52.3	53.9	48.6	59.3
無	13.4	14.1	11.3	16.8

IV. 特別集計 小児 AYA がんの生存率

1. 2011 年診断例における小児 AYA がん 10 年生存率

ここでは、院内がん登録 2018-2019 年小児 AYA 集計報告書の分類に沿って、主分類別に小児がんと AYA がんの 5 年・10 年生存率を集計した。なお、院内がん登録 10 年予後付データ収集への参加は任意であり、集計対象施設一覧は別途示すとおりである。小児がん拠点病院全てが集計対象となっていないことに留意が必要である。集計では、原則として浸潤がん（脳・中枢神経系の良性・良悪性不詳）を対象としている。

表 4-1 国際小児がん分類（ICCG 第 3 版/WHO2008 改訂版）主分類別生存率（15 歳未満）

	施設数	対象数	生存状況 把握割合 (%)	平均 年齢	5 年実測	10 年実測	10 年 Net	95%信頼区間
白血病	94	435	93.1	5.6	88.4	86.2	86.6	83.3-89.8
リンパ腫	56	105	93.3	8.1	92.4	91.4	91.5	86.2-96.9
脳腫瘍	109	314	94.3	7.5	73.5	71.5	71.7	66.7-76.8
神経芽腫	38	57	94.7	2.1	73.3	67.9	68.5	56.3-80.7
網膜芽腫	18	28	100.0	1.6	-	-	-	-
腎腫瘍	18	25	96.0	2.2	-	-	-	-
肝腫瘍	21	23	100.0	1.3	-	-	-	-
骨腫瘍	30	46	97.8	10.4	73.6	71.4	71.4	58.4-84.4
軟部腫瘍	42	53	92.5	7.4	75.4	73.5	73.7	61.9-85.5
胚細胞腫瘍	51	86	91.9	8.7	96.5	95.3	95.6	91.1-100
その他のがん (癌)	31	34	94.1	11.1	97.1	91.1	91.2	81.7-100

※上皮内癌を含まない、その他（10 例）や変換不能（21 例）を除く

【結果の解釈上の留意点について】

本集計で用いた 2011 年の院内がん登録データは院内がん登録が始まって間もない時期のものであり、成人のがん診療連携拠点病院からの登録が主である。そのため、小児がん拠点病院 15 施設（2023 年 4 月時点）のうち今回の 2011 年登録データの集計に含まれているのは 4 施設のみで、小児がん登録数が特に多い 6 つの小児専門病院のデータはいずれも含まれていない。このため、小児がん拠点病院や小児がん連携病院で治療を受けることが多いと考えられる難治性や希少な疾患などが集計に含まれていない可能性がある部分集合のデータであり*、今回の生存率の結果は、小児がん医療の中心となる小児がん拠点病院や小児がん連携病院における状況を代表していないと考えられる。また、疾患群には予後の異なる複数の疾患が含まれていることや、前述のように難治性疾患が含まれていない可能性があることで生存率が高く見える点についても留意が必要である。

なお、今回の集計において 15 歳未満の小児がんの登録があった 172 施設の内訳は、2023 年 4 月時点の指定期に準拠すると、小児がん拠点病院 4 施設、小児がん連携病院 86 施設、小児がん拠点病院・連携病院ではないがん診療連携拠点病院 78 施設、それ以外の施設 4 施設であった。また、小児がん 1,237 例の内、135 例（10.9%）は小児がん拠点病院、941 例（76.1%）は小児がん連携病院にて登録されている。

*データ集計年時点の小児がん拠点病院全 15 施設は 2016 年登録例から院内がん登録全国集計に参加している。

表 4-2 AYA がん分類 (AYA Site Recode/WH02008 改訂版) 主分類別生存率 (15 歳以上 40 歳未満)

	施設数	対象数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢	5 年実測	10 年実測	10 年 Net	95%信頼区間
白血病	204	646	90.9	29.0	72.8	70.1	70.6	67.0-74.1
リンパ腫	224	734	85.7	30.3	88.0	86.0	86.6	84.0-89.1
脳・脊髄腫瘍	195	823	89.7	30.1	83.5	77.8	78.2	75.3-81.1
骨・軟骨腫瘍	62	146	91.8	26.6	68.3	62.5	62.9	54.9-70.8
軟部肉腫	135	347	89.0	30.8	75.5	70.5	70.9	66.0-75.8
胚細胞性他	240	745	86.3	29.4	93.7	93.6	94.3	92.5-96.0
黒色腫・皮膚癌	98	167	87.4	33.3	82.9	79.5	80.1	73.8-86.4
癌腫 (上皮性の悪性腫瘍)	333	7,443	91.6	34.3	82.4	78.3	78.8	77.9-79.8
甲状腺がん(癌)	236	820	87.7	31.6	99.4	98.8	99.4	98.6-100
頭頸部のその他のがん(癌)	148	380	87.6	32.3	83.3	78.7	79.2	75.0-83.4
肺・気管支のがん(癌)	146	284	92.3	35.0	46.3	38.8	39.1	33.3-44.9
乳がん(癌)	281	1,963	94.0	35.6	90.0	83.5	84.0	82.3-85.6
腎がん(癌)	126	198	92.9	35.3	90.3	87.6	88.3	83.6-93.0
膀胱がん(癌)	41	43	88.4	33.0	79.1	71.5	72.0	58.4-85.5
性腺のがん(癌)	178	362	94.2	33.9	81.0	75.4	75.9	71.4-80.4
子宮頸部・子宮がん(癌)	266	1,726	90.6	34.0	88.6	87.2	87.7	86.1-89.3
大腸がん(癌)	254	677	90.3	34.3	75.2	69.9	70.5	66.9-74.0
胃がん(癌)	224	589	91.9	34.8	61.8	59.2	59.7	55.7-63.7
肝内胆管がん(癌)	101	139	94.2	34.7	43.1	36.1	36.4	28.3-44.5
膵臓癌他消化器系のがん(癌)	105	160	94.4	35.1	50.1	43.6	43.9	36.2-51.7
その他のがん(癌腫)	71	102	94.1	34.2	54.2	44.5	44.8	34.9-54.6
その他の癌新生物	132	206	89.8	32.0	79.9	74.1	74.6	68.5-80.7
分類不能の悪性新生物	58	85	95.3	33.5	39.8	37.2	37.4	27.1-47.8

※上皮内癌を含まない、変換不能 (623 例を除く)。癌腫別集計対象の分類とは異なることに留意。

表 4-3 主な癌腫（上皮性の悪性腫瘍）の UICC TNM 分類総合ステージ別生存率

	対象数	平均年齢	10年実測	10年Net	95%信頼区間
乳がん(癌)					
I期	708	35.9	95.8	96.4	94.8-97.9
II期	860	35.4	87.0	87.6	85.3-89.8
III期	277	35.4	64.9	65.2	59.6-70.9
IV期	108	35.1	23.8	23.9	15.9-32.0
子宮頸がん(癌)*					
I期	932	33.6	96.1	96.6	95.4-97.9
II期	135	34.5	84.3	84.8	78.6-90.9
III期	213	34.4	63.2	63.6	57.0-70.1
IV期	67	34.2	20.8	20.9	11.3-30.4
大腸がん(癌)					
I期	132	35.6	91.1	91.9	86.9-96.9
II期	123	34.3	87.3	88.0	82.0-94.0
III期	202	34.1	73.0	73.5	67.3-79.6
IV期	137	34.0	16.1	16.2	9.9-22.4
胃がん(癌)					
I期	283	35.4	97.1	97.8	95.8-99.8
II期	46	34.9	69.4	69.8	56.6-83.1
III期	57	35.0	41.6	41.9	29.1-54.7
IV期	192	33.8	5.7	5.7	2.5-9.0

*AYA 分類では「子宮頸部・子宮がん」だが、本項目では局在コード C530-531, 538, 539 に限定して子宮頸がんとして定義している（形態コードは変更なし）

表 4-4 主な癌腫（上皮性の悪性腫瘍）の観血的治療別生存率

	対象数	平均年齢	10年実測	10年Net	95%信頼区間
乳がん(癌)					
無	231	35.3	52.6	52.9	46.4-59.5
有	1732	35.6	87.5	88.1	86.5-89.7
子宮頸がん(癌)*					
無	217	34.0	59.0	59.3	52.6-65.9
有	1146	33.8	91.1	91.6	89.9-93.3
大腸がん(癌)					
無	82	33.4	19.9	20.0	11.2-28.8
有	595	34.4	76.6	77.2	73.7-80.7
胃がん(癌)					
無	159	33.9	6.3	6.4	2.6-10.1
有	430	35.1	78.7	79.3	75.4-83.2

*AYA 分類では「子宮頸部・子宮がん」だが、本項目では局在コード C530-531, 538, 539 に限定して子宮頸がんとして定義している（形態コードは変更なし）

参考. 2014-2015 年診断例における小児 AYA がん 5 年生存率

ここでは、院内がん登録 2018-2019 年小児 AYA 集計報告書の分類に沿って、院内がん登録 2014-2015 年診断例において主分類別に小児がんと AYA がんの 5 年生存率を集計した。なお、院内がん登録 5 年後付データ収集への参加は任意であり、集計対象施設一覧は「院内がん登録 2014-2015 年 5 年生存率集計報告書」に示すとおりである。小児がん拠点病院全てが集計対象となっていないことに留意が必要である。集計では、原則として浸潤がん（脳・中枢神経系の良性・良悪性不詳）を対象としている。

表 4-5 国際小児がん分類（ICCC 第 3 版/WHO2008 改訂版）主分類別生存率（15 歳未満）

	施設数	対象数	生存状況 把握割合 (%)	平均 年齢	5 年実測	5 年 Net	95%信頼区間
白血病	104	998	98.5	5.9	89.1	89.2	87.3-91.2
リンパ腫	89	228	97.4	7.7	91.6	91.7	88.1-95.3
脳腫瘍	152	744	98.3	7.1	76.4	76.5	73.4-79.5
神経芽腫	70	184	94.6	2.1	76.3	76.6	70.4-82.8
網膜芽腫	27	91	97.8	1.3	95.6	95.9	91.7-100
腎腫瘍	36	64	95.3	2.8	96.9	97.0	92.8-100
肝腫瘍	39	65	100.0	1.9	78.5	78.8	68.8-88.7
骨腫瘍	59	143	98.6	11.0	71.9	71.9	64.6-79.3
軟部腫瘍	75	152	97.4	7.4	75.3	75.4	68.5-82.3
胚細胞腫瘍	100	201	96.5	8.1	94.0	94.2	90.8-97.5
その他のがん(癌)	63	99	96.0	11.5	90.8	90.8	85.1-96.5

※上皮内癌を含まない、その他（11 例）や変換不能（53 例）を除く

表 4-6 AYA がん分類（AYA Site Recode/WHO2008 改訂版）主分類別生存率（15 歳以上 40 歳未満）

	施設数	対象数	生存状況 把握割合 (%)	平均 年齢	5 年 実測	5 年 Net	95%信頼区間
白血病	274	1,393	94.3	28.6	76.0	76.1	73.9-78.4
リンパ腫	303	1,663	93.8	30.1	89.9	90.1	88.6-91.6
脳・脊髄腫瘍	296	1,780	92.2	30.3	83.9	84.1	82.4-85.9
骨・軟骨腫瘍	99	305	97.4	25.3	68.3	68.4	63.2-73.7
軟部肉腫	210	742	95.0	30.3	71.8	71.9	68.7-75.2
胚細胞性他	352	1,745	92.3	29.2	94.7	95.0	93.9-96.1
黒色腫・皮膚癌	179	439	89.7	33.3	85.3	85.5	82.1-88.9
癌腫（上皮性の悪性腫瘍）	433	16,727	95.3	34.1	84.0	84.2	83.6-84.8
甲状腺がん(癌)	323	2,115	92.0	31.5	98.8	99.1	98.6-99.5
頭頸部のその他のがん(癌)	228	831	95.8	32.4	83.3	83.5	80.9-86.0
肺・気管支のがん(癌)	241	659	95.4	34.8	60.0	60.2	56.4-64.0
乳がん(癌)	383	4,486	96.9	35.4	90.2	90.4	89.5-91.3
腎がん(癌)	214	472	94.5	34.9	93.1	93.4	91.1-95.7
膀胱がん(癌)	61	75	96.0	34.8	74.5	74.7	64.9-84.6
性腺のがん(癌)	258	719	96.4	34.1	81.4	81.6	78.7-84.4
子宮頸部・子宮がん(癌)	339	3,665	94.7	34.2	89.3	89.5	88.5-90.5
大腸がん(癌)	376	1,737	94.7	32.3	76.6	76.9	74.8-78.9
胃がん(癌)	311	1,173	96.3	34.6	61.9	62.1	59.3-64.9
肝内胆管がん(癌)	108	153	95.4	34.5	45.7	45.8	37.8-53.8
膵臓癌他消化器系のがん(癌)	162	374	97.1	34.6	52.3	52.4	47.3-57.5
その他のがん(癌腫)	155	268	95.5	33.1	55.9	56.0	50.0-62.0
その他の癌新生物	237	574	90.4	31.8	85.3	85.6	82.6-88.5
分類不能の悪性新生物	105	157	98.1	32.8	38.1	38.2	30.6-45.8

※上皮内癌を含まない、変換不能（1,430 例を除く）。癌腫別集計対象の分類とは異なることに留意。

表 4-7 主な癌腫（上皮性の悪性腫瘍）の UICC TNM 分類総合ステージ別生存率

	対象数	平均年齢	5年実測	5年 Net	95%信頼区間
乳がん(癌)					
I 期	1,629	35.7	97.7	97.9	97.2-98.7
II 期	1,913	35.2	92.8	93.1	91.9-94.2
III 期	666	35.0	82.6	82.8	79.9-85.7
IV 期	271	35.2	45.5	45.6	39.6-51.5
子宮頸がん(癌)*					
I 期	1968	34	96.51	96.71	95.9-97.5
II 期	232	34.81	80.43	80.61	75.5-85.7
III 期	467	34.49	76.35	76.52	72.6-80.4
IV 期	158	33.95	28.26	28.32	21.3-35.3
大腸がん(癌)					
I 期	504	34.3	98.6	98.9	97.8-99.9
II 期	306	34.6	93.0	93.3	90.4-96.2
III 期	495	34.7	82.5	82.8	79.4-86.1
IV 期	396	33.7	28.1	28.2	23.7-32.7
胃がん(癌)					
I 期	507	35.1	97.8	98.1	96.8-99.4
II 期	146	34.8	87.5	87.8	82.4-93.1
III 期	139	34.2	55.0	55.1	46.8-63.4
IV 期	370	33.1	5.0	5.0	2.7-7.3

*AYA 分類では「子宮頸部・子宮がん」だが、本項目では局在コード C530-531, 538, 539 に限定して子宮頸がんとして定義している（形態コードは変更なし）

表 4-8 主な癌腫（上皮性の悪性腫瘍）の観血的治療別生存率

	対象数	平均年齢	5年実測	5年 Net	95%信頼区間
乳がん(癌)					
無	471	35.1	58.2	58.3	53.8-62.8
有	4015	35.4	93.9	94.1	93.4-94.9
子宮頸がん(癌)*					
無	457	34.6	60.9	61.0	56.5-65.5
有	2388	34.1	93.1	93.3	92.3-94.3
大腸がん(癌)					
無	224	34.0	22.7	22.8	17.1-28.5
有	1513	34.4	84.3	84.6	82.7-86.4
胃がん(癌)					
無	331	33.0	3.9	39.1	17.9-6.0
有	842	34.9	83.9	84.1	81.6-86.6

*AYA 分類では「子宮頸部・子宮がん」だが、本項目では局在コード C530-531, 538, 539 に限定して子宮頸がんとして定義している（形態コードは変更なし）

付表一覽

付表 1 集計対象施設一覽

都道府県	施設名称
北海道	北海道がんセンター
北海道	JA 北海道厚生連 旭川厚生病院
北海道	王子総合病院
北海道	JA 北海道厚生連帯広厚生病院
北海道	北見赤十字病院
北海道	市立函館病院
北海道	函館厚生院 函館五稜郭病院
北海道	JA 北海道厚生連 札幌厚生病院
北海道	手稲溪仁会病院
北海道	独立行政法人労働者健康安全機構 釧路労災病院
青森	八戸市立市民病院
岩手	岩手県立中央病院
岩手	岩手県立二戸病院
岩手	岩手医科大学附属病院
岩手	岩手県立中部病院
岩手	岩手県立磐井病院
岩手	岩手県立宮古病院
岩手	岩手県立胆沢病院
岩手	岩手県立大船渡病院
岩手	岩手県立久慈病院
岩手	岩手県立釜石病院
宮城	東北大学病院
宮城	宮城県立がんセンター
宮城	石巻赤十字病院
宮城	仙台医療センター
宮城	大崎市民病院
宮城	独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院
宮城	東北医科薬科大学病院
秋田	秋田大学医学部附属病院
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 由利組合総合病院
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 大曲厚生医療センター
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 能代厚生医療センター
秋田	秋田赤十字病院
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 雄勝中央病院
秋田	大館市立総合病院
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 秋田厚生医療センター
秋田	中通総合病院
秋田	市立秋田総合病院
山形	山形県立中央病院
山形	山形大学医学部附属病院
山形	山形市立病院済生館
山形	置賜広域病院企業団 公立置賜総合病院
山形	日本海総合病院
福島	労働者健康安全機構福島労災病院
福島	一般財団法人慈山会医学研究所附属坪井病院
福島	福島県立医科大学附属病院
福島	太田西ノ内病院
福島	総合南東北病院
福島	会津中央病院

都道府県	施設名称
茨城	茨城県立中央病院
茨城	筑波メディカルセンター病院・茨城県地域がんセンター
茨城	茨城県厚生農業協同組合連合会 総合病院土浦協同病院・茨城県地域がんセンター
茨城	株式会社日立製作所 日立総合病院・茨城県地域がんセンター
茨城	東京医科大学茨城医療センター
茨城	友愛記念病院
茨城	茨城西南医療センター病院
茨城	国立大学法人 筑波大学附属病院
茨城	国立病院機構水戸医療センター
茨城	株式会社 日立製作所 ひたちなか総合病院
栃木	地方独立行政法人栃木県立がんセンター
栃木	自治医科大学附属病院
栃木	栃木県済生会宇都宮病院
栃木	獨協医科大学病院
栃木	那須赤十字病院
群馬	群馬県立がんセンター
群馬	群馬大学医学部附属病院
群馬	独立行政法人国立病院機構渋川医療センター
群馬	独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター
群馬	桐生厚生総合病院
群馬	前橋赤十字病院
群馬	独立行政法人地域医療機能推進機構 群馬中央病院
群馬	群馬県済生会前橋病院
群馬	原町赤十字病院
埼玉	さいたま赤十字病院
埼玉	埼玉県立がんセンター
埼玉	春日部市立医療センター
埼玉	さいたま市立病院
埼玉	獨協医科大学埼玉医療センター
埼玉	川口市立医療センター
埼玉	埼玉医科大学国際医療センター
埼玉	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会川口総合病院
千葉	国保旭中央病院
千葉	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院
千葉	国保直営総合病院 君津中央病院
千葉	千葉県がんセンター
千葉	独立行政法人労働者健康安全機構 千葉労災病院
千葉	船橋市立医療センター
千葉	千葉大学医学部附属病院
千葉	独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター
千葉	東京歯科大学市川総合病院
千葉	順天堂大学医学部附属浦安病院
千葉	東京慈恵会医科大学附属柏病院
千葉	松戸市立総合医療センター
千葉	日本医科大学千葉北総病院
東京	東京都立駒込病院
東京	青梅市立総合病院
東京	NTT 東日本関東病院
東京	日本赤十字社医療センター

都道府県	施設名称
東京	日本大学医学部附属板橋病院
東京	武蔵野赤十字病院
東京	がん研有明病院
東京	国立大学法人 東京大学医学部附属病院
東京	帝京大学医学部附属病院
東京	杏林大学医学部附属病院
東京	順天堂大学医学部附属 順天堂医院
東京	昭和大学病院
東京	慶應義塾大学病院
東京	東京都立多摩総合医療センター
東京	公立昭和病院
東京	虎の門病院
東京	東京医科歯科大学病院
東京	日本医科大学多摩永山病院
東京	地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立大塚病院
東京	東京都立墨東病院
神奈川	神奈川県立がんセンター
神奈川	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院
神奈川	横浜市立市民病院
神奈川	川崎市立井田病院
神奈川	公立大学法人 横浜市立大学附属病院
神奈川	聖マリアンナ医科大学病院
神奈川	北里大学病院
神奈川	横浜労災病院
神奈川	昭和大学横浜市北部病院
神奈川	国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院
新潟	新潟県立がんセンター新潟病院
新潟	新潟県立中央病院
新潟	長岡赤十字病院
新潟	新潟県厚生農業協同組合連合会 長岡中央総合病院
新潟	県立新発田病院
新潟	独立行政法人労働者健康安全機構 新潟労災病院
富山	富山県立中央病院
富山	黒部市民病院
富山	独立行政法人労働者健康安全機構富山労災病院
富山	国立大学法人 富山大学附属病院
富山	厚生連高岡病院
石川	国立大学法人金沢大学附属病院
石川	独立行政法人国立病院機構 金沢医療センター
石川	石川県立中央病院
石川	小松市民病院
石川	社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院
福井	福井県立病院
福井	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 福井県済生会病院
福井	福井赤十字病院
福井	福井大学医学部附属病院
山梨	山梨県立中央病院
山梨	国立大学法人 山梨大学医学部附属病院
山梨	市立甲府病院

都道府県	施設名称
長野	長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院 佐久医療センター
長野	国立大学法人 信州大学医学部附属病院
長野	諏訪赤十字病院
長野	飯田市立病院
長野	長野市民病院
長野	長野赤十字病院
長野	社会医療法人財団慈泉会 相澤病院
長野	伊那中央病院
岐阜	岐阜大学医学部附属病院
岐阜	高山赤十字病院
岐阜	岐阜県総合医療センター
岐阜	岐阜県立多治見病院
岐阜	大垣市民病院
岐阜	中部国際医療センター
静岡	静岡県立静岡がんセンター
静岡	静岡県立総合病院
静岡	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院
静岡	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院
静岡	沼津市立病院
静岡	順天堂大学医学部附属静岡病院
静岡	静岡市立静岡病院
静岡	藤枝市立総合病院
静岡	浜松医科大学医学部附属病院
静岡	浜松医療センター
静岡	磐田市立総合病院
静岡	焼津市立総合病院
愛知	愛知県がんセンター
愛知	海南病院
愛知	国立病院機構 名古屋医療センター
愛知	小牧市民病院
愛知	豊橋市民病院
愛知	一宮市立市民病院
愛知	公立陶生病院
愛知	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院
愛知	名古屋市立大学病院
愛知	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院
愛知	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院
愛知	藤田医科大学病院
三重	伊勢赤十字病院
三重	三重大学医学部附属病院
三重	済生会松阪総合病院
三重	松阪市民病院
滋賀	市立長浜病院
滋賀	大津赤十字病院
滋賀	彦根市立病院
滋賀	滋賀医科大学医学部附属病院
京都	京都市立病院
京都	京都第一赤十字病院
京都	京都第二赤十字病院

都道府県	施設名称
京都	独立行政法人国立病院機構 京都医療センター
京都	市立福知山市民病院
京都	京都中部総合医療センター
大阪	大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター
大阪	市立岸和田市民病院
大阪	地方独立行政法人市立東大阪医療センター
大阪	市立豊中病院
大阪	大阪国際がんセンター
大阪	地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター
大阪	大阪赤十字病院
大阪	独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター
大阪	独立行政法人労働者健康安全機構大阪労災病院
大阪	大阪医科薬科大学病院
大阪	大阪公立大学医学部附属病院
大阪	関西医科大学附属病院
大阪	国立病院機構 大阪医療センター
大阪	八尾市立病院
兵庫	兵庫県立がんセンター
兵庫	神戸大学医学部附属病院
兵庫	神戸市立医療センター中央市民病院
兵庫	独立行政法人労働者健康安全機構 関西労災病院
兵庫	公立学校共済組合近畿中央病院
兵庫	姫路赤十字病院
兵庫	赤穂市民病院
兵庫	公立豊岡病院組合立豊岡病院
兵庫	兵庫県立淡路医療センター
兵庫	兵庫医科大学病院
兵庫	兵庫県立丹波医療センター
奈良	奈良県立医科大学附属病院
奈良	奈良県総合医療センター
奈良	天理よろづ相談所病院
奈良	近畿大学奈良病院
奈良	大和高田市立病院
和歌山	日本赤十字社和歌山医療センター
和歌山	和歌山県立医科大学附属病院
鳥取	鳥取県立厚生病院
鳥取	独立行政法人国立病院機構米子医療センター
鳥取	鳥取県立中央病院
鳥取	鳥取市立病院
鳥取	鳥取大学医学部附属病院
島根	松江市立病院
島根	島根大学医学部附属病院
島根	島根県立中央病院
島根	独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター
岡山	岡山済生会総合病院
岡山	岡山赤十字病院
岡山	岡山大学病院
岡山	公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
岡山	津山中央病院

都道府県	施設名称
岡山	岡山医療センター
岡山	川崎医科大学附属病院
岡山	川崎医科大学総合医療センター
広島	県立広島病院
広島	広島赤十字・原爆病院
広島	独立行政法人国立病院機構 呉医療センター
広島	東広島医療センター
広島	広島県厚生農業協同組合連合会 尾道総合病院
広島	福山市民病院
広島	国家公務員共済組合連合会 呉共済病院
広島	公立学校共済組合中国中央病院
山口	山口県立総合医療センター
山口	国立病院機構 岩国医療センター
山口	山口県厚生農業協同組合連合会周東総合病院
山口	独立行政法人地域医療機能推進機構徳山中央病院
山口	山口大学医学部附属病院
山口	医療法人医誠会 都志見病院
徳島	徳島県立中央病院
徳島	徳島大学病院
徳島	徳島赤十字病院
香川	香川県立中央病院
香川	独立行政法人労働者健康安全機構香川労災病院
香川	三豊総合病院
香川	高松赤十字病院
香川	国立大学法人 香川大学医学部附属病院
愛媛	市立宇和島病院
愛媛	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター
愛媛	住友別子病院
愛媛	愛媛大学医学部附属病院
愛媛	愛媛県立中央病院
愛媛	松山赤十字病院
愛媛	社会福祉法人恩賜財団 済生会今治病院
高知	国立大学法人 高知大学医学部附属病院
高知	高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター
高知	高知赤十字病院
高知	高知県立幡多けんみん病院
福岡	久留米大学病院
福岡	公立八女総合病院
福岡	地方独立行政法人大牟田市立病院
福岡	社会保険田川病院
福岡	飯塚病院
福岡	独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター
福岡	北九州市立医療センター
福岡	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター
福岡	国立大学法人 九州大学病院
福岡	独立行政法人国立病院機構九州医療センター
福岡	福岡県済生会福岡総合病院
福岡	福岡大学病院
福岡	聖マリア病院

都道府県	施設名称
福岡	独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院
福岡	産業医科大学病院
福岡	戸畑共立病院
福岡	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院
福岡	公立学校共済組合九州中央病院
佐賀	地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館
佐賀	国立大学法人佐賀大学医学部附属病院
佐賀	唐津赤十字病院
佐賀	独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター
長崎	日本赤十字社長崎原爆病院
長崎	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター
長崎	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター
長崎	国立大学法人 長崎大学病院
長崎	長崎県島原病院
長崎	独立行政法人地域医療機能推進機構 諫早総合病院
長崎	社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院
熊本	熊本大学病院
熊本	独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院
熊本	人吉医療センター
熊本	熊本赤十字病院
熊本	国立病院機構 熊本医療センター
熊本	荒尾市民病院
熊本	国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院
熊本	大腸肛門病センター高野病院
熊本	天草地域医療センター
熊本	熊本地域医療センター
大分	大分県立病院
大分	大分赤十字病院
大分	大分大学医学部附属病院
大分	大分県済生会日田病院
大分	中津市立中津市民病院
宮崎	宮崎県立宮崎病院
宮崎	国立病院機構 都城医療センター
宮崎	国立大学法人 宮崎大学医学部附属病院
鹿児島	鹿児島大学病院
鹿児島	国立病院機構 鹿児島医療センター
鹿児島	鹿児島県立薩南病院
鹿児島	独立行政法人国立病院機構 南九州病院
鹿児島	県民健康プラザ鹿屋医療センター
鹿児島	鹿児島市立病院
鹿児島	公益社団法人 昭和会 いまきいれ総合病院
鹿児島	出水郡医師会広域医療センター
沖縄	地方独立行政法人那覇市立病院
沖縄	沖縄県立中部病院
沖縄	琉球大学病院
沖縄	社会医療法人仁愛会 浦添総合病院
沖縄	社会医療法人 かりゆし会 ハートライフ病院

関係者一覧

【監修】

井上 真奈美 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター

石井 太祐 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録分析室

【解析・執筆・編集】

石井 太祐 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録分析室

渡部 万里 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録分析室

新藤 奈奈世 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録分析室

【賛助】

瀧本 哲也 国立成育医療研究センター 小児がんセンター

加藤 実穂 国立成育医療研究センター 小児がんセンター

【データ収集】

近藤 誓哉 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録室

院内がん登録生存率集計の事務局

国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター院内がん登録分析室

担当：石井、渡部、新藤

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

電話：03-3547-5201(内線 1600)

メールアドレス：hbcr_analysis@ml.res.ncc.go.jp

院内がん登録 2011年10年生存率集計 報告書

2024年1月第1刷発行(非売品)

編集 井上真奈美 石井太祐

発行 国立研究開発法人 国立がん研究センター
がん対策研究所 がん登録センター
問い合わせ先: 院内がん登録分析室
〒104-0045 東京都中央区築地五丁目1番1号
電話 03-3542-2511